

西栗倉小学校トイレ改修工事

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
	[建築工事]		[機械設備工事]		[機械設備工事]
01	A-01 建築改修工事特記仕様書 1	27	E-01 電気設備工事特記仕様書	39	M-01 機械設備工事特記仕様書
02	A-02 建築改修工事特記仕様書 2	28	E-02 校舎棟 電灯設備 1階平面図 (改修前)	40	M-02 改修 給排水衛生設備 衛生器具リスト
03	A-03 建築改修工事特記仕様書 3	29	E-03 校舎棟 電灯設備 2・3階平面図 (改修前)	41	M-03 撤去・改修 給排水衛生設備 1階職員、保健室トイレ配管詳細図
04	A-04 建築改修工事特記仕様書 4	30	E-04 校舎棟 児童トイレ 電灯設備 1・2・3階平面図 (撤去・改修)	42	M-04 撤去・改修 給排水衛生設備 1階配管詳細図
05	A-05 附近見取図・配置図	31	E-05 校舎同 児童トイレ コンセント設備 1・2・3階平面図 (撤去・改修)	43	M-05 撤去・改修 給排水衛生設備 2階配管詳細図
06	A-06 仕上表 (改修)	32	E-06 校舎棟 児童トイレ 弱電設備 1・2・3階平面図 (撤去・改修)	44	M-06 撤去・改修 給排水衛生設備 3階配管詳細図
07	A-07 1階平面図 (改修)	33	E-07 校舎棟 職員、保健室 電灯設備 1階平面図 (撤去・改修)	45	M-07 撤去 給排水衛生設備 衛生器具リスト
08	A-08 2階平面図 (改修)	34	E-08 校舎棟 職員、保健室 電灯設備 1階平面図 (撤去・改修)	46	M-08 撤去・改修 換気設備 1階ダクト平面図
09	A-09 3階平面図 (改修)	35	E-09 体育館棟 電灯設備 1階平面図 (改修前)	47	M-09 撤去・改修 換気設備 2階ダクト平面図
10	A-10 平面詳細図・展開図 (改修) (1) (児童用)	36	E-10 体育館棟 コンセント設備 1階平面図 (既設・改修)	48	M-10 撤去・改修 換気設備 3階ダクト平面図
11	A-11 平面詳細図・展開図 (改修) (2) (職員用・洗濯室)	37	E-11 体育館棟 トイレ 電灯設備 平面図 (撤去・改修)	49	M-11 撤去・改修 給排水衛生設備 体育館配管詳細図
12	A-12 平面詳細図・展開図 (改修) (3) (体育館・プール棟)	38	E-12 プール棟 電灯設備 プール平面図 (撤去・改修)	50	M-12 撤去・改修 換気設備 体育館ダクト平面図
13	A-13 断面詳細図 (改修)			51	M-13 撤去・改修 給排水衛生設備 プール配管詳細図
14	A-14 天井伏図 (改修)				
15	A-15 部分詳細図・サイン詳細図				
16	A-16 建具工事特記仕様書				
17	A-17 建具表 (改修)				
	(解体撤去図)				
18	A-18 平面詳細図・展開図 (撤去) (1) (児童用)				
19	A-19 平面詳細図・展開図 (撤去) (2) (職員用・洗濯室)				
20	A-20 平面詳細図・展開図 (撤去) (3) (体育館・プール棟)				
21	A-21 断面詳細図 (撤去)				
22	A-22 天井伏図 (撤去)				
23	A-23 建具表 (撤去)				
24	A-24 仮設計画図 (1)				
25	A-25 仮設計画図 (2)				
26	A-26 仮設計画図 (3)				

14	重量シャッター [5.11.2~5]	種類 ・管理用 ・外壁用防火 ・屋内用防火 ・防煙 防火又は、防煙シャッターは、自動閉鎖装置及び随時閉鎖装置付とし、運動制御盤及び煙感知器は別途とする 外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度 () Pa 閉鎖方式の種類 ※電動式(手動併用) ・手動式 [表5.10.1] 降下制御装置、急降下停止装置を設けた電動シャッターの設置箇所 ※図示 ・ 障害物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所 ※図示 ・ 屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止機構の設置箇所 ※図示 ・ 適用する危害防止機構 ※改修標準仕様書5.10.2(4) (a)かつ(c) ・(b)かつ(c) 管理用シャッターのシャッターケース(防火、防煙以外) ※設ける ・設けない スラットの材料及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ※JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) ・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき及び鋼帯)
		15
16	オーバーヘッドドア [5.12.2~3]	セクション材料による区分 ※ステルタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバークラスタイプ 風圧力による強さの区分 ・1.75 ・1.25 ・1.00 ・0.75 ・0.50 開閉方式による区分 ※バランス式 ・チェーン式 ・電動式 収納方式による区分 ・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形 ガイドレールの材質 ※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス製 (SUS304) 厚さ 2.0mm
		17
18	ガラス留め材 [5.14.2]	建具の種類 材 種 ガラス溝の大きさ (mm) 鋼製及び鋼製組 ※ツクリゲ 材 ・ガスケット ※建具の製造所の仕様による ・ アルミニウム製 ※ツクリゲ 材 ・ｶﾞｽｸｯﾄ(ｸﾞﾚｲﾝｸﾞﾀｲﾌﾟ) ※建具の製造所の仕様による ・ ステンレス製 ※ツクリゲ 材 ・ガスケット ※建具の製造所の仕様による ・ 木製 ※ツクリゲ 材 ・ガスケット ※建具の製造所の仕様による ・ 樹脂製 ※ツクリゲ 材 ・ｶﾞｽｸｯﾄ(ｸﾞﾚｲﾝｸﾞﾀｲﾌﾟ) ※建具の製造所の仕様による ・
		19
20	ガラス用フィルム	名 称 張り面 性能値 ※ガラス飛散防止フィルム ※内張り ・外張り 飛散防止率 95%以上 ・ 品質 JIS A 5759による
		21

22	木製建具 [5.7.2~4]	建具材の加工、組立時の含水率 ※A種 ・ 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆ ・ ・フラッシュユ 表面材の合板の品質等 合板の種類 規格等 備考 ・普通合板 表面の樹種 生地、透明塗料塗り (※F0程度) 不透明塗料塗り (※しな合板程度) 板面の品質 (※広葉樹1等) 接着の程度 (・1類 ・2類) ・天然木 化粧合板 樹種名 () 接着の程度 (・1類 ・2類) ・特殊加工 化粧合板 化粧加工の方法 (・オパール ・フワト ・塗装) 表面性能 (※F0タイプ) 接着の程度 (・1類 ・2類) ・ミディアムデンシティ ファイバーボード (MDF) 表裏面の状態による区分 () 曲げ強さによる区分 () 接着剤による区分 () 難燃性による区分 () 表面板の厚さ ※表5.7.6による ・ ・かまち戸 かまち樹種 () 鎖板樹種 () 見込み寸法 ※36mm ・建具表による ・ ・ふすま 張りの種類 (・I 型 ・II型) 上張り ・鳥の子 ・新鳥の子又はビニル紙程度 押入等の裏側は雲花紙程度 縁土上 ・塗り縁 ・生地縁 (素地) ・生地縁 (ウレタンクリアー塗装) 見込み寸法 ※19.5mm ・建具表による ・ ・戸ぶすま 見込み寸法 ※30mm ・建具表による ・ ・紙張り障子 見込み寸法 ※30mm ・建具表による ・ 枠、くつずりの材料 ・建具表による ・
		6

7	合板等 [6.5.2]	・JAS 0701以外の造作用単板積層材 施工箇所 品名 寸法 (mm) 表面の化粧加工 防虫処理 含水率 間伐材等の適用 ・有り (加工 ・天然木加工 ・塗装加工) ・適用する ※14%以下 ・ ・無し () ・適用しない ・ ・JAS 3079に基づく直交集積板 施工箇所 品名 強度等級 種類 接着性能 (使用環境) 樹種名 寸法 (mm) 間伐材等の適用 ホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆ ・ ・普通合板 [6.5.2] 施工箇所 厚さ (mm) 単板の樹種名 接着の程度 板面の品質 防虫処理 難燃処理 防炎処理 間伐材等の適用 ※5.5 ・ ※1類 広葉樹 ※2以上 ・ 1等 ・適用する ・適用する ・適用する ・ ・2類 針葉樹 ※0以上 ・ ・適用しない ・適用しない ・適用しない ・ ・構造用合板 施工箇所 等級 単板の樹種名 接着の程度 板面の品質 厚さ (mm) 防虫処理 強度等級 間伐材等の適用 ※2級以上 ・1級 ※1類 ・特種 ※0以上 ・ ※12 ・適用する () ・適用する () ・適用しない ・適用しない ・ ・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 施工箇所 厚さ (mm) 単板の樹種名 接着の程度 防虫処理 間伐材等の適用 ※1類 ・特種 ・適用する ・適用しない ・ ・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 施工箇所 化粧板に使用する単板の樹種名 厚さ (mm) 接着の程度 防虫処理 間伐材等の適用 ※1類 ・2類 ・適用する ・適用しない ・ ・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 施工箇所 厚さ (mm) 接着の程度 表面性能 化粧加工の方法 防虫処理 間伐材等の適用 ※1類 ・2類 ・適用する ・適用しない ・ ・パーティクルボード 施工箇所 表面の状態による区分 曲げ強さによる区分 耐水性による区分 難燃性による区分 厚さ (mm) ※15 ・ ・構造用パネル 施工箇所 等級 寸法 (mm) ・1級 ・2級 ・3級 ・4級 ・ミディアムデンシティファイバーボード (MDF) 施工箇所 厚さ (mm) 表面の状態による区分 曲げ強さによる区分 接着剤による区分 難燃性による区分 間伐材等の適用 ・ ・薬剤の加圧注入による防虫・防蟻処理 適用部位 保存処理性能区分 ・K2 ※K3 ・K4 ・薬剤の塗布等による防虫・防蟻処理 適用部材 処理の方法 ※改修標準仕様書6.5.5(1)(b)②⑦~⑩による ・ ※改修標準仕様書6.5.5(1)(b)②⑦~⑩による ・ ※改修標準仕様書6.5.5(1)(b)②⑦~⑩による ・ ・薬剤の接着剤への混入による防虫・防蟻処理 適用部位 () ・合板等の加圧注入処理等の適用 適用部位 () 野蟻等の種類 屋外 (※25形) 屋内 (※19形 ・25形) ・屋外の軒天等、ピロティ天井等 工法 1章 20 適用区分による風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 野蟻受け、つりボルト及びびんサートの間隔 ・図示 ・ 周辺部の端からの間隔 ・図示 ・ 野蟻の間隔 ・図示 ・ 既存の埋込みインサート (・使用する ・使用しない) あと施工アンカーの確認試験 ・行う (試験箇所数 ※屋内の場合、当該階において3箇所) () (確認強度 ※改修標準仕様書6.6.4(1)(9)による) () ・行わない ・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合 補強方法 ※図示 ・ ・天井のふとところが1.5m以上3.0m以下の場合 補強方法 ※改修標準仕様書6.6.4(8)による ・図示 ・天井のふとところが3.0mを超える場合 補強方法 ※図示 ・ ・天井の下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇所 ※高さが6mを超える天井 ・図示 補強方法 ※「特定天井及び特定天井の構造耐力上安全な構造方法を定める件」(平成25年国土交通省告示第771号) 第3条第2項第二号に適合させる。 ・図示
		8

19	軽量鉄骨壁下地 [6.7.3.4] [表6.7.1]	スタッド、ランナの種類 ※改修標準仕様書6.7.11によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ・図示 スタッドの高さが5.0mを超える場合 ※図示 出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ※改修標準仕様書6.7.4.(5)による ・
		21
【工事名称】 西栗倉小学校トイレ改修工事		【図面番号】 02
【図面名称】 建築改修工事特記仕様書 2		検取印
齋倉森建築設計事務所 一級建築士事務所登録 岡山 1081号 一級建築士 169969号 赤木 定		

Table with 2 columns: Item No. and Description. Includes sections for ceiling board, wall paper, mortar, tile, organic bonding agent, and floor leveling agent.

Table with 2 columns: Item No. and Description. Includes sections for painting, general scope, reinforcement, and reinforcement of concrete.

Table with 2 columns: Item No. and Description. Includes sections for reinforcement bars, welding, and concrete types.

Table with 2 columns: Item No. and Description. Includes sections for structural members, reinforcement bars, and construction work.

Project information including: 西栗倉小学校トイレ改修工事 (Project Name), 建設改修工事特記仕様書 3 (Drawing Name), 西栗倉建設設計事務所 (Company Name), and address: 岡山 1081号 一級建築士事務所登録 赤木 定 (Address).

8-5	グラウト工事	
8-6	連続繊維補強工事	
8-7	耐震スリット新設工事	

9	1	石綿含有建材の除去工事 [9. 1. 1] [9. 1. 3~6]																																																
		※石綿含有建材の事前調査 1章9による ・分析による石綿含有建材の調査（施工調査） 分析対象 アクチノライト、アモサイト、 アンソフィライト、 クリソタイル、 クロソドライト、 トレモライト 分析方法 分析結果については、監督職員に報告すること																																																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>材料名</th> <th>定性分析</th> <th>定量分析</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>JIS A 1481-1又はJIS A 1481-2</td> <td>JIS A 1481-3又はJIS A 1481-4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>箇所</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>箇所</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>箇所</td> <td>箇所</td> </tr> </tbody> </table>	材料名	定性分析	定量分析		JIS A 1481-1又はJIS A 1481-2	JIS A 1481-3又はJIS A 1481-4		箇所	箇所		箇所	箇所		箇所	箇所																																	
		材料名	定性分析	定量分析																																														
			JIS A 1481-1又はJIS A 1481-2	JIS A 1481-3又はJIS A 1481-4																																														
			箇所	箇所																																														
			箇所	箇所																																														
			箇所	箇所																																														
		材料が仕上塗材の場合は、層ごとの分析を行うこと サンプル数 1箇所あたり3サンプル 採取箇所 図示																																																
		・石綿粉塵濃度測定 測定時期、場所及び測定点																																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>適用</th> <th>測定名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定点（各施工箇所ごと）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>測定1</td> <td>処理作業前</td> <td>処理作業室内</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定2</td> <td></td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定3</td> <td>処理作業中</td> <td>処理作業室内</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td>※</td> <td>測定4</td> <td></td> <td>セキュリティゾーン入口</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td>※</td> <td>測定5</td> <td></td> <td>集じん・排気装置の排出口</td> <td>出口吹出し風速1m/s以下の位置</td> </tr> <tr> <td>※</td> <td>測定6</td> <td></td> <td>（処理作業室外の場合） 調査作業室外 ・施工区画周辺 ・敷地境界</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td>※</td> <td>測定7</td> <td>処理作業後 （シート養生中）</td> <td>処理作業室内</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定8</td> <td>処理作業後</td> <td>処理作業室内</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定9</td> <td>（シート撤去後 1週間以降）</td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>計 点</td> </tr> </tbody> </table>	適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点（各施工箇所ごと）	・	測定1	処理作業前	処理作業室内	計 点	・	測定2		調査対象室外部の付近	計 点	・	測定3	処理作業中	処理作業室内	計 点	※	測定4		セキュリティゾーン入口	計 点	※	測定5		集じん・排気装置の排出口	出口吹出し風速1m/s以下の位置	※	測定6		（処理作業室外の場合） 調査作業室外 ・施工区画周辺 ・敷地境界	計 点	※	測定7	処理作業後 （シート養生中）	処理作業室内	計 点	・	測定8	処理作業後	処理作業室内	計 点	・	測定9	（シート撤去後 1週間以降）	調査対象室外部の付近	計 点
適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点（各施工箇所ごと）																																														
・	測定1	処理作業前	処理作業室内	計 点																																														
・	測定2		調査対象室外部の付近	計 点																																														
・	測定3	処理作業中	処理作業室内	計 点																																														
※	測定4		セキュリティゾーン入口	計 点																																														
※	測定5		集じん・排気装置の排出口	出口吹出し風速1m/s以下の位置																																														
※	測定6		（処理作業室外の場合） 調査作業室外 ・施工区画周辺 ・敷地境界	計 点																																														
※	測定7	処理作業後 （シート養生中）	処理作業室内	計 点																																														
・	測定8	処理作業後	処理作業室内	計 点																																														
・	測定9	（シート撤去後 1週間以降）	調査対象室外部の付近	計 点																																														
測定方法 ・自動測定器による測定																																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>測定名称</th> <th>測定方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>測定4・測定5</td> <td>粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計）、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定</td> </tr> <tr> <td>・JIS K 3850-1に基づいた測定</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	測定名称	測定方法	測定4・測定5	粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計）、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定	・JIS K 3850-1に基づいた測定																																													
測定名称	測定方法																																																	
測定4・測定5	粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計）、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定																																																	
・JIS K 3850-1に基づいた測定																																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>測定4,5</th> <th>測定()</th> <th>測定()</th> <th>測定()</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>メンブレンフィルタ直径 (mm)</td> <td>25</td> <td>47</td> <td></td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引流量 (l/min)</td> <td>5</td> <td>10</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>試料の吸引時間 (min)</td> <td>30</td> <td>120</td> <td>120</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		測定4,5	測定()	測定()	測定()	メンブレンフィルタ直径 (mm)	25	47		47	試料の吸引流量 (l/min)	5	10	10		試料の吸引時間 (min)	30	120	120																															
	測定4,5	測定()	測定()	測定()																																														
メンブレンフィルタ直径 (mm)	25	47		47																																														
試料の吸引流量 (l/min)	5	10	10																																															
試料の吸引時間 (min)	30	120	120																																															
石綿含有建材の処理 ・石綿含有吹付け材の除去 除去対象範囲 ※図示 除去工法 ※改修標準仕様書9. 1. 3 (2) (ア)による 除去した石綿含有吹付け材の飛散防止措置 ※湿潤化 ・ 固形化 除去した石綿含有吹付け材等の処分 ・埋立処分（管理型最終処分場） ・ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設） 処分施設の名称（ ） 所在地（ ）																																																		
・石綿含有保温材等の除去 除去対象範囲 ※図示 除去工法 ※原形のまま手ばらし ・ 破砕して除去 除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 ※ 湿潤化 ・ 固形化 除去した石綿含有保温材の処分 ・埋立処分（管理型最終処分場） ・ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）																																																		
・石綿含有成形板等（石綿含有けい酸カルシウム板第1種以外）の除去 除去工法 ※切断・破砕等以外（ボルトや釘等を撤去し、手作業で取り外す等） 除去対象範囲 ※図示 除去した石綿含有成形板の処分 ・石綿含有せつこうボード ※埋立処分（管理型最終処分場） 処分施設の名称（ ） 所在地（ ） ・石綿含有せつこうボードを除く石綿含有成形板 ・埋立処分（安定型最終処分場） ・ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設） 処分施設の名称（ ） 所在地（ ）																																																		

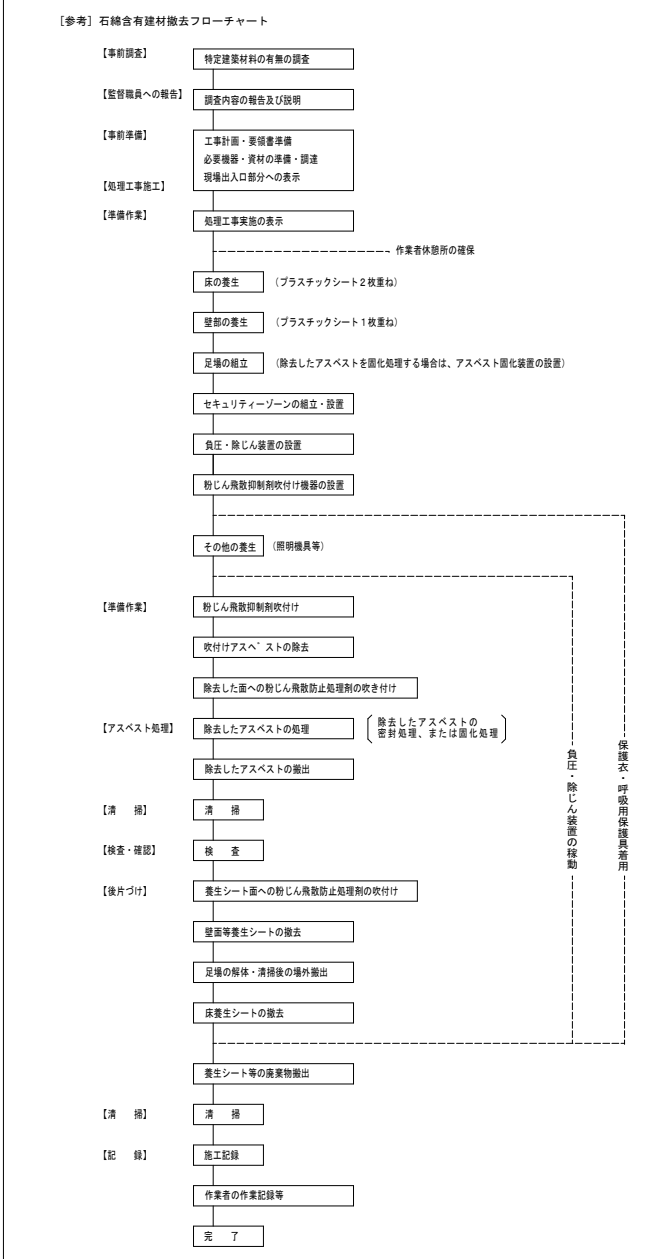
・石綿含有成形板等（石綿含有けい酸カルシウム板第1種）の除去
除去対象範囲 ※図示
除去工法 ※手作業で取外し ・ 切断 ・ 破砕等
切断・破砕等する場合 作業場所を隔離し、湿潤な状態を保ちながら作業すること。（作業場所の隔離は、負圧に保つ必要はない。）
除去した石綿含有けい酸カルシウム板第1種の処分
・埋立処分（安定型最終処分場） ・ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）
処分施設の名称（ ）
所在地（ ）

石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板（下地調整材）の除去
下記以外は、改修標準仕様書9. 1. 1及び9. 1. 2iによる
除去工法
・ ※石綿障害予防規則（平成十七年二月二十四日厚生労働省第二十一号）第6条による措置と同等以上の効果を有する措置とされる工法
・ 集じん装置併用手工具ケレン工法
・ 集じん装置付き高圧水洗工法（15MPa以下、30～50MPa程度）
・ 集じん装置付き超高圧水洗工法（100MPa以上）
・ 超音波ケレン工法（HEPAフィルター付き掃除機併用）
・ 剥離剤併用手工具ケレン工法
・ 剥離剤併用高圧水洗工法（30～50MPa程度）
・ 剥離剤併用超高圧水洗工法（100MPa以上）
・ 剥離剤併用超音波ケレン工法
・ 集じん装置付ディスクグラインダーケレン工法（湿式）

作業場所の隔離 ※行わない ・ 行う
試験施工 ※行わない ・ 行う

除去した石綿含有仕上塗材の処分
・埋立処分（安定型最終処分場） ・ 埋立処分（管理型最終処分場）
・ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）
除去した石綿含有仕上塗材の保管、運搬及び処分
※改修標準仕様書9. 1. 3(3)による
確認及び後片付け ※改修標準仕様書9. 1. 3(4)の(7)、(9)、(b)及び(9)による

石綿含有建材除去後の仕上り工事 ※図示



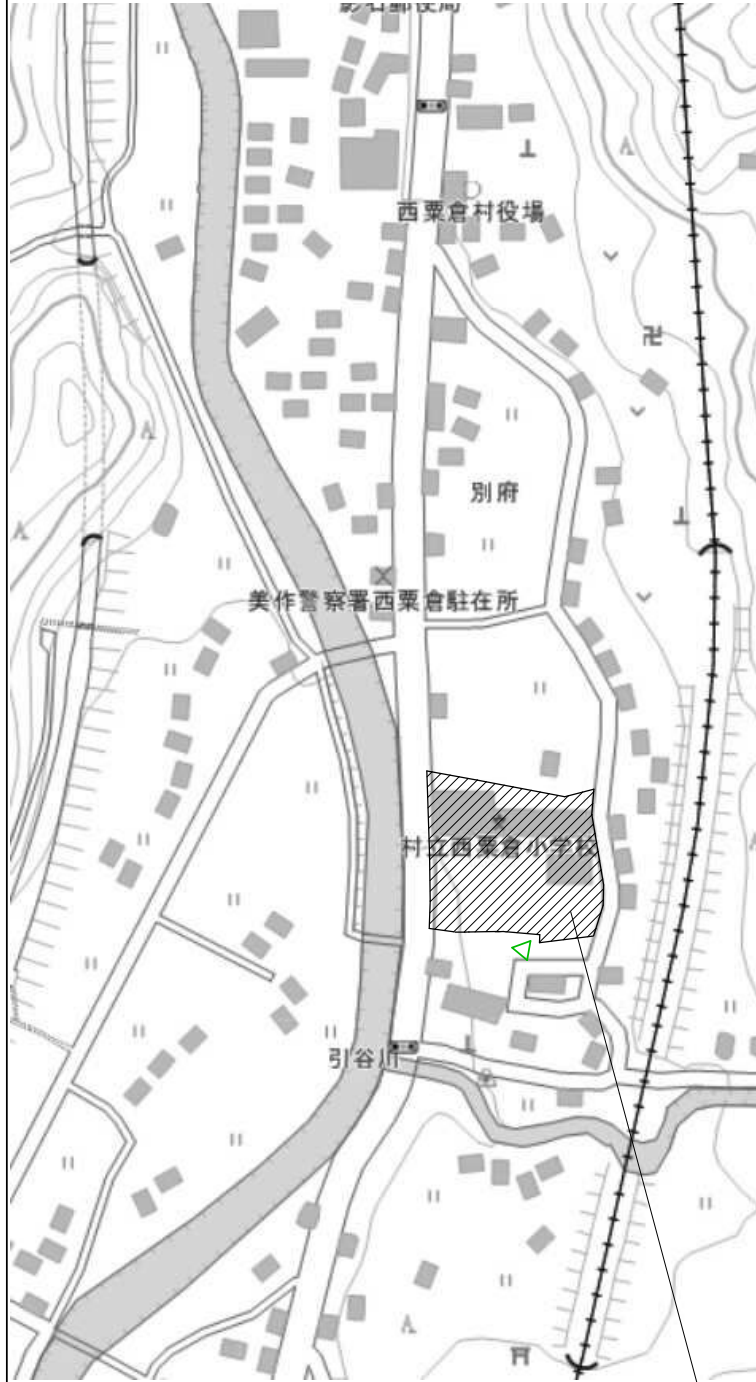
2	断熱・防露改修工事 [9. 3. 2~4]	断熱材は、原則としてグリーン購入法における特定調達品目を使用するものとする 断熱材のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・断熱材の打込み工法
3	屋上緑化改修工事 [9. 4. 2~4]	断熱材の種類 種類 厚さ (mm) 施工箇所 ・ビーズ法 ポリスチレンフォーム断熱材 ・25 ・ ・押出法 ポリスチレンフォーム断熱材 ・3種bA ・25 ・ ・土間下 (スキン層なし) ・ ・硬質ウレタンフォーム断熱材 ・25 ・ ・フェノールフォーム断熱材 ・25 ・ 施工箇所の詳細は、仕上表及び図示による ・断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ※A種1 ・ A種1H 厚さ (mm) ・25 ・ 30 施工箇所 ※窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトレンド回りの床版下等、部分的に後張りとしなければならない箇所 ・図示 積載基礎及び材料 ・屋上緑化軽量システム 芝及び地被類の樹種並びに種類等 ※図示 見切り材、舗装材、排水穴、マルテング材等 ※図示 工法 1章 20 適用区分による風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 支柱 ・設置する (種類 ・ 図示) かん水装置 ・設置する (工事区分は図示による) 既存保護層の撤去 ・行う 新植芝及び地被類の枯補償 枯補償の期間 ※刈戻しの日から1年 枯補償の期間内に樹木が枯死、枝損傷、形姿不良等となった場合は、同等以上のもの再植樹するとともに、取り除いた樹木の処分を行うものとする
10	1 フリーアクセスフロア [20. 2. 2]	施工箇所 構造 置敷式 支柱調整式 耐震性能 ・1. 0G ・0. 6G ・1. 0G ・0. 6G 所定荷重 ※3000N ・5000N ※3000N ・5000N パネル寸法 (mm) ・ ・ ・ 高さ (mm) ・ ・ ・ 床表面仕上げ材の材質 ※タイルカーペット ※タイルカーペット ・帯電防止床タイル ・帯電防止床タイル ボーダー部及びスロープ ※製造所の仕様 ・図示による ※製造所の仕様 ・図示による 寸法精度 ※標準仕様書20. 2. 2(2) (イ)による 表面仕上げ材の品質・性能は、改修標準仕様書6章 内装改修工事による 配線用取り出しパネル フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 ※製造所の仕様による ・20～30% 配線取り出し開口 ※製造所の仕様による ・パネル1枚につき40mm×80mm程度の開口1ヶ所以上空調用吹き出し（吸い込み）パネル 耐荷重性能 変形5. 0mm以下、残変形3. 0mm以下 耐衝撃性能 残変形3. 0mm以下及び損傷がないこと ローリングロード性能 所定荷重1, 000N (5, 000Nの積載荷重は1, 000N以上で任意) による繰り返し試験後、残変形3. 0mm以下 表面材 ※メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板 ドアエッジ材質形状 ※アルミRエッジ 幅木材質形状 ※ステンレス幅木 材質 表面仕上げ 直径 (mm) 取付箇所 ・集成材 ・CL ・ ・60 ・45 ・40 ・ ・ステンレスパイプ ・HL ・ ・60 ・45 ・40 ・ ・鋼製パイプ ・EP-G ・SOP ・60 ・45 ・40 ・ ・ビニル製
2	2 トイレブース [20. 2. 5]	材質 表面仕上げ 直径 (mm) 取付箇所 ・集成材 ・CL ・ ・60 ・45 ・40 ・ ・ステンレスパイプ ・HL ・ ・60 ・45 ・40 ・ ・鋼製パイプ ・EP-G ・SOP ・60 ・45 ・40 ・ ・ビニル製
3	3 手すり [20. 2. 6]	材質 表面仕上げ 直径 (mm) 取付箇所 ・集成材 ・CL ・ ・60 ・45 ・40 ・ ・ステンレスパイプ ・HL ・ ・60 ・45 ・40 ・ ・鋼製パイプ ・EP-G ・SOP ・60 ・45 ・40 ・ ・ビニル製
4	4 階段滑止め [20. 2. 7]	材質 表面仕上げ 直径 (mm) 取付箇所 ・集成材 ・CL ・ ・60 ・45 ・40 ・ ・ステンレスパイプ ・HL ・ ・60 ・45 ・40 ・ ・鋼製パイプ ・EP-G ・SOP ・60 ・45 ・40 ・ ・ビニル製
5	5 表示 [20. 2. 11]	・案内板 ・施設案内板（※標準詳細図による ・図示による） ・各階案内板（※標準詳細図による ・図示による） ・視覚障害者案内板（※図示による） ・点字名札 ※標準詳細図による ・市販品 図示 ・点字ボックス ※標準詳細図による ※JIS Z 8210による 図示による 形状・その他 ※図示による ・施設文字 ※標準詳細図による ・ ・切抜文字（・ステンレス製・貴銅製） ・箱文字（・ステンレス製・貴銅製） 字数（ ） 文字の大きさ（ x ） ・対人衝突防止表示 ・図示による ・非常用進入口 ・図示による 案内図用記号はJIS Z 8210による
6	6 ブラインド [20. 2. 14]	形式 横型ブラインド ・縦型ブラインド スラットの材質 アルミニウム合金製 ・アルミスラット ・クロススラット 種類 ※ギア式 ・1本操作コード式 ・コード式 ※2本操作コード式 ・操作棒式 スラットの幅 (mm) ※25 ・35 ・80 ・100 ボックス・レールの材質 ※鋼製 ・アルミニウム合金製 幅・高さ・取付箇所 ※図示 ・ ※図示 ・
7	7 ロールスクリーン [20. 2. 15]	操作方式 ・スプリング式 ・コード式（チェーン式） ・電動式 材質 ・図示による 遮光性能 ・図示による 寸法及び取付箇所 ・図示による

8	カーテン及びカーテンレール [20. 2. 16]	カーテン 取付箇所 生地の種類、品質、特殊加工等 ひだの種類 形式 開閉操作 洗濯室付 アレーン ・シングル ・内引き ※手引き ・ひも引き ・ダブル ・引分 ・電動 ・シングル ・片引き ※手引き ・ひも引き ・ダブル ・引分 ・電動
9	9 点検口	カーテンレール及び付属金物 施工箇所 寸法による区分 材料による区分 仕上げ 形状 かつ用付属金物 ・10-60 ※7mm以内及び7mm以内の合金の ※7mm以内 ※角形 ※10-90 押出し成型材
10	10 天井見切り縁等	・暗幕用は300mm以上の引合せの重ね掛けとする 天井 材質 アルミニウム製 寸法 (mm) ※450×450 ・600×600 形式 一般型 外枠 ・縦線タイプ ・目地タイプ 内枠 ・縦線タイプ ・目地タイプ 枠の許容差 ±0. 5mm以内 外枠と内枠のクリアランス 片側2. 0mm以内 材料の品質及び性能 外枠、内枠の材質 アルミニウム合金押出成形材 JIS H 4100 A 6063S-T 5 表面処理 表14. 2. 1のAC-1種、AC-2種（外枠はBB-1種、BB-2種） 外枠及び内枠のコーナーピース、吊り金物、取付ボルト 鋼板に亜鉛めっき等の防錆処理を行ったもの 床 材質 アルミニウム製 寸法 (mm) ・450×450 ※600×600 形式 ※屋内用一般型 ・密閉形 パッキンを装着しないもの及びがたつき防止用パッキンを装着したものの 枠の許容差 ±0. 5mm以内 外枠と内枠のクリアランス 片側2. 0mm以内 材料の品質及び性能 受枠材、蓋枠材、コーナーピース、底板材、底板補強材 アルミニウム合金押出成形材 JIS H 4100 A 6063S-T 5 表面処理 表14. 2. 1のAB-1種、AB-2種、BB-1種、BB-2種 開閉方式 旋錠・開錠は、鍵又は開閉用ハンドル式 その他 製造所の仕様による
11	11 視覚障害者用床タイル （視覚障害者誘導用ブロック） [11. 2. 2] [19. 2. 2]	材質 ・レジンコンクリート製（厚さ60mm） ・セラミックタイル製 表面形状 JIS T 9251による 寸法 ※300×300 色 ※黄色
12	12 埋戻し及び盛土 [3. 2. 3]	種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 D種の場合必要に応じて「セメント系固着材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」により、監督職員と協議の上、六価クロム溶出試験を行うものとする。
13	13 建設発生土の処理 [3. 2. 5]	※構外指示の場所に処分 ・ 構内指示の場所に敷き出し ・ 構内指示の場所に堆積
14	14 砂利地業 [4. 6. 2] [4. 6. 3]	材料 ※再生クラッシュラン ・ 切込砂利及び切込砕石 厚さ及び使用範囲 使用範囲 ※60 ・ 図示による
15	15 捨コンクリート地業 [4. 6. 4]	コンクリートの種類 ※普通コンクリート 設計基準強度 ※18N/m ² ・ N/m ² スランブ ※15cm ・ 18cm 厚さ及び使用範囲 使用範囲 ※50 ・ 図示による
16	16 床下防湿層 [4. 6. 5]	施工範囲 ※建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下（ピット下を除く） 防湿工法 ※ポリエチレンフィルム厚さ0. 15mm以上 防湿層の位置 ※図示による
17	17 排水管 [21. 2. 1]	・造心力鉄筋コンクリート 種類 ※外径管1種B形 継手 ※ゴム接合 ・モルタル接合 ・硬質ポリ塩化ビニル管 ・VP ・VU ・RS-VU 建物外での硬質ポリ塩化ビニル管であって、使用済み塩化ビニル管を原材料とする塩化ビニルが製品全体重量比で30%以上使用されていること
18	18 倒壊、排水枡等 [21. 2. 2]	
19	19 路床 [22. 2. 2~5]	
20	20 路盤 [22. 3. 2~5]	
21	21 アスファルト舗装 [22. 4. 2~6]	
22	22 補装地の確認 [23. 1. 3]	
23	23 補装基礎の整備 [23. 2. 2~4]	
24	24 支柱材 [23. 3. 2]	
25	25 新植樹木の枯補償 [23. 3. 4]	
26	26 移植樹木の枯補償処置 [23. 3. 6]	
【工事名称】 西栗倉小学校トイレ改修工事		【図面番号】 04
【図面名称】 建築改修工事特記仕様書 4		検収印
<h1>倉森建築設計事務所</h1> <p>一級建築士事務所登録 岡山 1081号 一級建築士 169969号 赤木 定</p>		

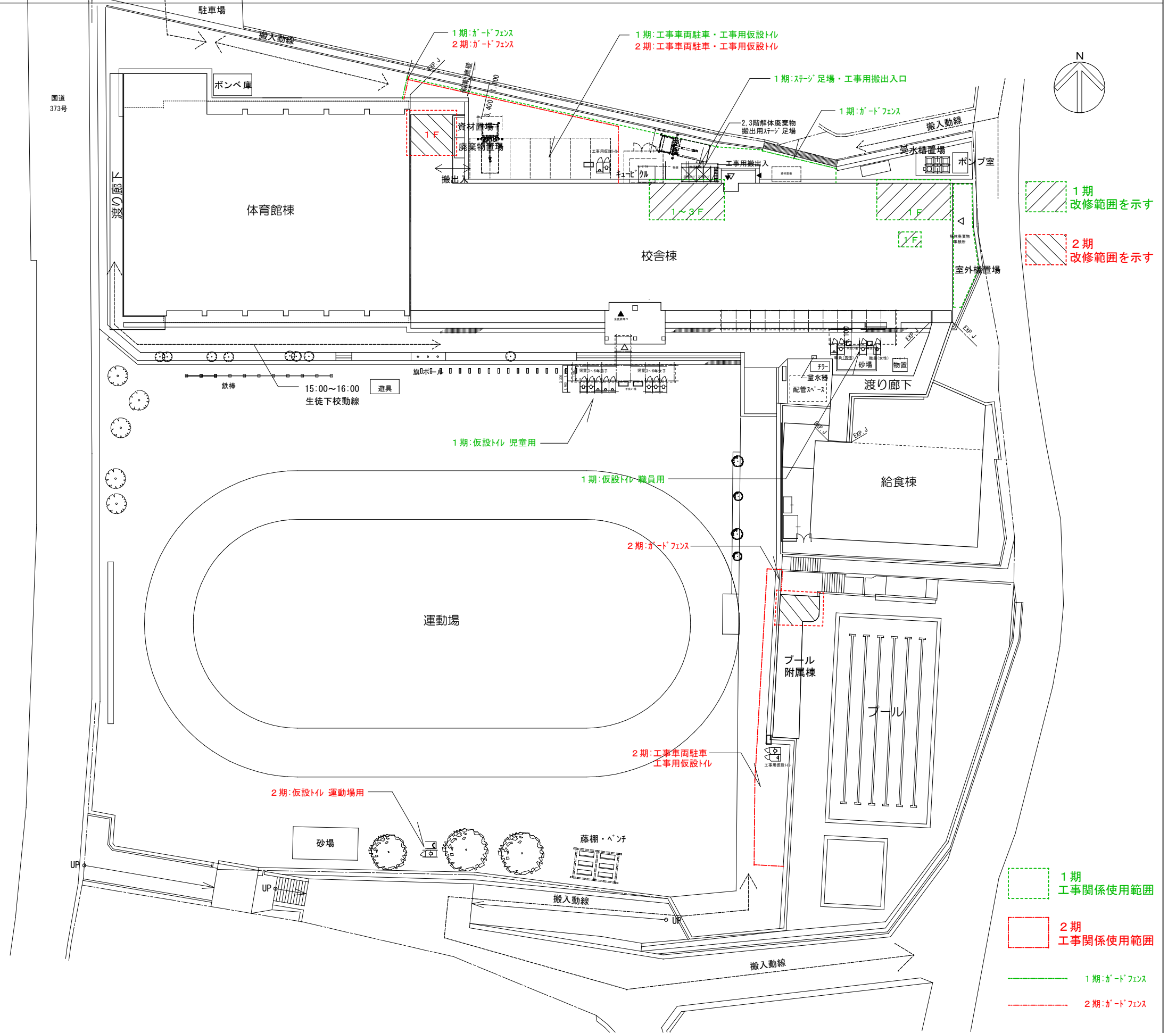
付近見取図

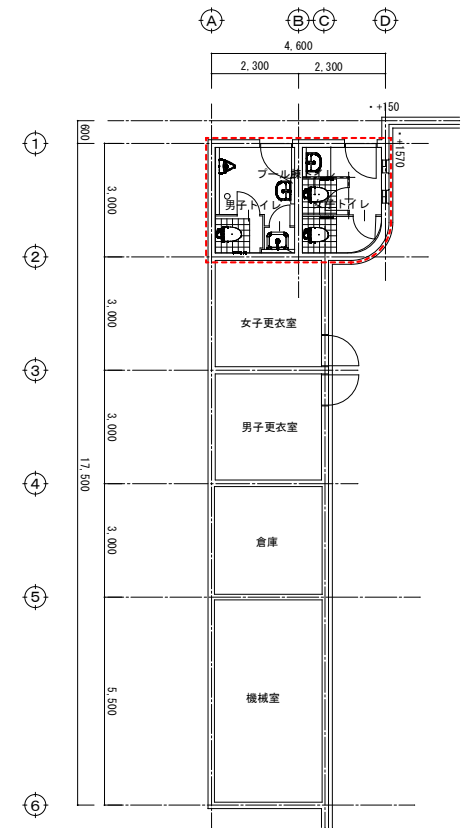
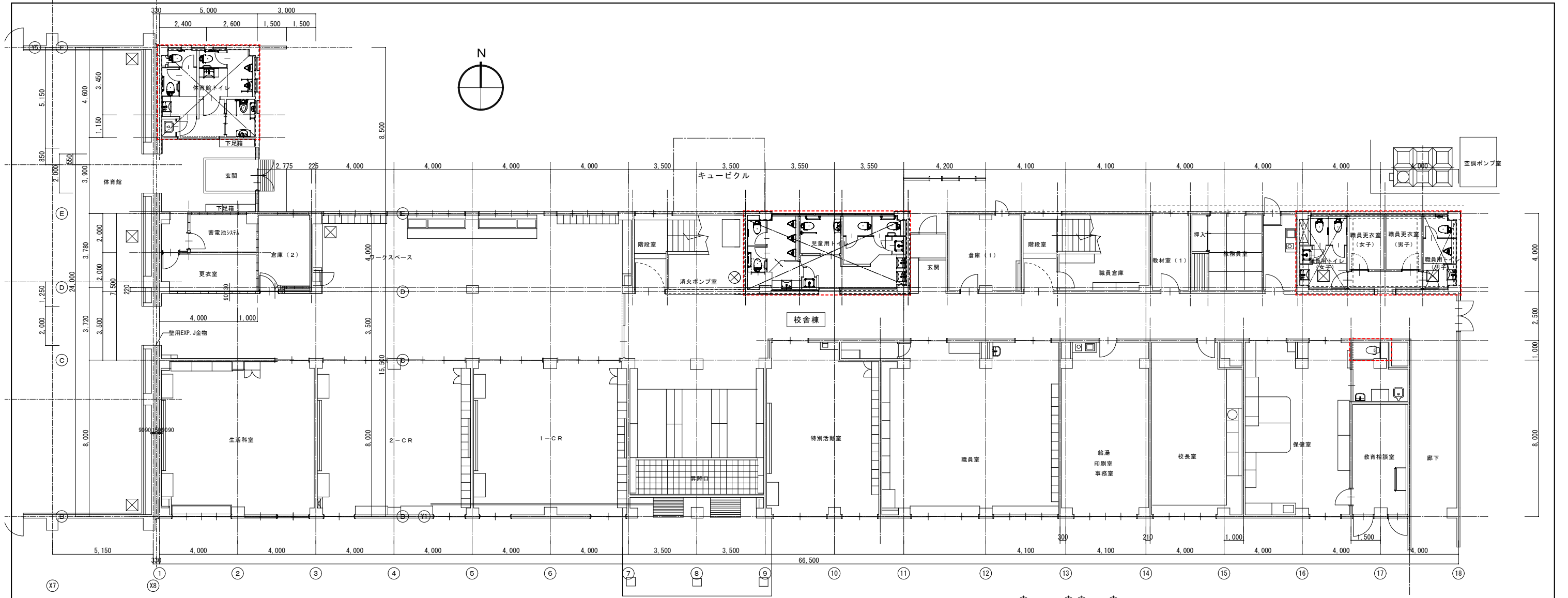
scale 1:2500

配置図

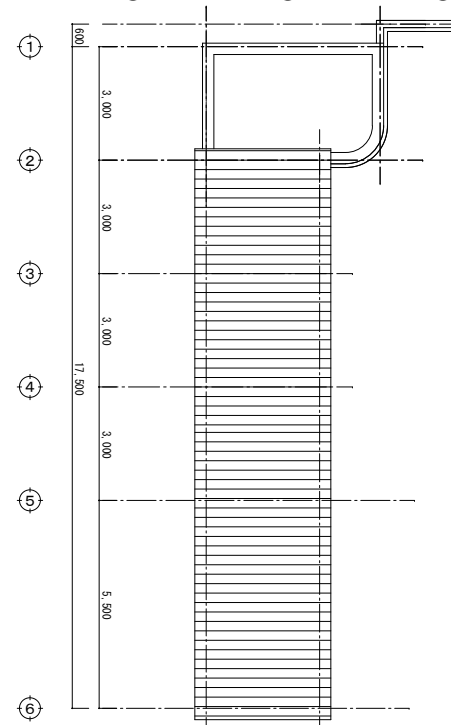
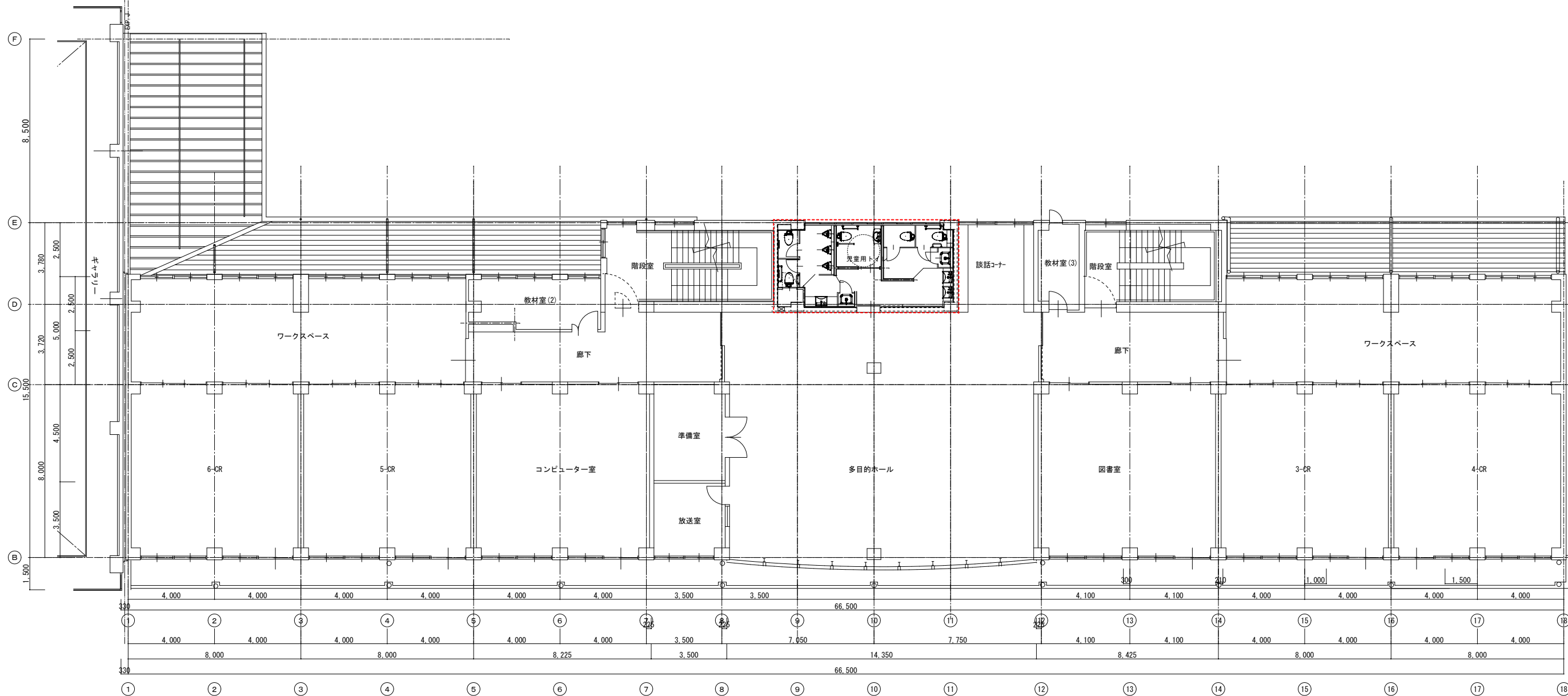


西栗倉小学校
岡山県英田郡西栗倉村長尾1555

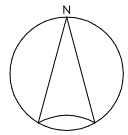
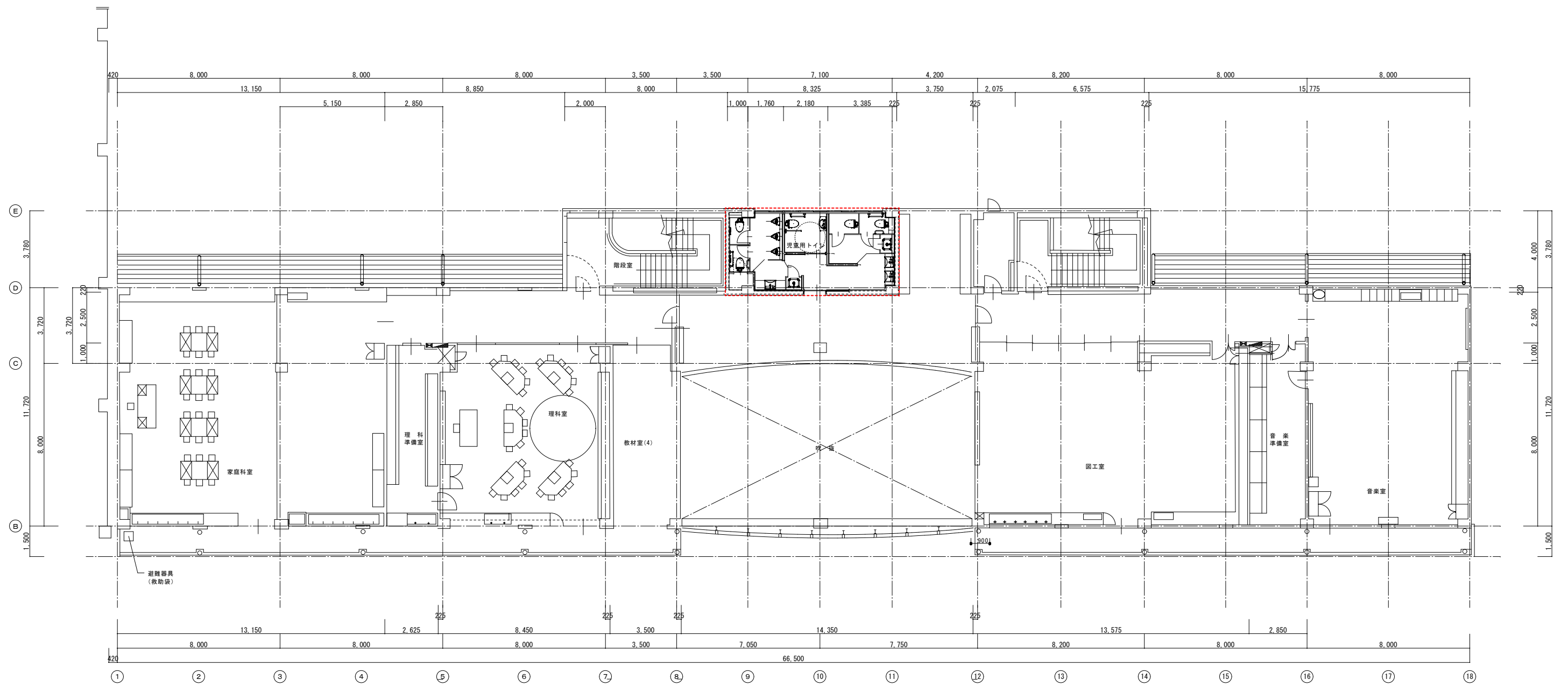




改修範囲を示す

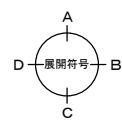
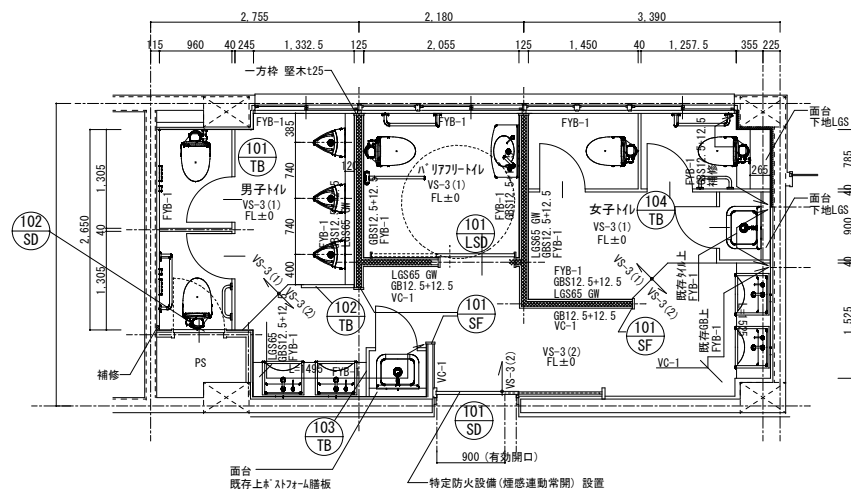


改修範囲を示す



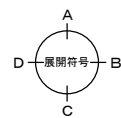
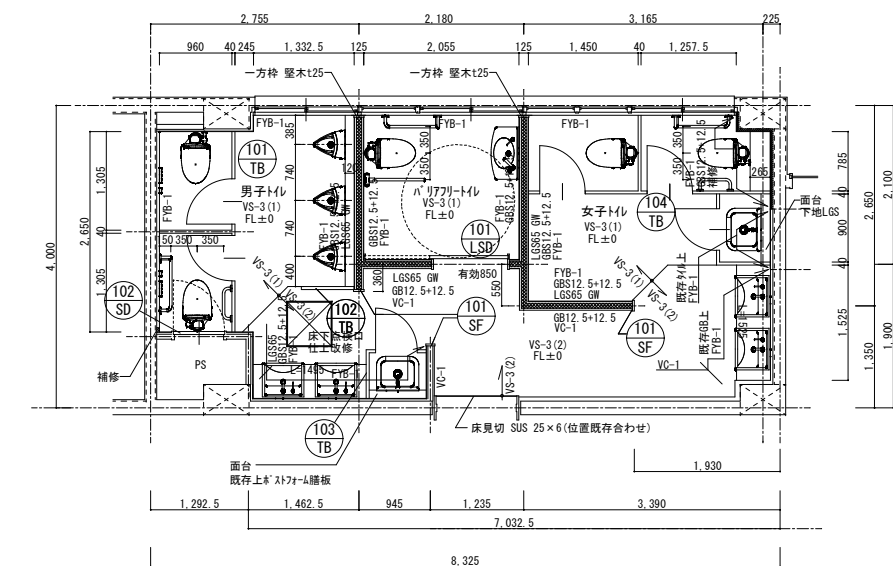
 改修範囲を示す

	西葉倉小学校トイレ改修工事	建築工事	09
	3階平面図 (改修後)	SCALE A1-1:100 A3-1:200	A.09



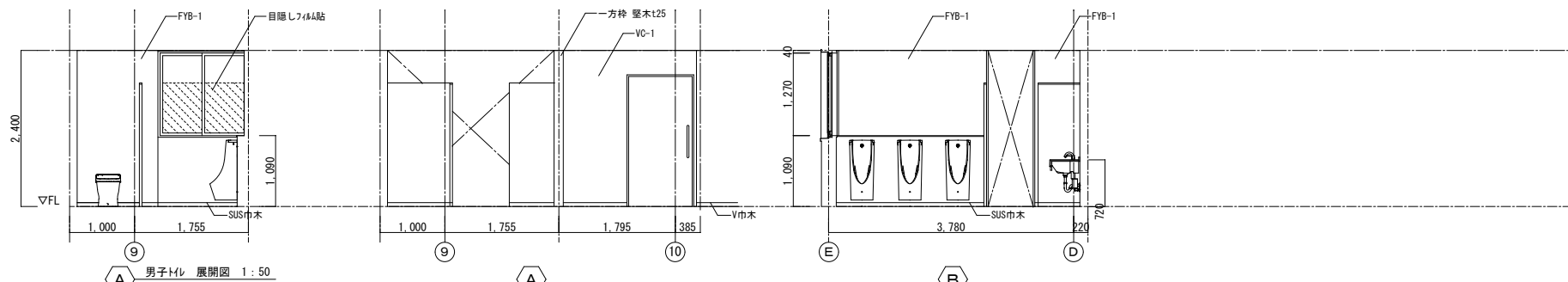
校舎棟 2階・3階児童用トイレ

- 面台 既存上*スチール板 MPF
- タイル欠損補修部分はUL工法 GBS12.5 を1枚貼りとする
- 網は 24k t50 とする

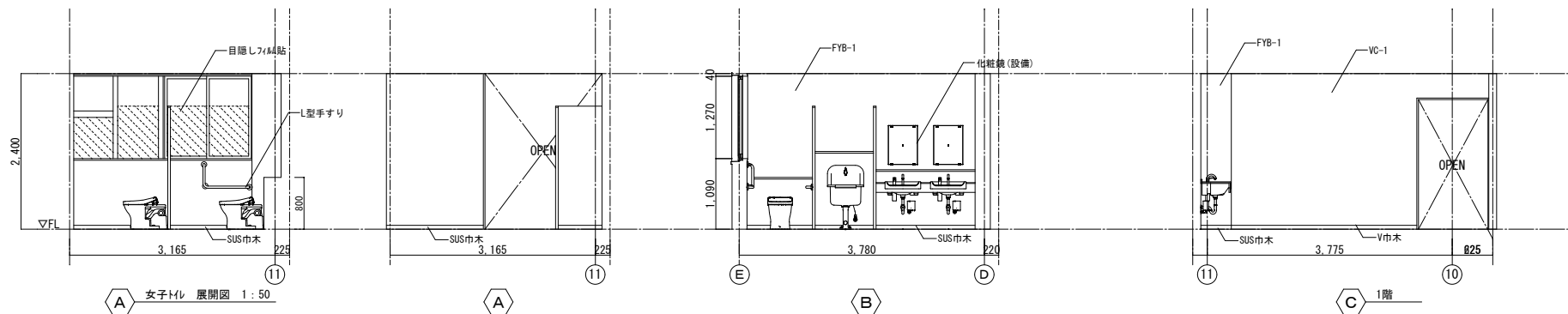
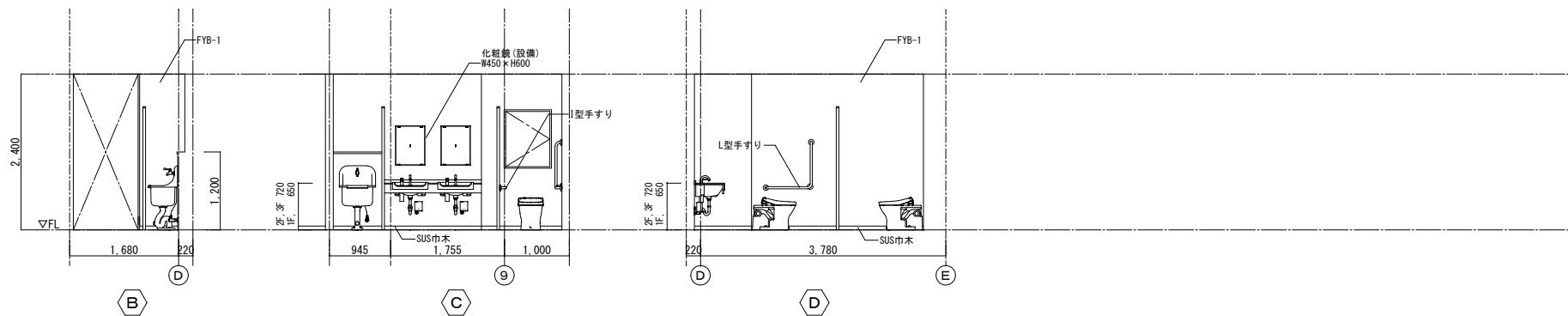


校舎棟 1階児童用トイレ

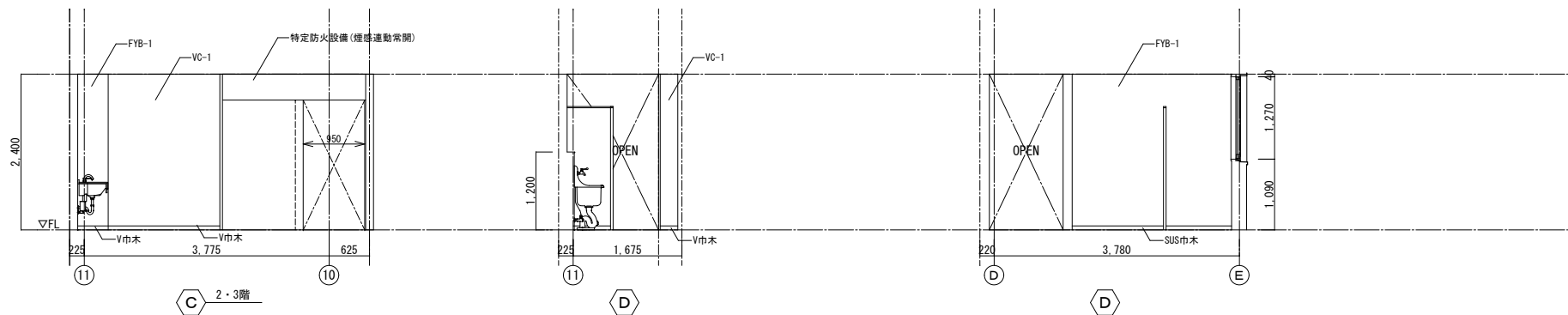
- 面台 既存上*スチール板 MPF
- タイル欠損補修部分はUL工法 GBS12.5 を1枚貼りとする
- 網は 24k t50 とする



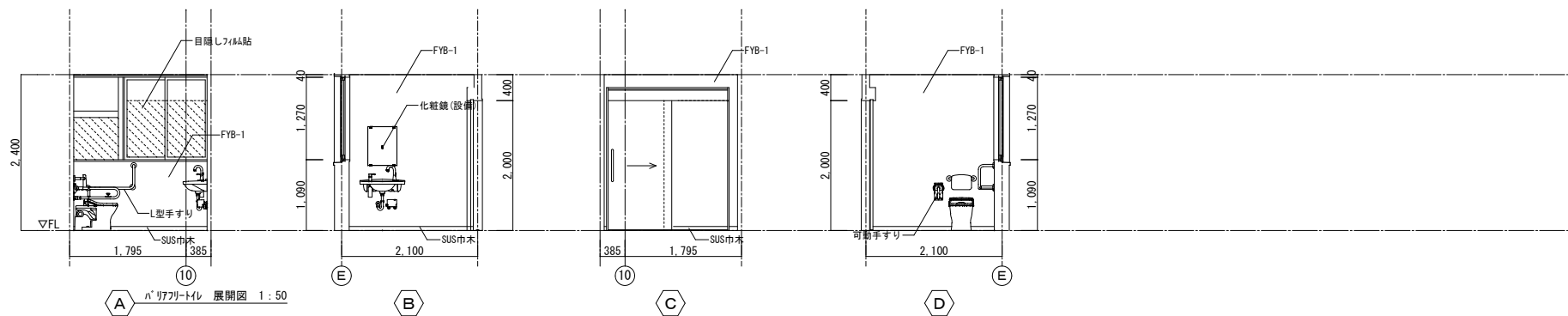
男子トイレ 展開図 1:50



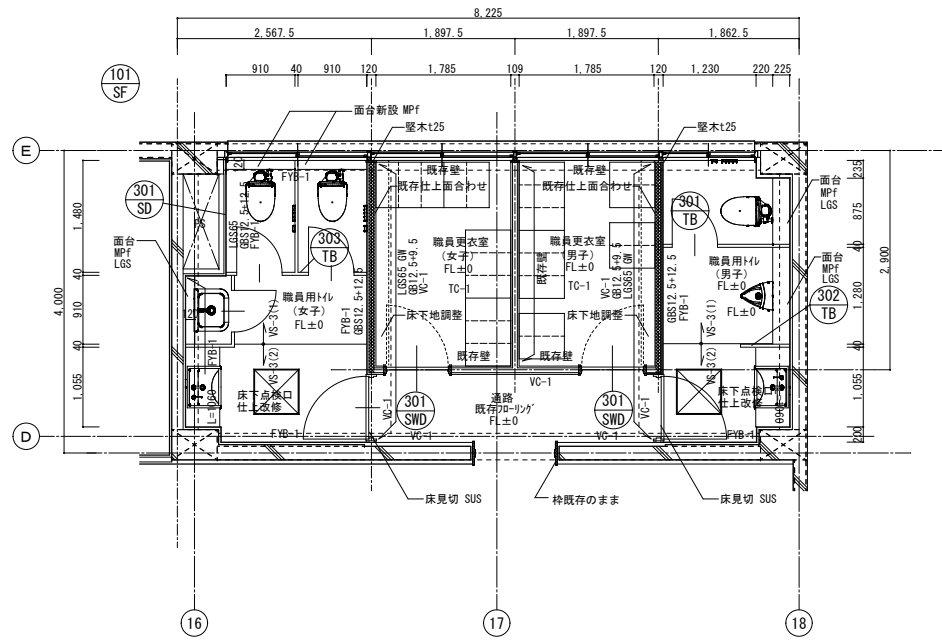
女子トイレ 展開図 1:50



2・3階

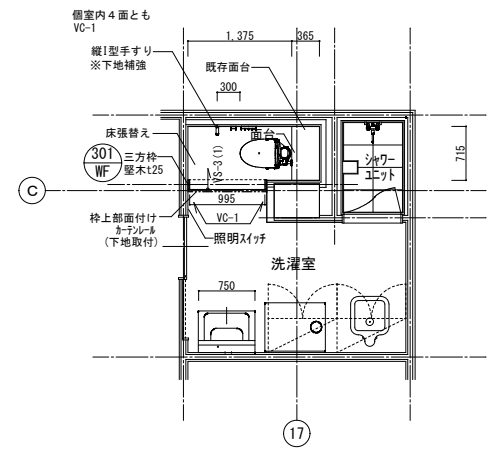


男子トイレ 展開図 1:50

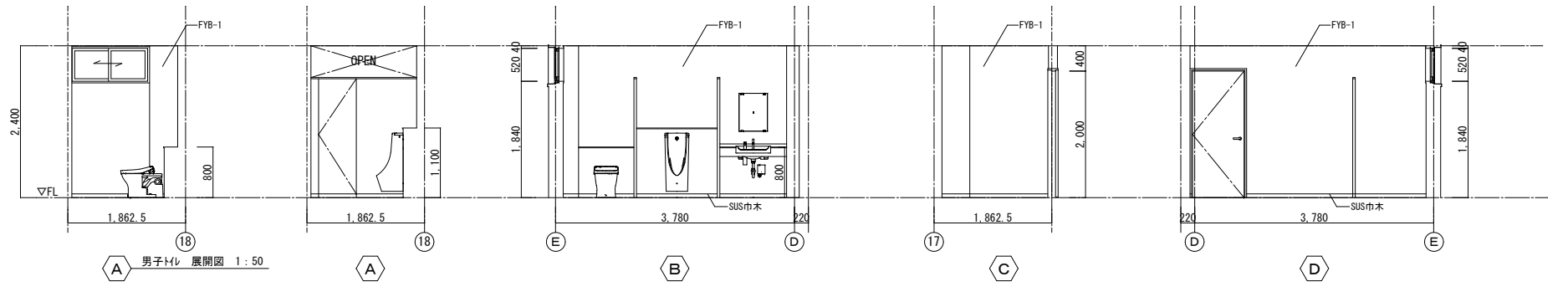


校舎棟 1階職員用トイレ

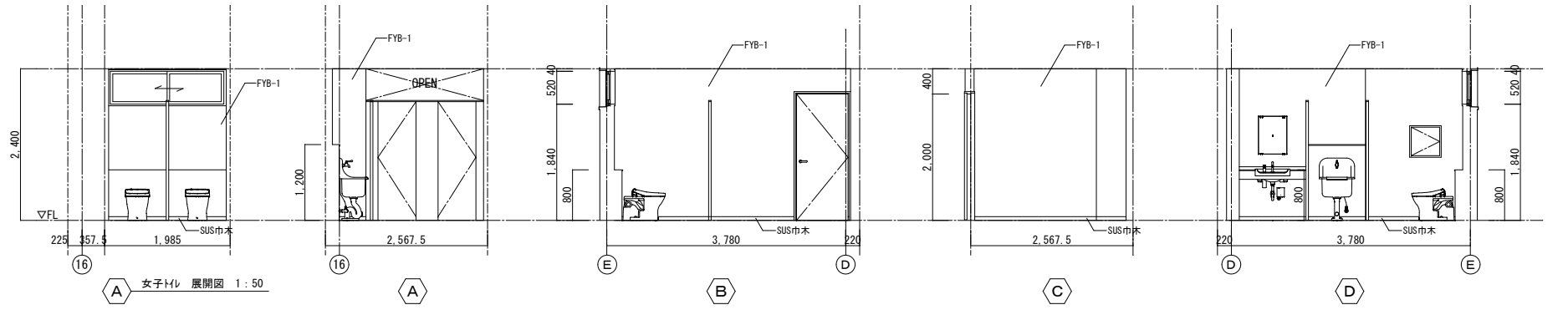
- 面台 フォenix化粧板#1774-L MPF
- タイル交換補修部分は施工法 GBS12.5 を1枚貼りとする
- 勾配は 24k 150 とする



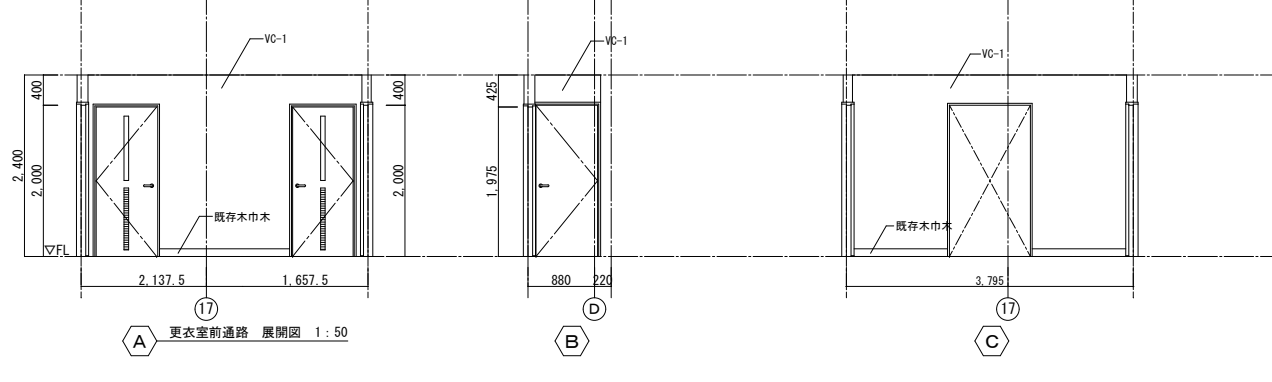
校舎棟 保健室トイレ



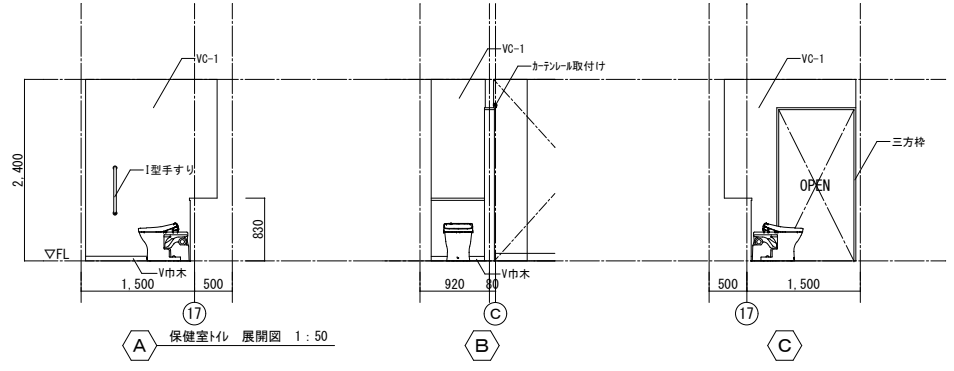
男子トイレ 展開図 1:50



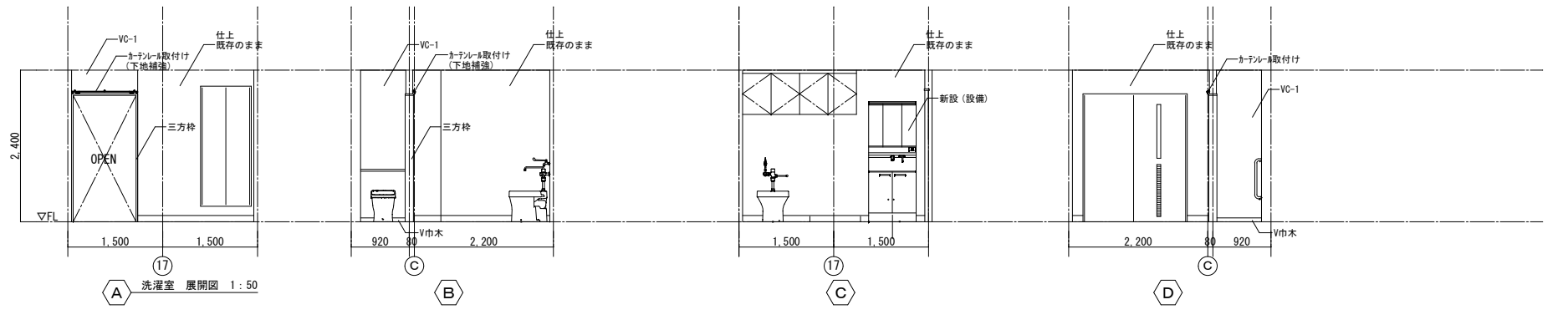
女子トイレ 展開図 1:50



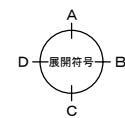
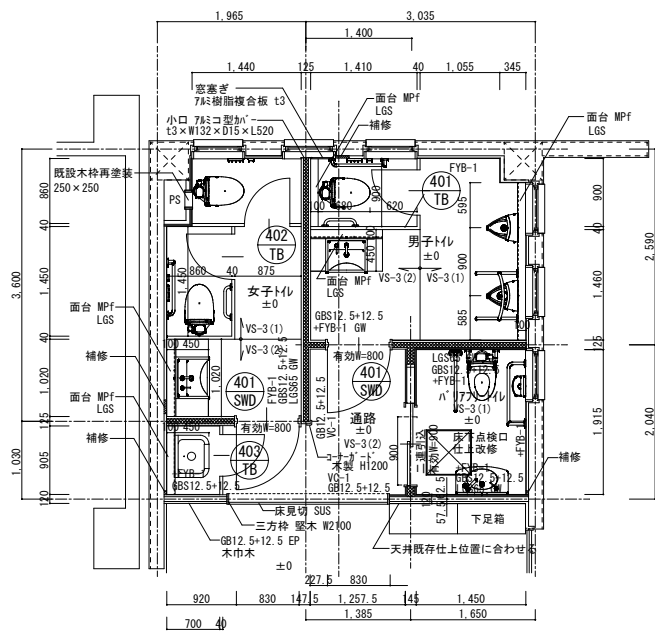
更衣室前通路 展開図 1:50



保健室トイレ 展開図 1:50

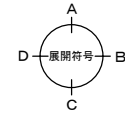
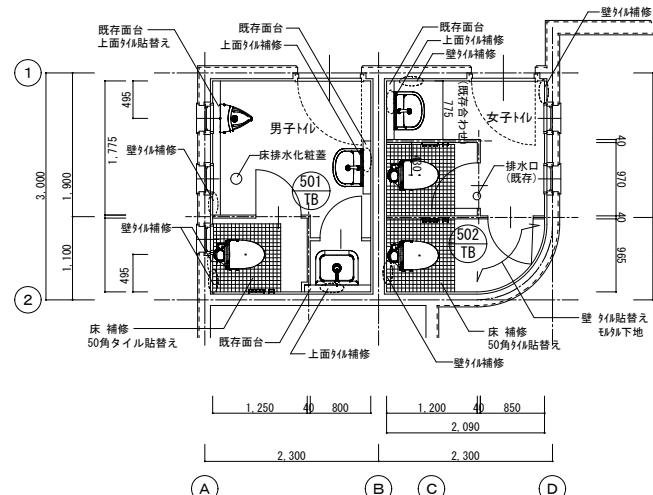
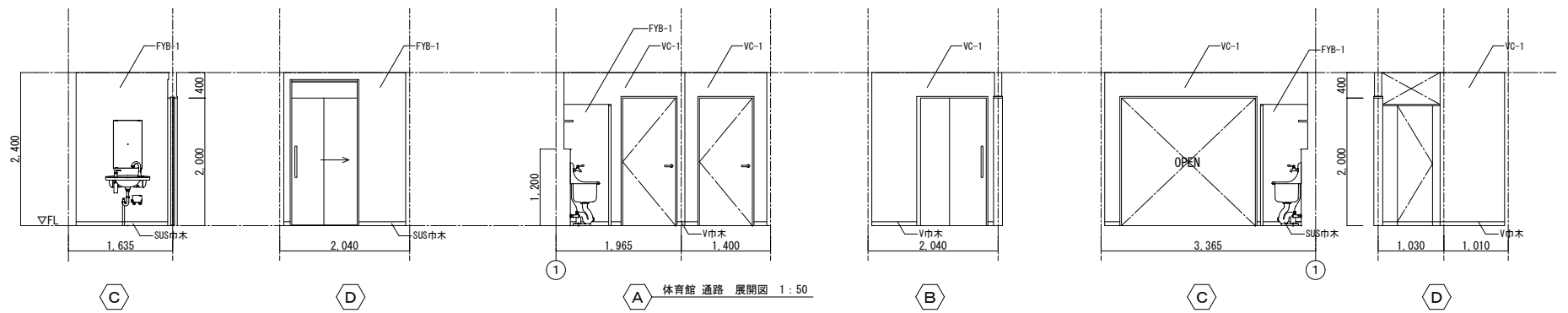
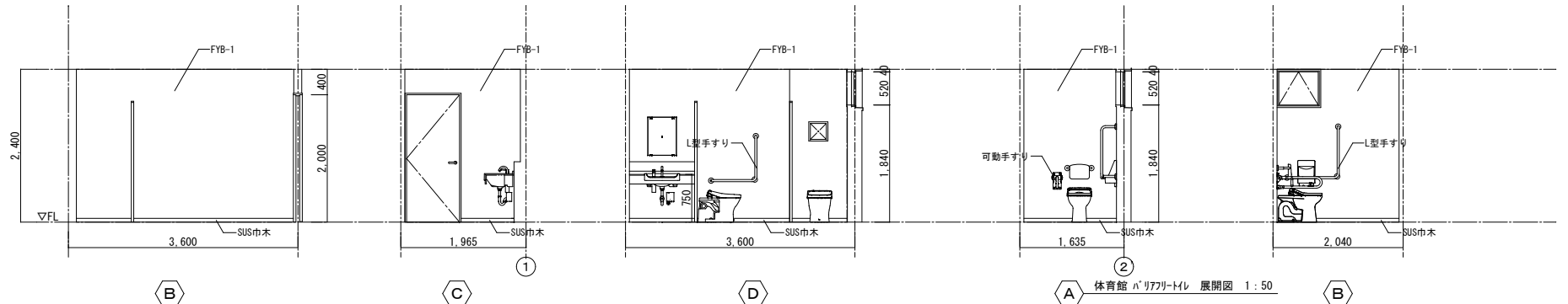
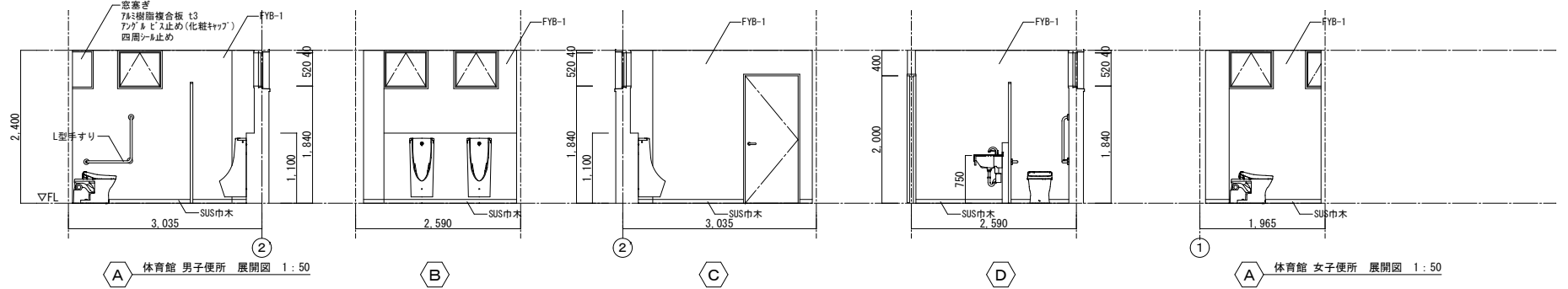


洗濯室 展開図 1:50



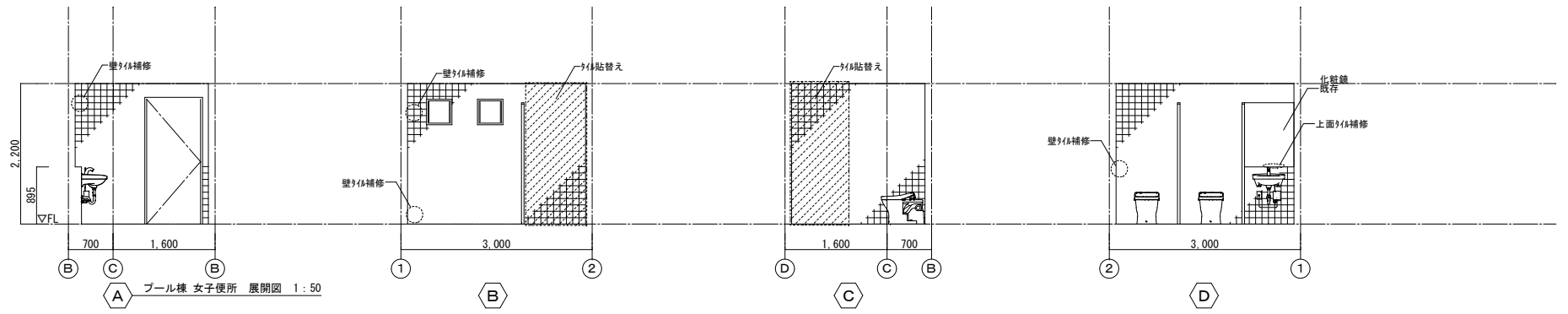
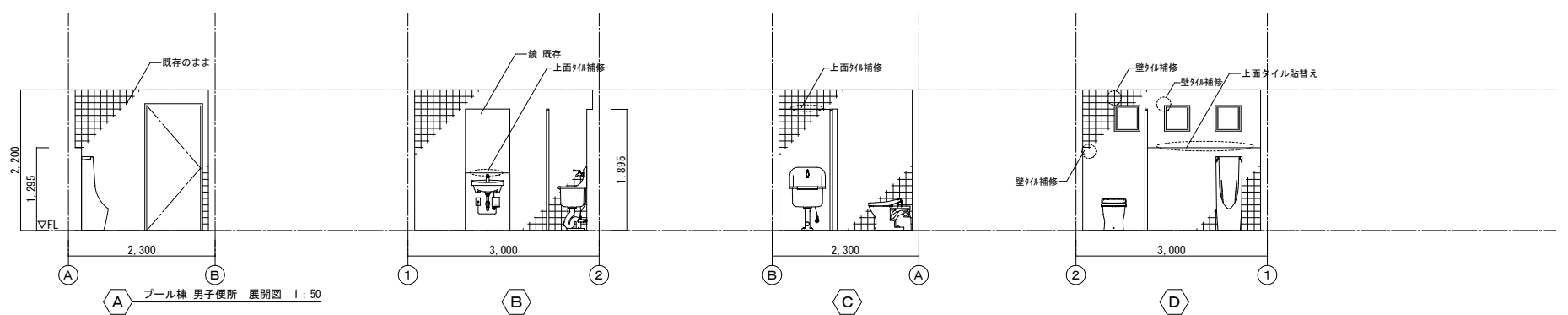
体育館トイレ

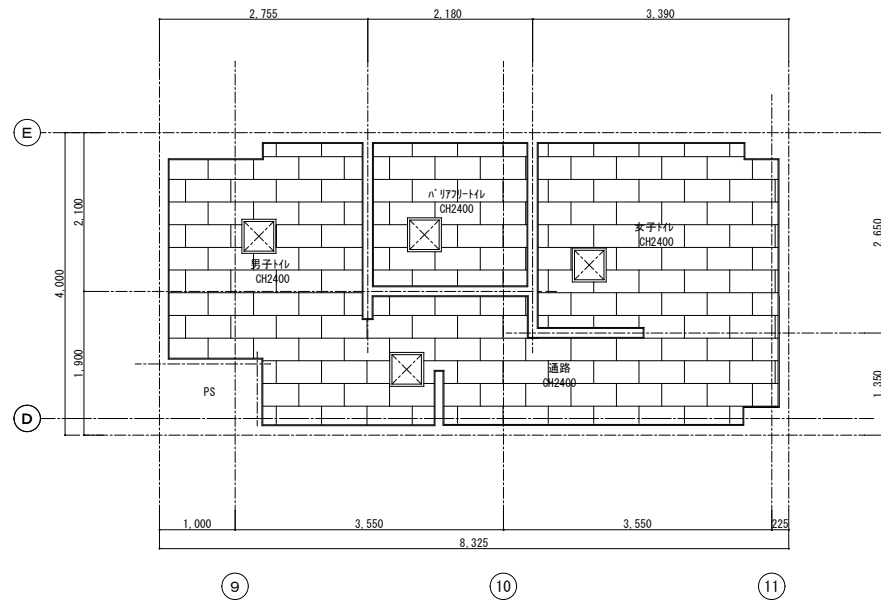
面台 化粧化粧板*スチール MPf
 ■ タイル交換補修部分はU工法
 GBS12.5を1枚貼りとする
 補修 Gflは24k t50とする



プール棟トイレ

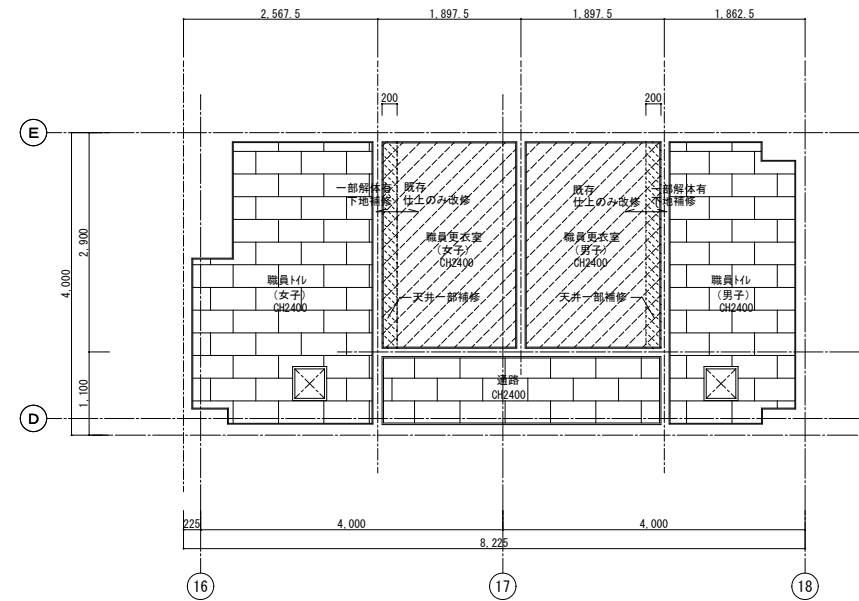
○ 壁100角タイル 補修
 *カセキング工法*樹脂注入工法
 ■ 壁タイル 接着剤貼り工法



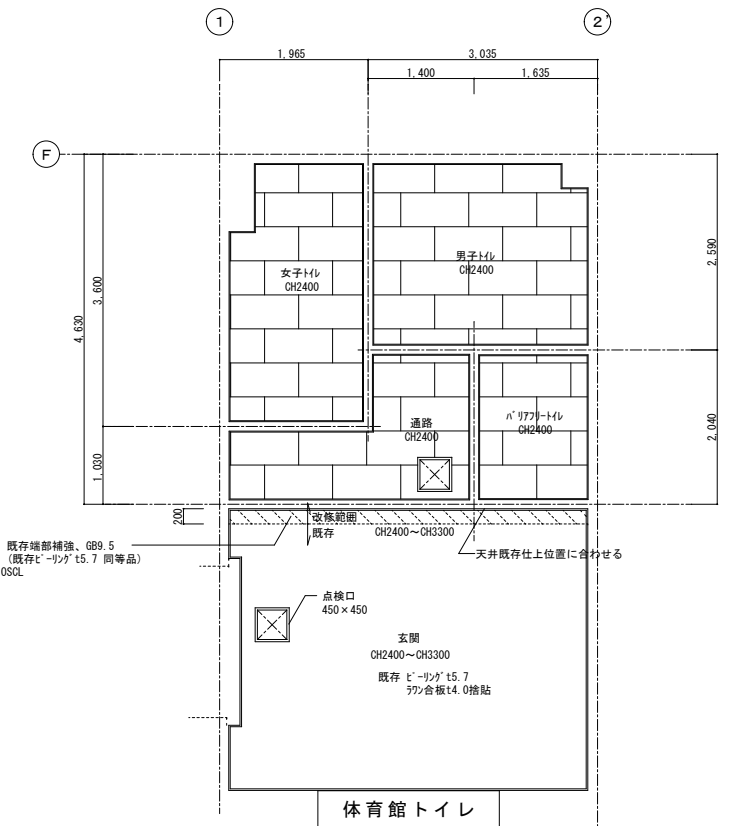


3階天井裏は GW24k t=100 敷込みとする

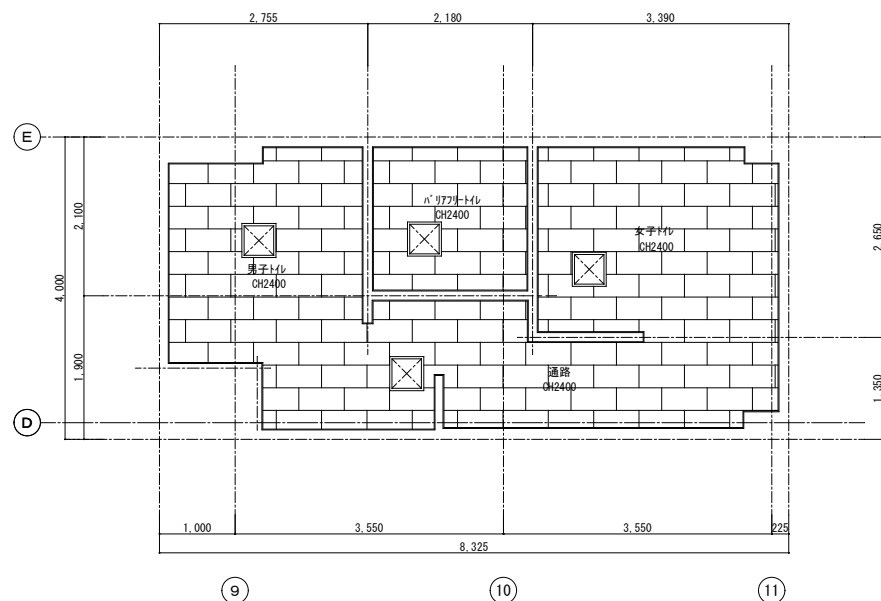
校舎棟 2階・3階児童用トイレ



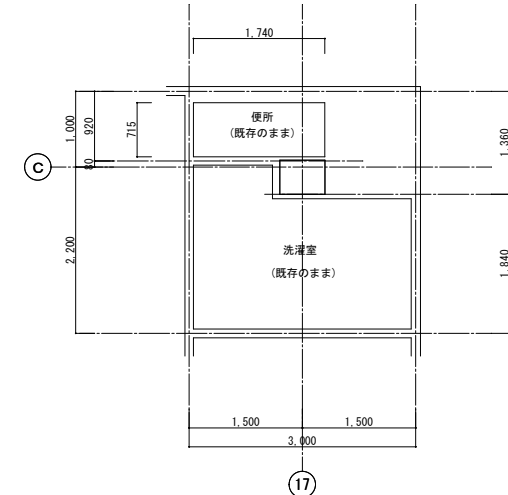
校舎棟 1階職員用トイレ



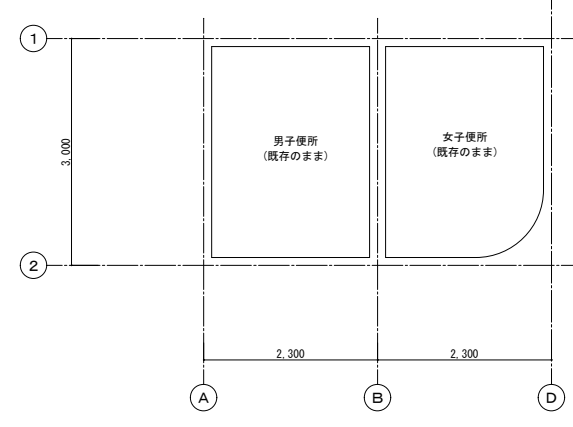
体育館トイレ



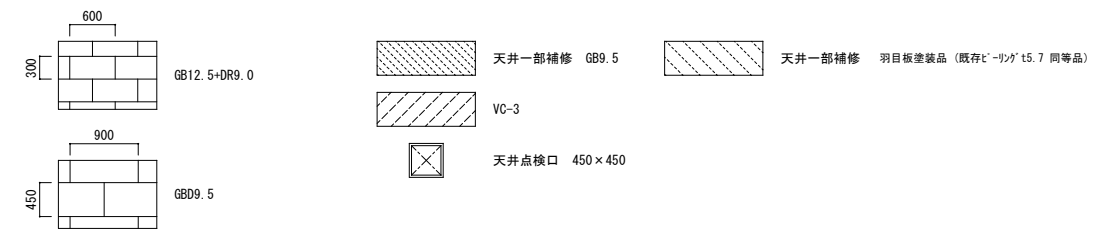
校舎棟 1階児童用トイレ

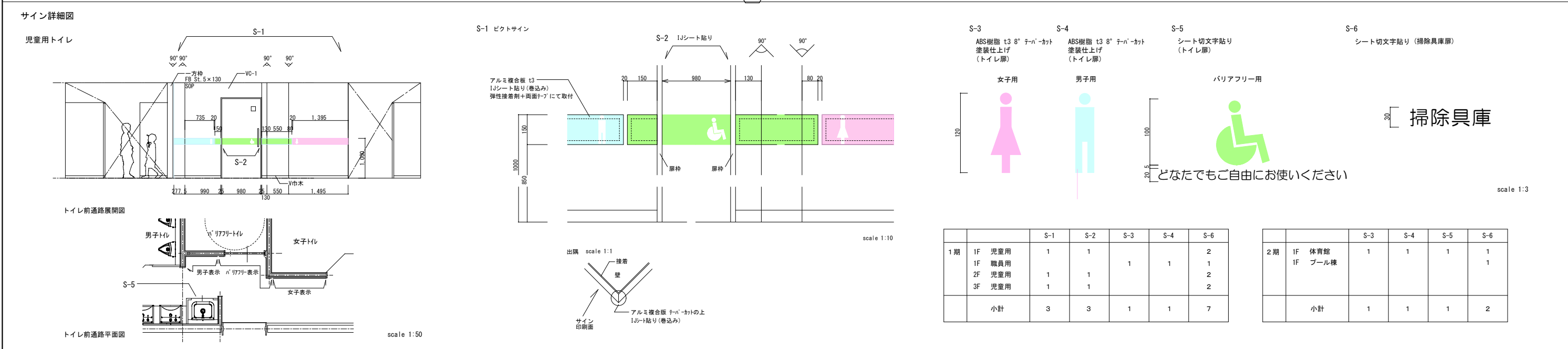
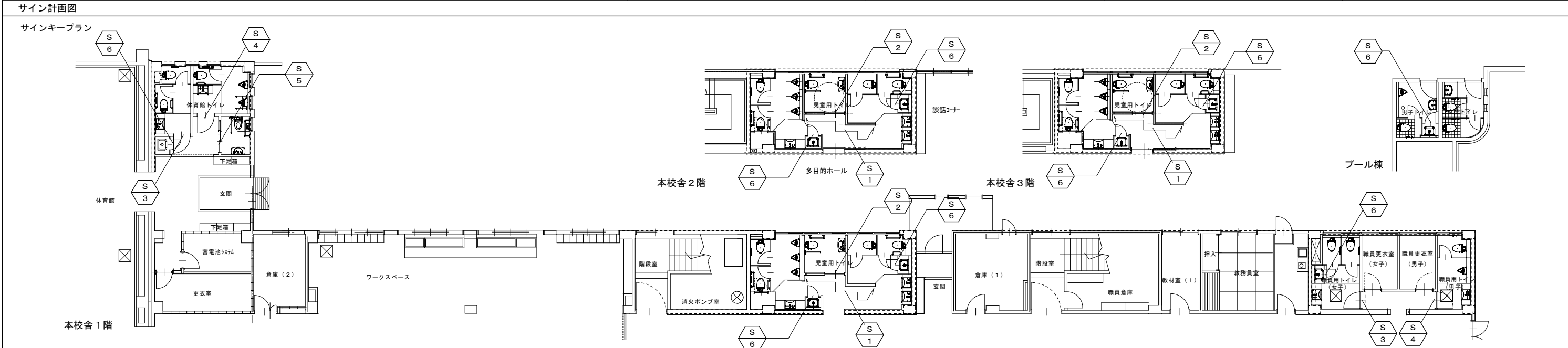
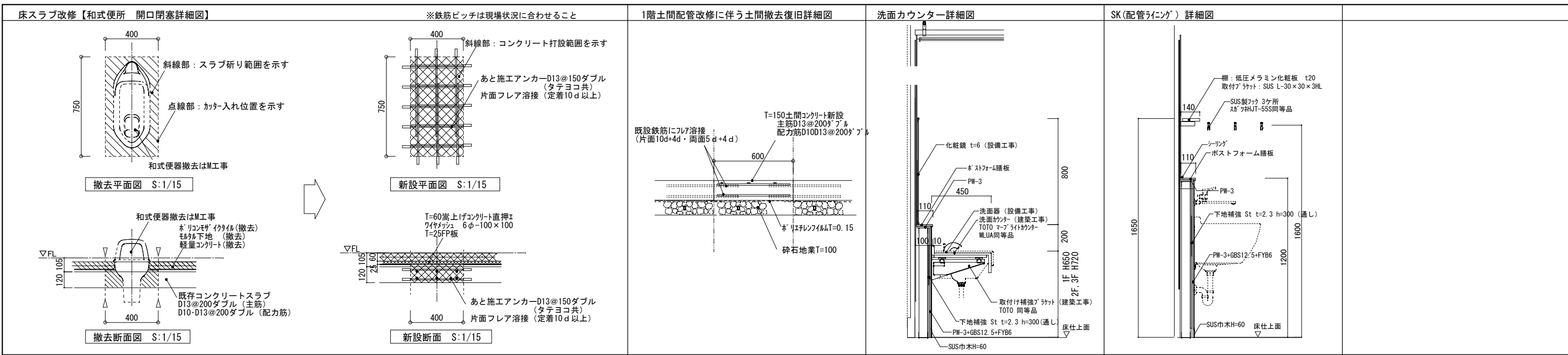


校舎棟 ハリアフトイレ



プール棟トイレ





16. 建具工事特記仕様書

A. 一般事項
1 材料
2 工 作

B. アルミニウム建具
1 建具の性能
2 仕 上 げ
3 防 食
4 組 立
5 製 造 所

C. 鋼製建具
1 材 料
2 形 式・寸法
3 性 能
4 防 錆
5 製 作 所

D. ステンレス建具
1 材 料
2 形 式・寸法
3 性 能
4 防 錆
5 製 作 所

E. シャッター
1 種 別
2 材 料
3 形 式
4 各部構造
5 製 造 所

F. 木製建具
1 材 料
2 形 式・寸法
3 性 能
4 防 錆
5 製 作 所

G. 鋼製軽量建具
1 材 料
2 工 作
3 防 錆
4 製 造 所

H. 建具金物
1 鍵・錠類
2 金 物

I. ガラス工事
1 材 料
2 工 法

J. その他建具工事
1 トイレブース
2 扉・ガラス

建具の材質と符号
符号 材 種
WD 木製ドア
WW 木製窓
F 扉
S 障子
SD スチール製ドア
SW スチール製窓
SG スチール製ガラリ
SS 扉・ガラス

建具の仕様と寸法
シャッター内法幅
シャッター厚(M/M)
シャッター内法幅
レベル溝の深さ(M/M)

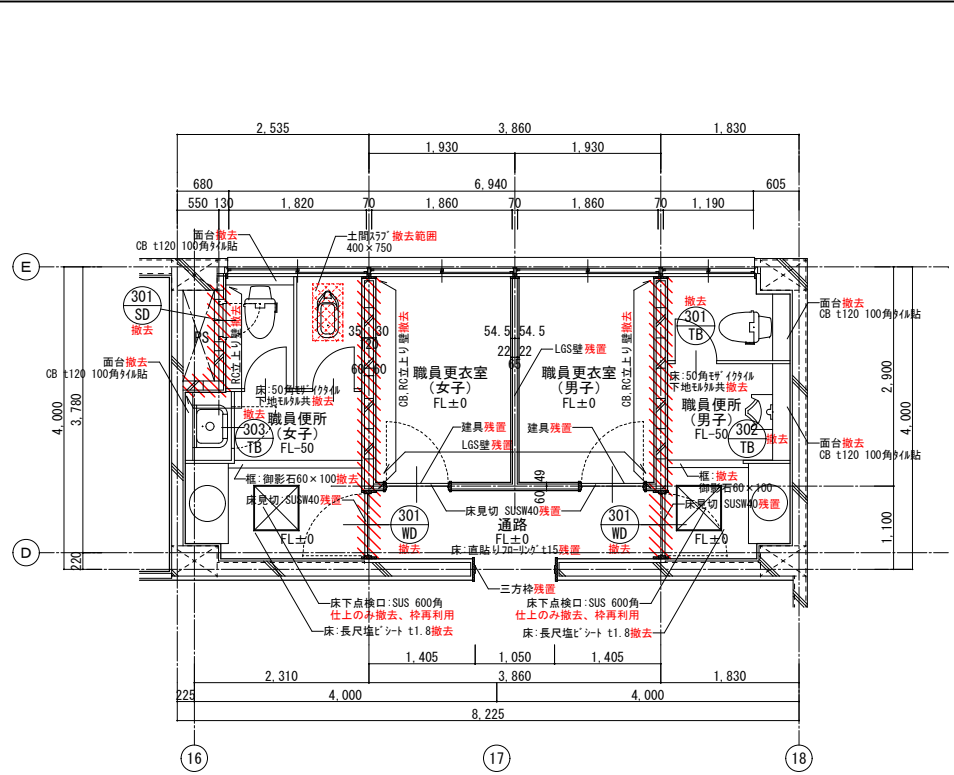
ガラスの仕様と寸法
ガラスの厚さ
ガラスの寸法
ガラスの耐力
ガラスの耐熱性

ガラスの仕様と寸法
ガラスの厚さ
ガラスの寸法
ガラスの耐力
ガラスの耐熱性

ガラスの仕様と寸法
ガラスの厚さ
ガラスの寸法
ガラスの耐力
ガラスの耐熱性

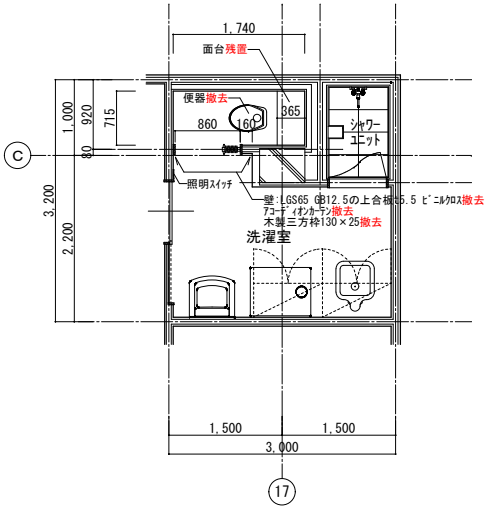
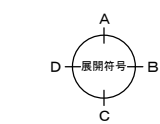
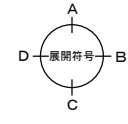
ガラスの仕様と寸法
ガラスの厚さ
ガラスの寸法
ガラスの耐力
ガラスの耐熱性

ガラスの仕様と寸法
ガラスの厚さ
ガラスの寸法
ガラスの耐力
ガラスの耐熱性

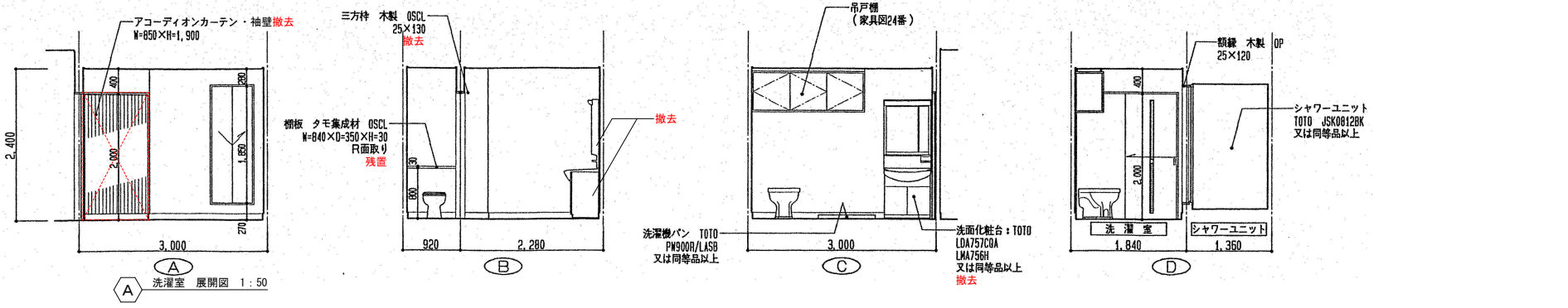
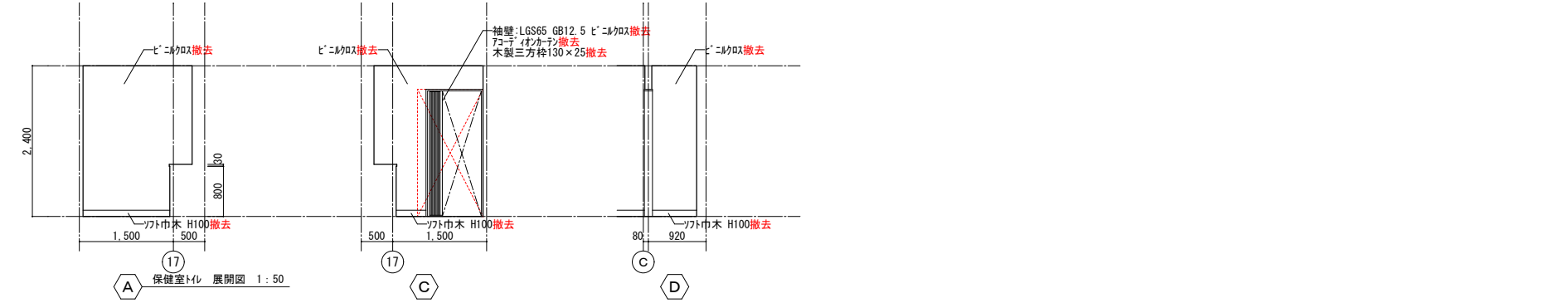
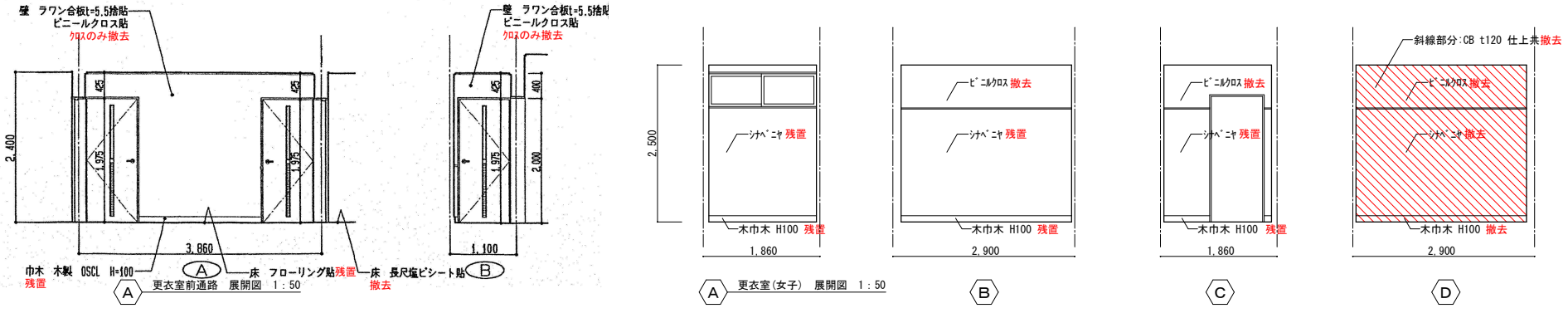
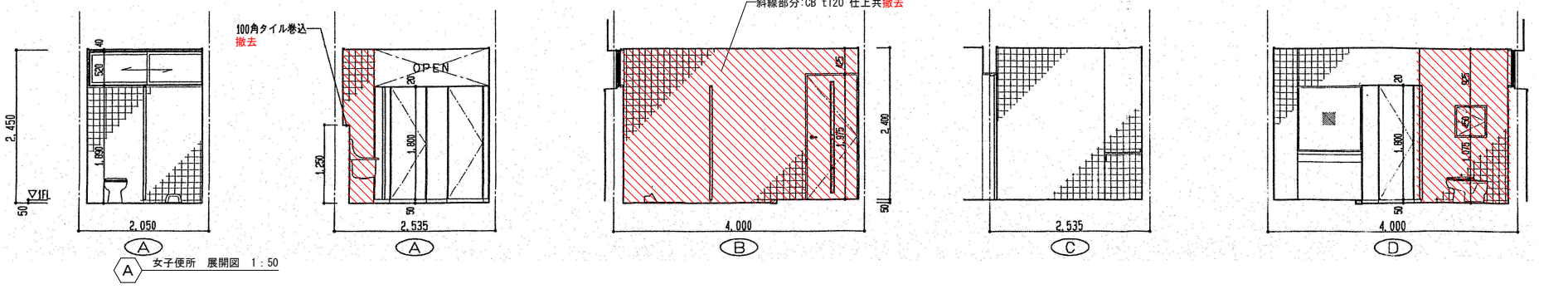
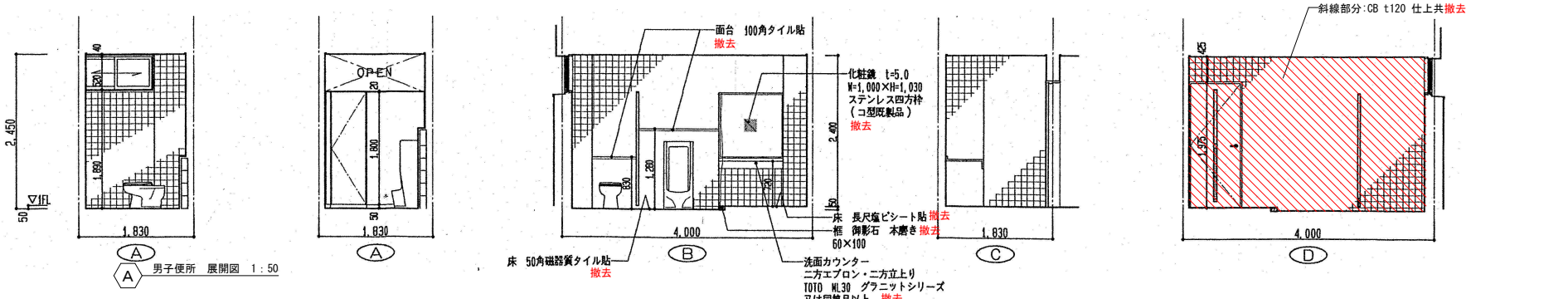


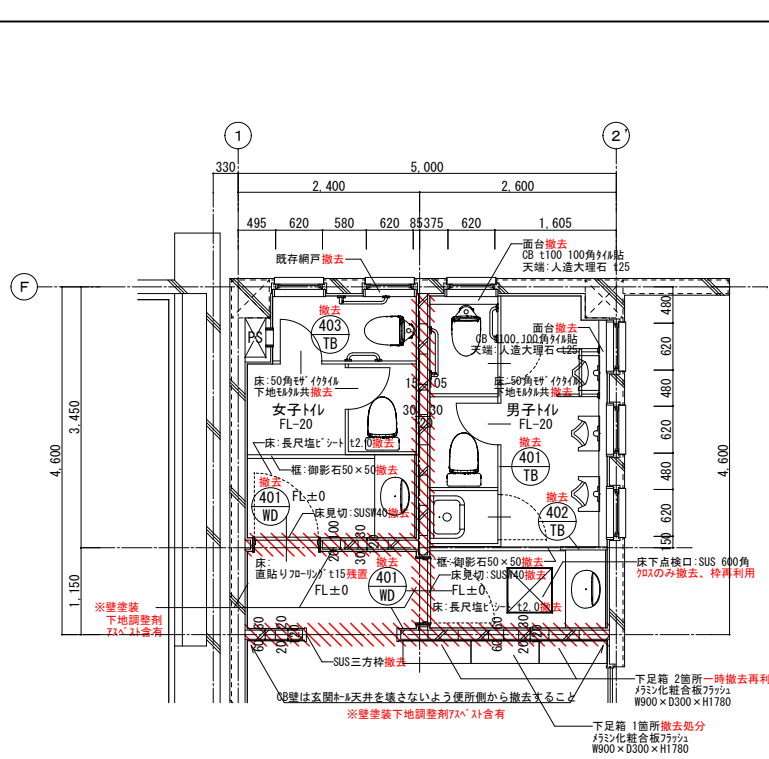
校舎棟 1階職員用トイレ

※便器、小便器、手洗い、掃除機は全て撤去
 ※RC立上り壁撤去はSL±0~SL+450まで撤去すること
 ※SL±0 = FL-30とする
 壁:CB t120 仕上共撤去



校舎棟 保健室トイレ

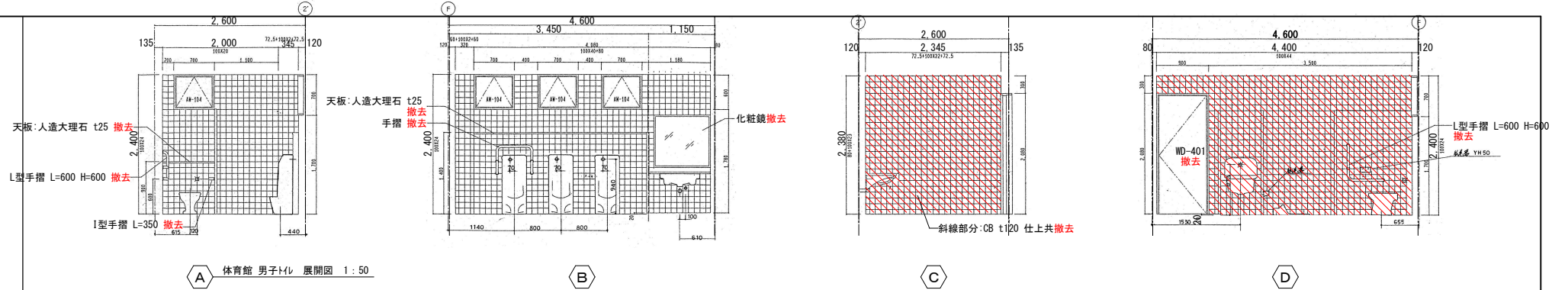
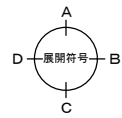




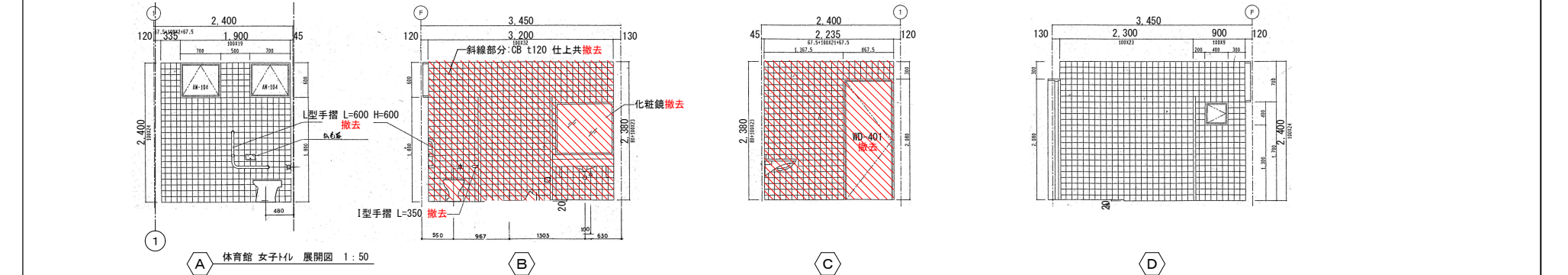
体育館トイレ

※便器、小便器、手洗い、掃除流し、手摺は全て撤去

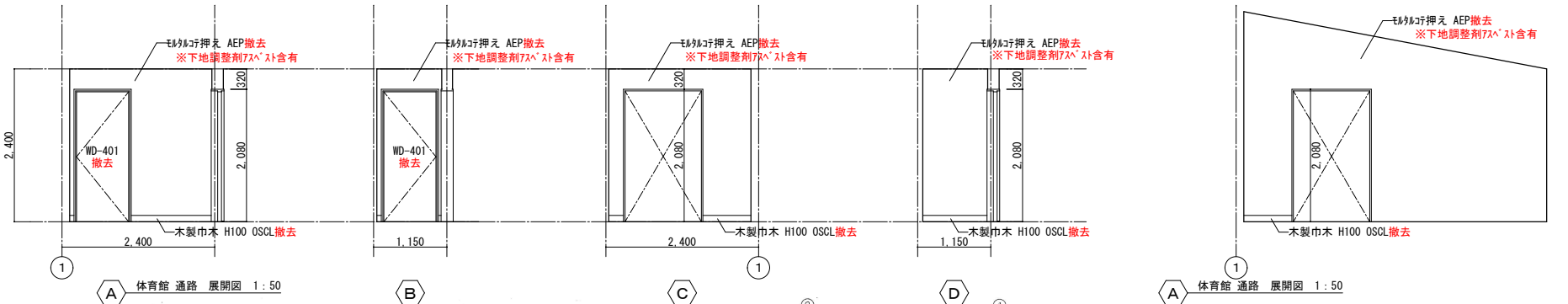
壁: CB t120 仕上共撤去



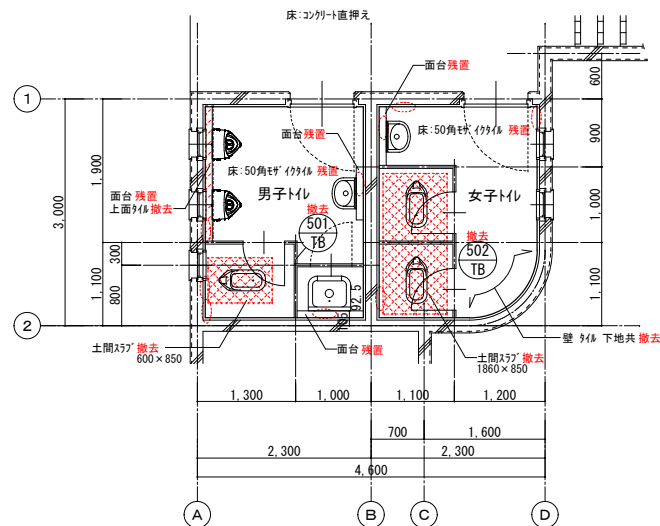
A 体育館 男子トイレ 展開図 1:50



B 体育館 女子トイレ 展開図 1:50



A 体育館 通路 展開図 1:50



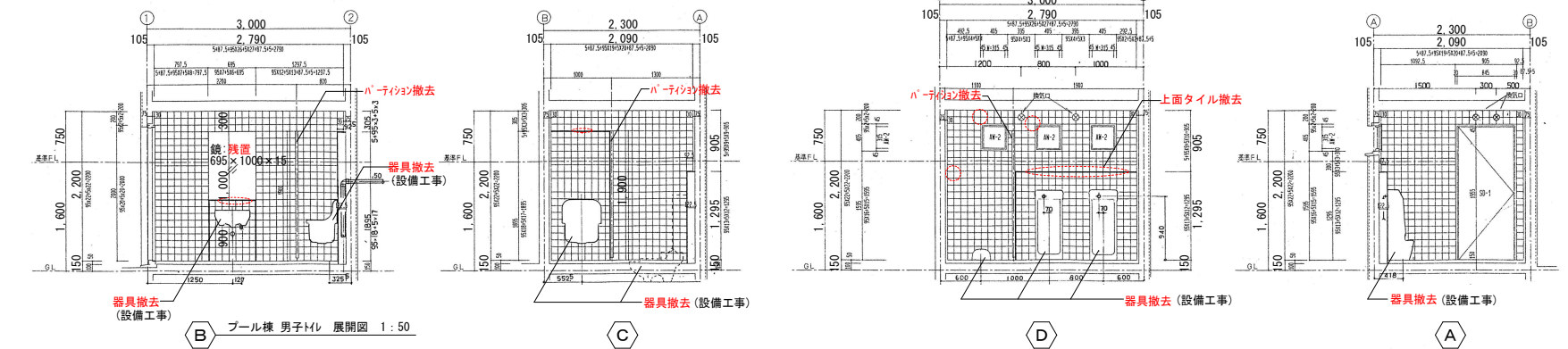
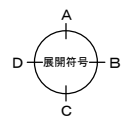
プール棟トイレ

※便器、小便器、手洗い、掃除流しは全て撤去(設備工事)

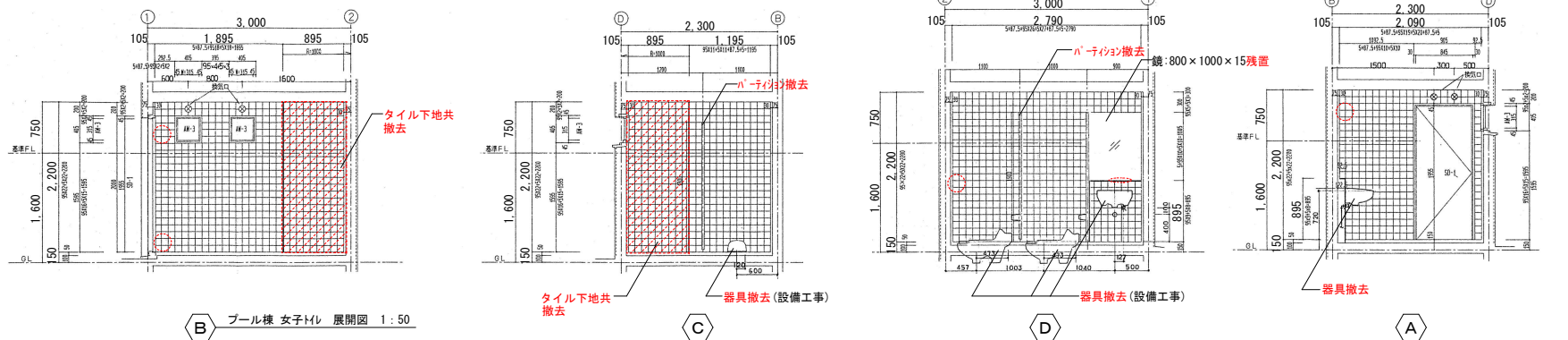
※壁タイルは浮きの程度と範囲について全体を確認すること

タイル厚き 2~3枚 補修

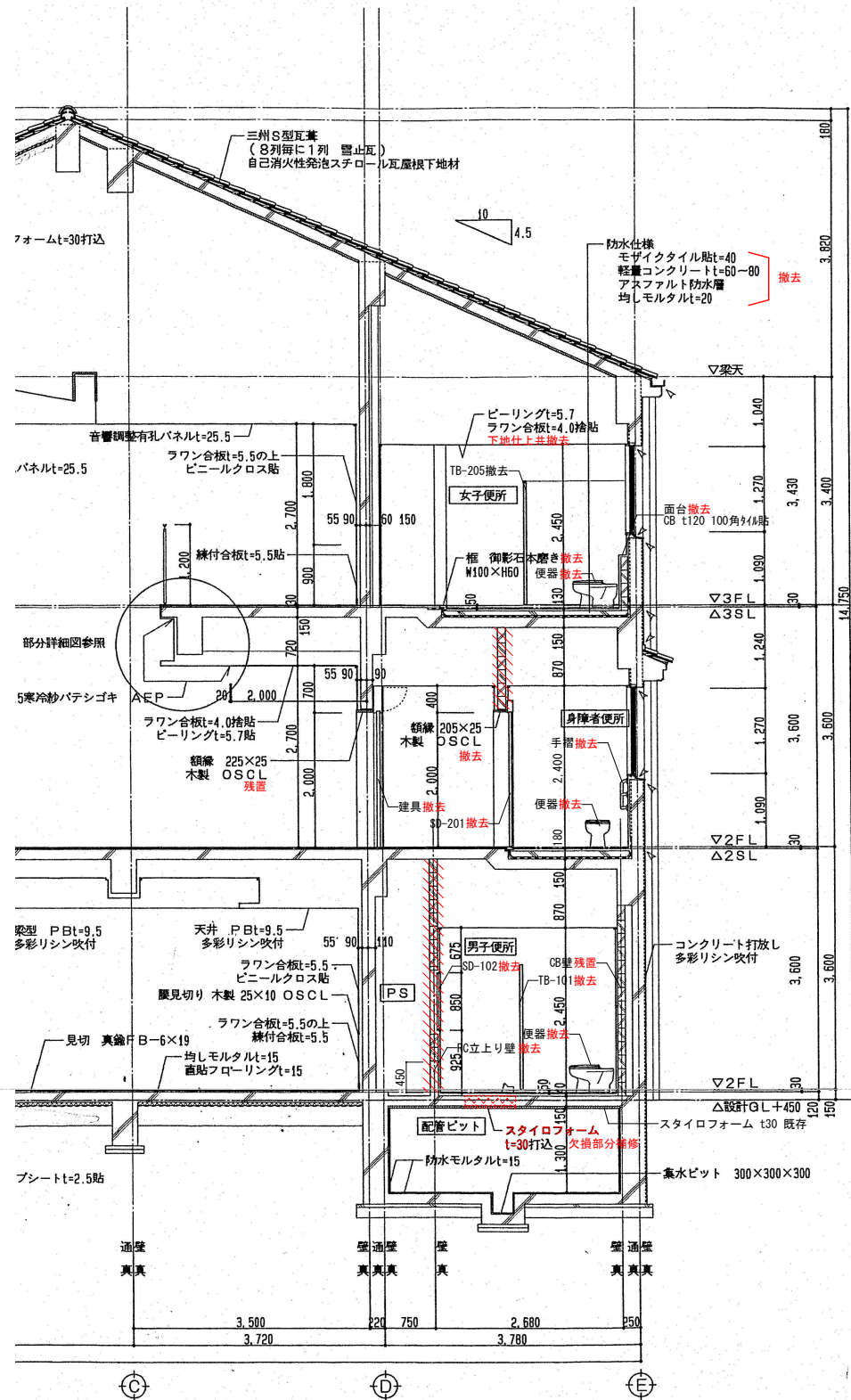
壁: タイル 下地とも 撤去



B プール棟 男子トイレ 展開図 1:50

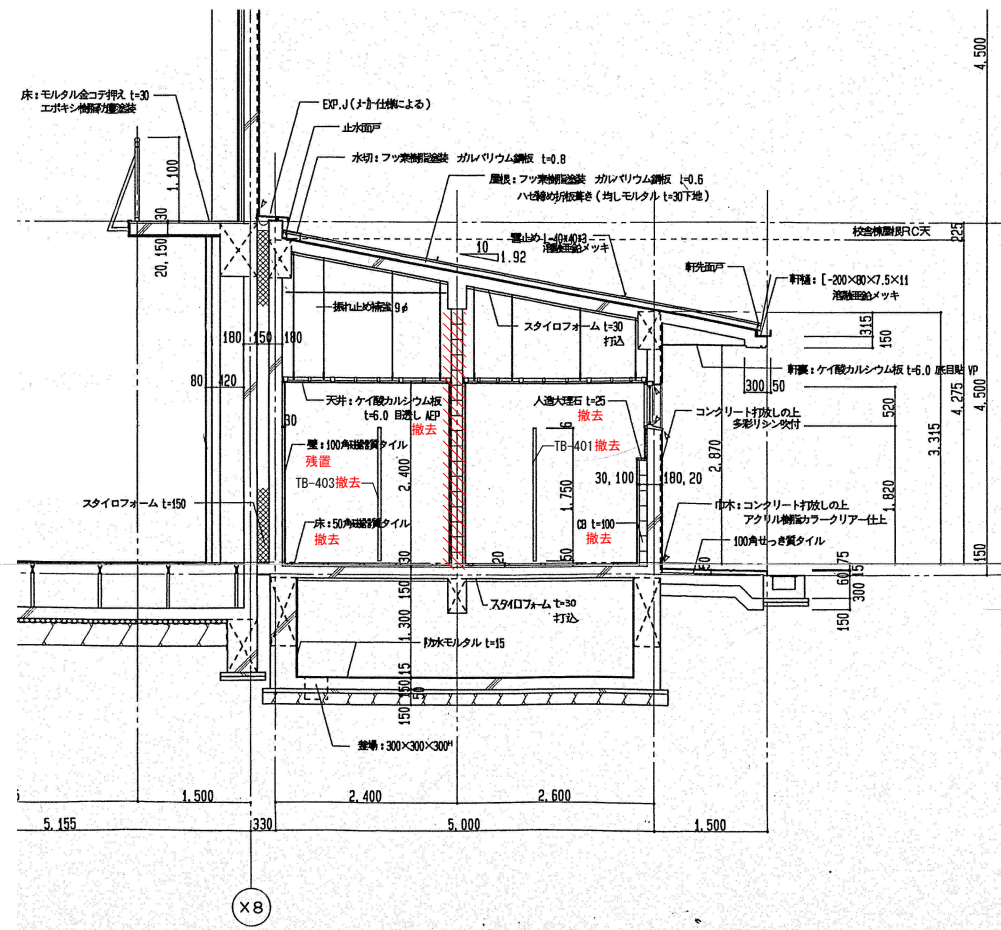


B プール棟 女子トイレ 展開図 1:50



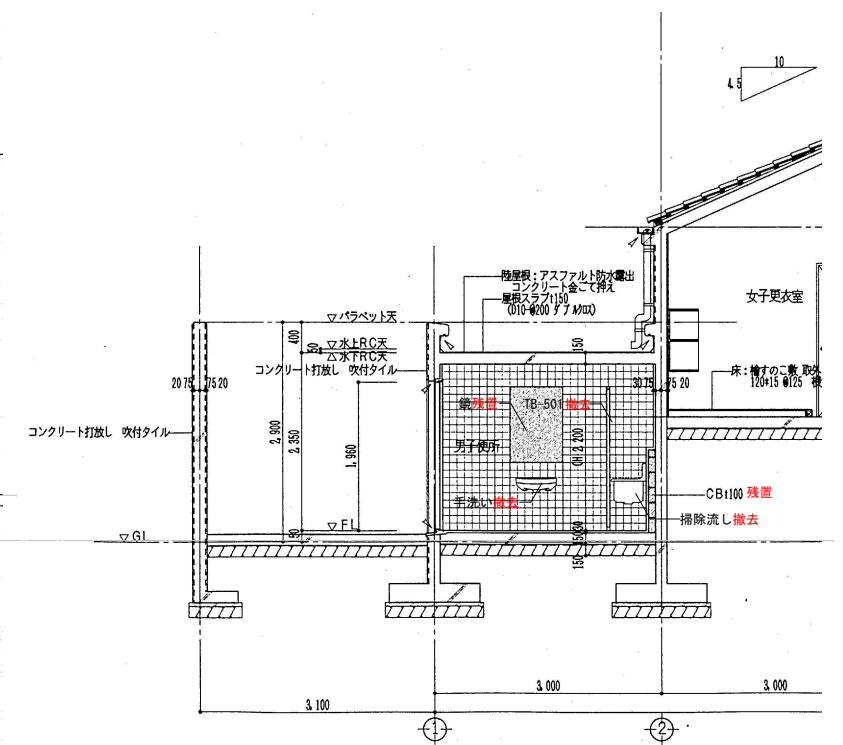
校舎棟 断面詳細図 1:50

※RC立上り壁撤去はSL±0~SL+450まで撤去すること
 壁:CB t120 仕上共撤去

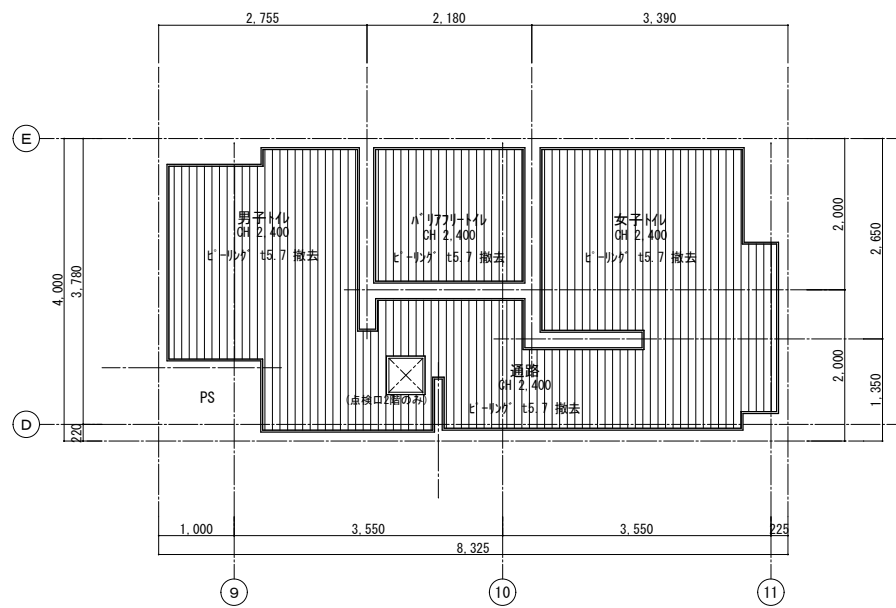


体育館棟 断面詳細図 1:50

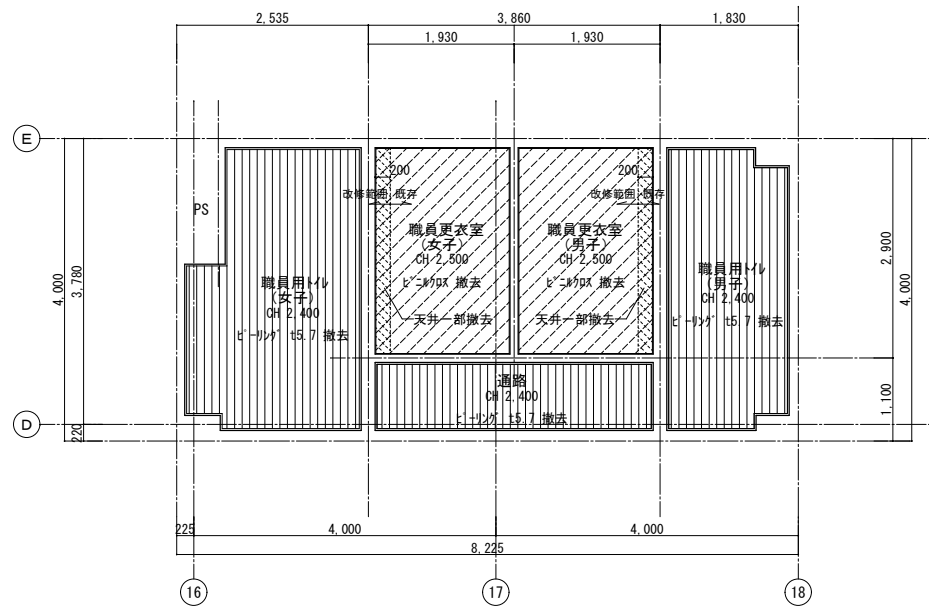
※RC立上り壁撤去はSL±0~SL+450まで撤去すること
 壁:CB t120 仕上共撤去



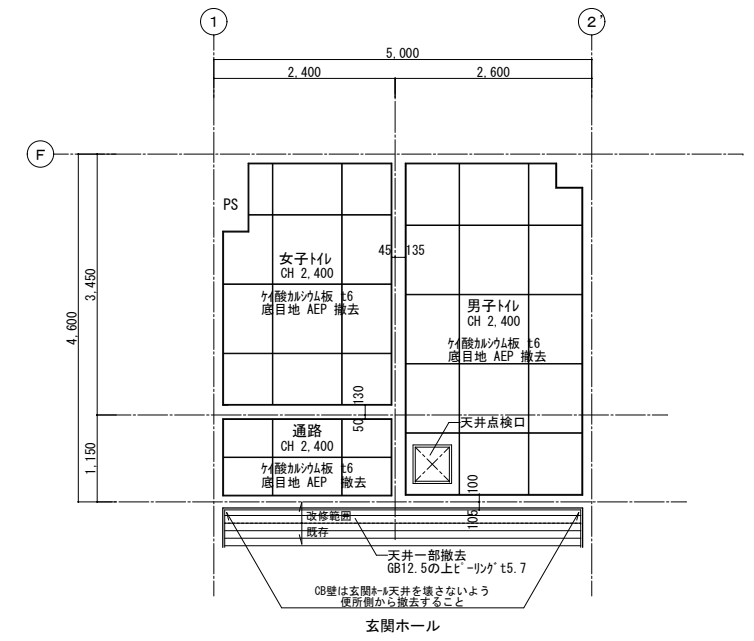
プール棟 断面詳細図 1:50



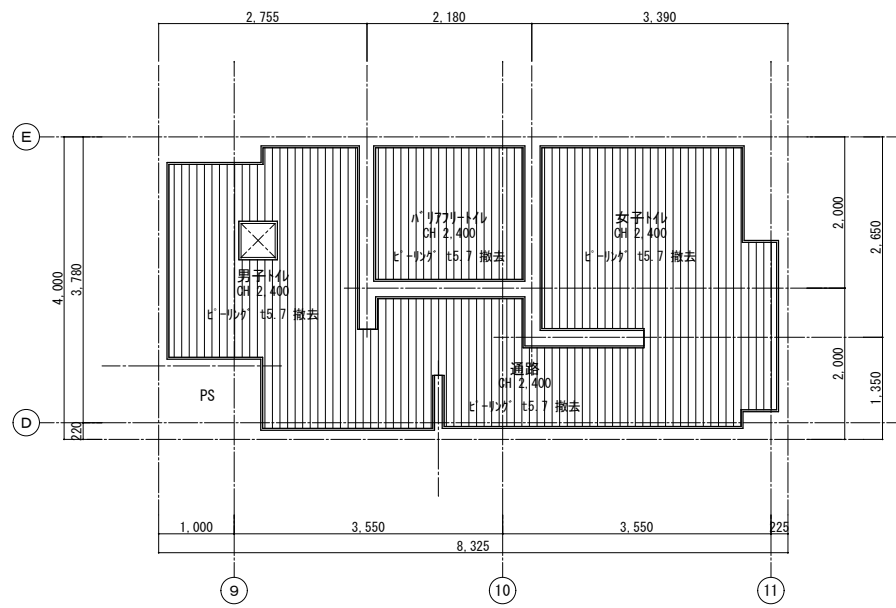
校舎棟 2階・3階児童用トイレ



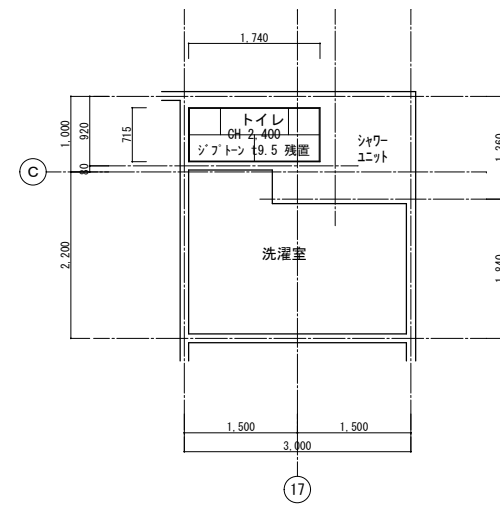
校舎棟 1階職員用トイレ



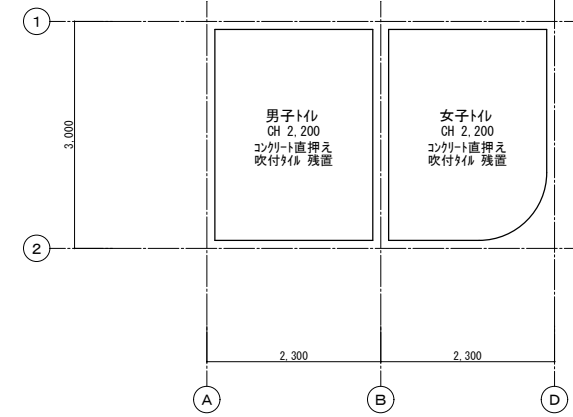
体育館 トイレ



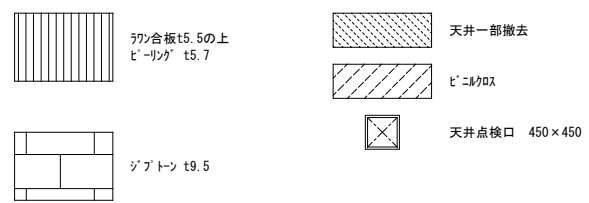
校舎棟 1階児童用トイレ



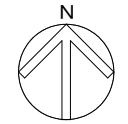
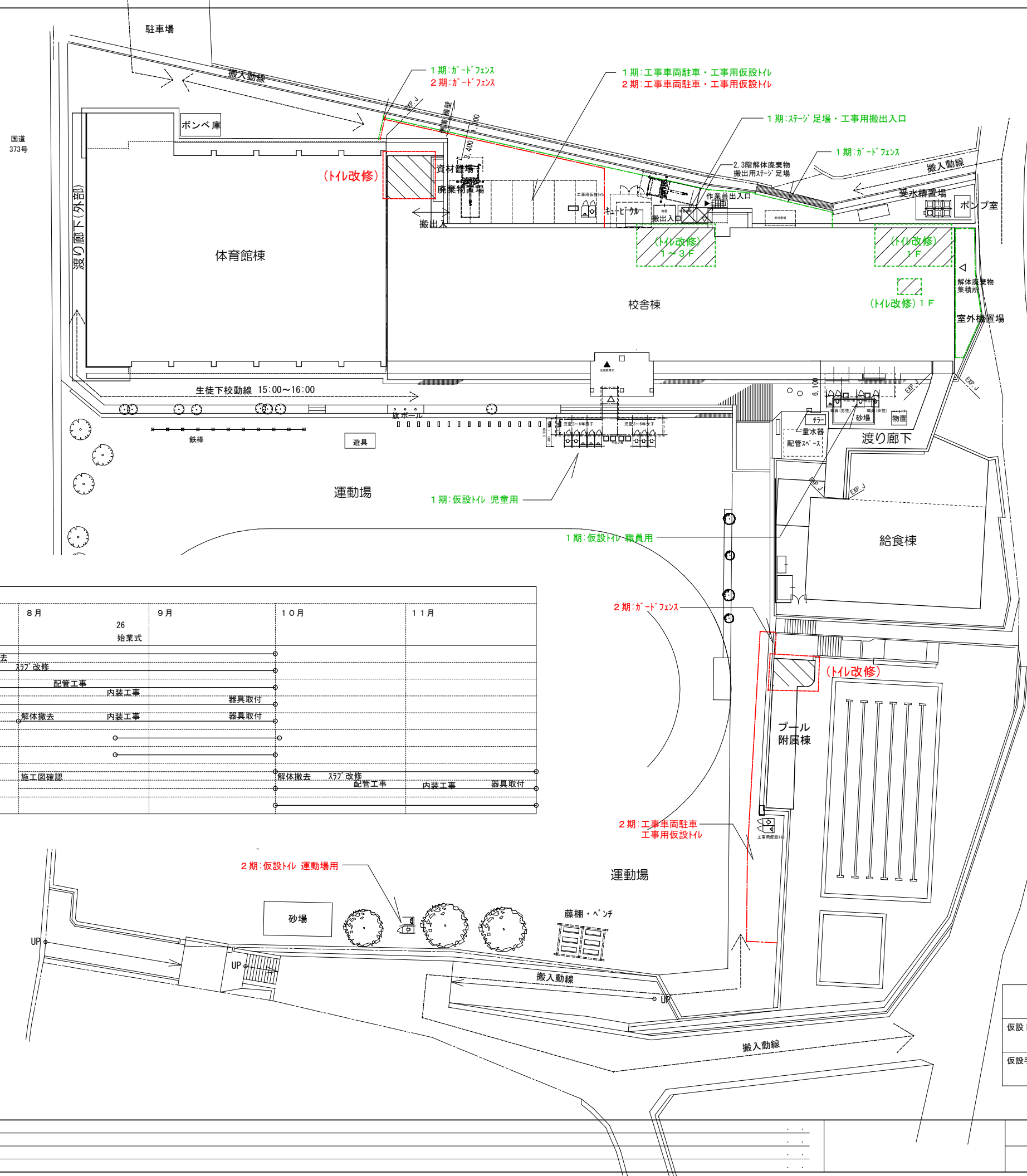
校舎棟 保健室トイレ



プール棟 トイレ



建具表 1		A1 : 1/100 A3 : 1/200		法規制		W H 見込み 形状 材質 仕上げ 番付 金物 取付場所		見込み 材質 仕上げ 水切 種類/厚さ 符号		法規制		W H 見込み 形状 材質 仕上げ 番付 金物 取付場所		見込み 材質 仕上げ 水切 種類/厚さ 符号		法規制		W H 見込み 形状 材質 仕上げ 番付 金物 取付場所		見込み 材質 仕上げ 水切 種類/厚さ 符号				
101 SD	校舎棟 1~3階男トイレ	1050×2000 80見込み 50片引き ステンレス OP ホダ・レール・ホダ・車・ガイドロー ド・ハンドル(木把手)・表示錠 附属金物一式	1900	101 TB	校舎棟 1~3階男子トイレ	2.600 1.180 40 1.380	40	40	402 TB	体育館棟 女子トイレ	1900 1.756 50 100 550 550 600 310 50	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	
102 SD	校舎棟 1~3階男子トイレ	650×850 60見込 30片開き ステンレス SOP 丁番・点検口錠	650	102 TB	校舎棟 1~3階男子トイレ	2.450 600	40	40	501 TB	プール棟 男子トイレ	40675 1.900 150 550 550 500 340 2.090	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	
103 SD	常時開放型片引き甲種防火戸 校舎棟 2・3階トイレ入口	1050×2000 140見込 50片引き ステンレス OP 標準金物一式	2185	103 TB	校舎棟 1~3階男子トイレ	760 40 1.770 125 550 550 550 800 650	40	40	502 TB	プール棟 女子トイレ	975 1.000 40 1.900 100 550 550 350 465 2.015	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	
301 SD	校舎棟 職員用男子トイレ	450×450 60見込 30片開き ステンレス SOP 丁番・点検口錠	450	104 TB	校舎棟 1~3階女子トイレ	2.700 880 860 880 44 44 1.820 250 550 550 550 120 80 350 2.505 810	40	40																
301 WD	校舎棟 職員用男子トイレ 校舎棟 職員用女子トイレ	800×1975 200見込み 40片開き 堅木 OS 丁番・レール・ホダ・ド・ハンドル(木把手) 本錠錠	800	301 TB	校舎棟 職員用男子トイレ	1.870 100 550 970 1.620	40	40																
401 WD	体育館棟 男子トイレ 体育館棟 女子トイレ	820×2040 200見込み 40片開き ステンレス OP 隠し丁番・押板・押棒・ド・ハンドル(木把手)	820	302 TB	校舎棟 職員用男子トイレ	1.870 600	40	40																
				303 TB	校舎棟 職員用女子トイレ	1.800 880 880 40 1.870 2.480 1.490 200 550 550 550 100 200 135 350 650 950 1.685 650 1.685 2.335	40	40																
				401 TB	体育館棟 男子トイレ	40 700 1.200 1.295 40 900 90 600 655 550 550 620 250	40	40																
				402 TB	体育館棟 男子トイレ	1.806 620	40	40																



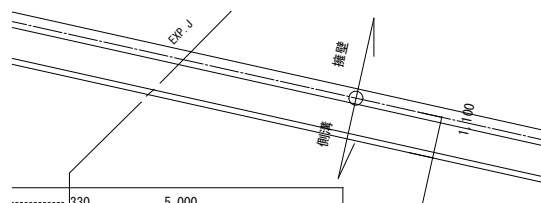
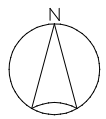
- 1期 改修範囲を示す
- 2期 改修範囲を示す
- 1期 工事関係使用範囲を示す
- 2期 工事関係使用範囲を示す
- 1期:ガードフェンス
- 2期:ガードフェンス

工事工程表

		2026 (令和 8年)						
		7月	17 終業式	8月	26 始業式	9月	10月	11月
1期工事	校舎棟 生徒用1階	発注	施工図確認	仮設・解体撤去				
	校舎棟 生徒用2階			トイレ改修				
	校舎棟 生徒用3階			配管工事	内装工事			
	校舎棟 職員用1階		更衣室引越		内装工事	器具取付		
	校舎棟 保健室			解体撤去	内装工事	器具取付		
2期工事	児童トイレ仮設							
	職員トイレ仮設							
	体育館 トイレ			施工図確認		解体撤去	トイレ改修	
	プール トイレ					配管工事	内装工事	器具取付

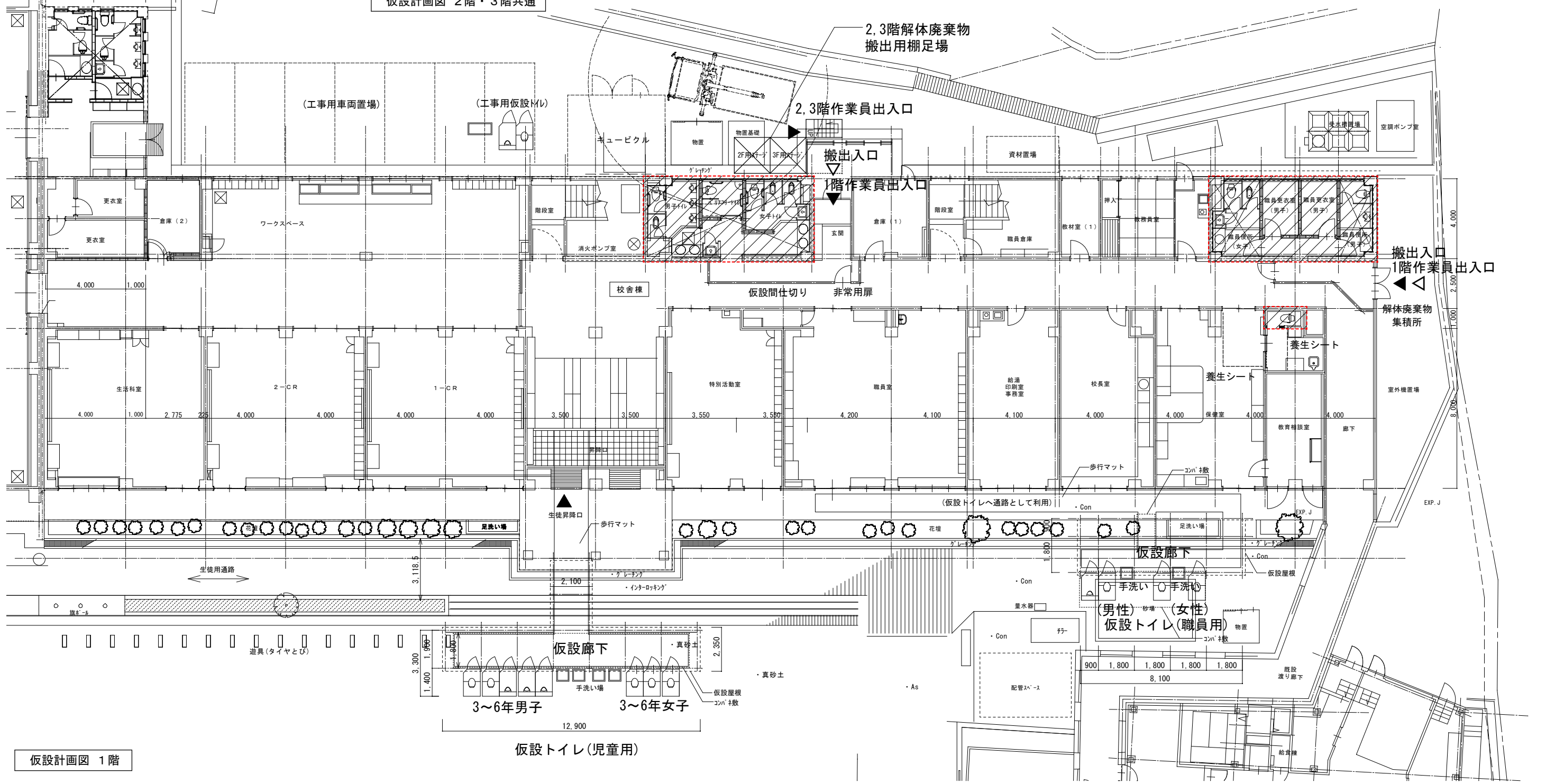
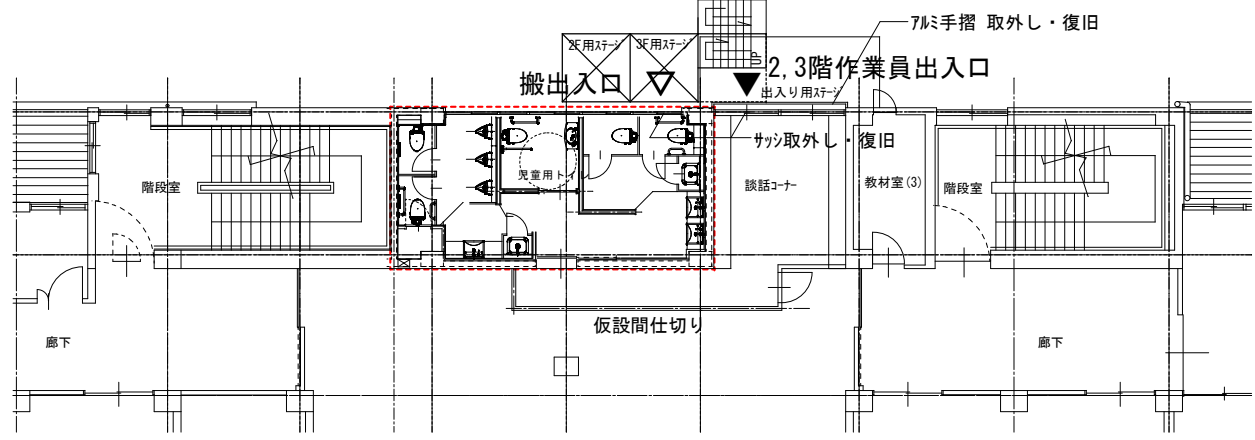
		1期	2期	仕様
		児童用	職員用	
仮設トイレ	小便器ブース	3基	1基	簡易水洗 洋式 LED照明(乾電池式)
	大便器ブース	5基	3基	1基
仮設手洗い	オープンタイプ	3基	2基	手洗いユニット 排水栓付き
	ブースタイプ		1基	手洗いユニット 排水栓付き

小便器ブースは扉付きとする



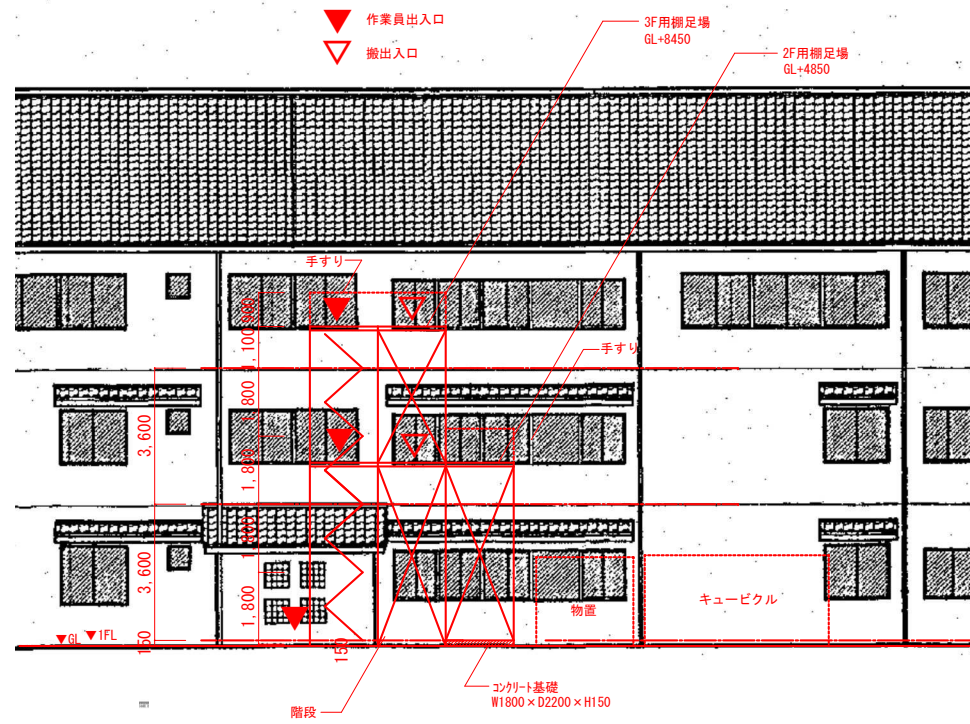
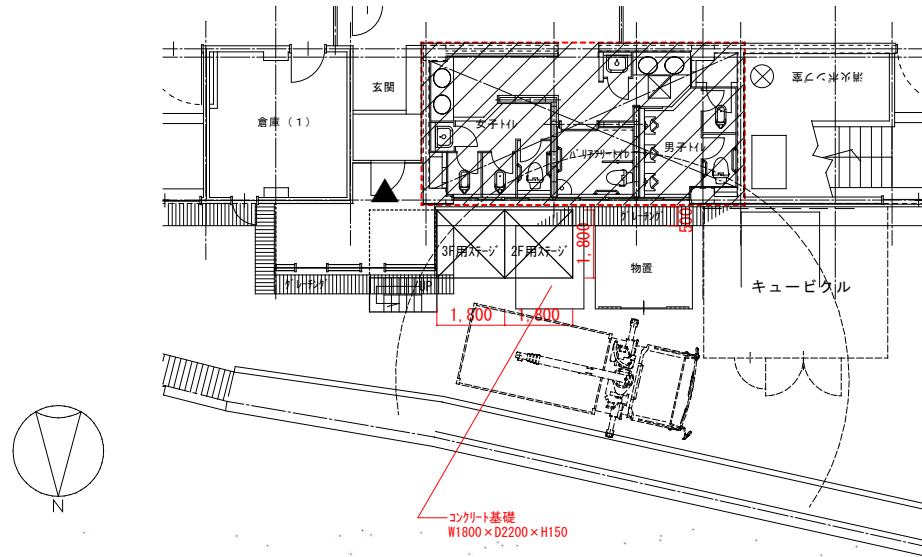
- 仮設間仕切り 片面石膏ボード t9.5 またはスライドボード
- - - 養生シート
- ▼ 作業員出入口
- ▽ 搬出入口

仮設計画図 2階・3階共通



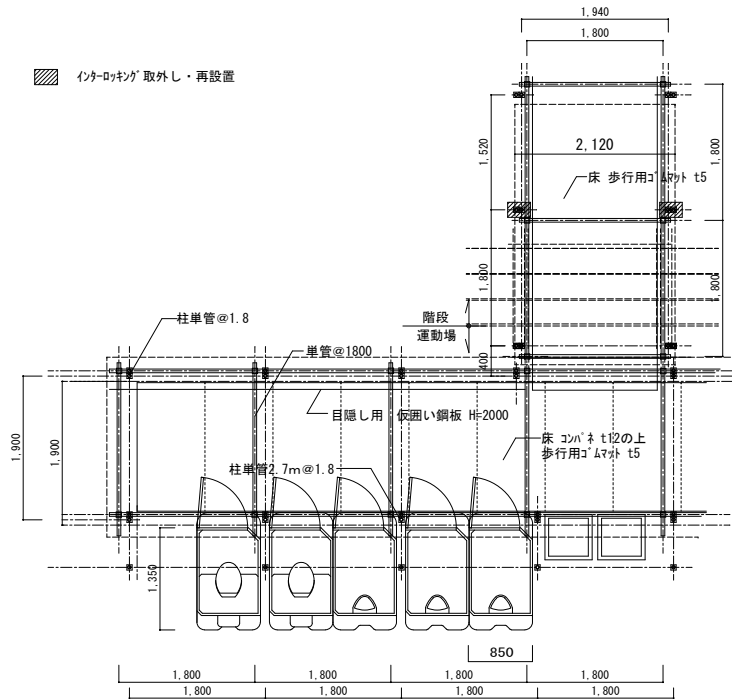
仮設計画図 1階

運動場

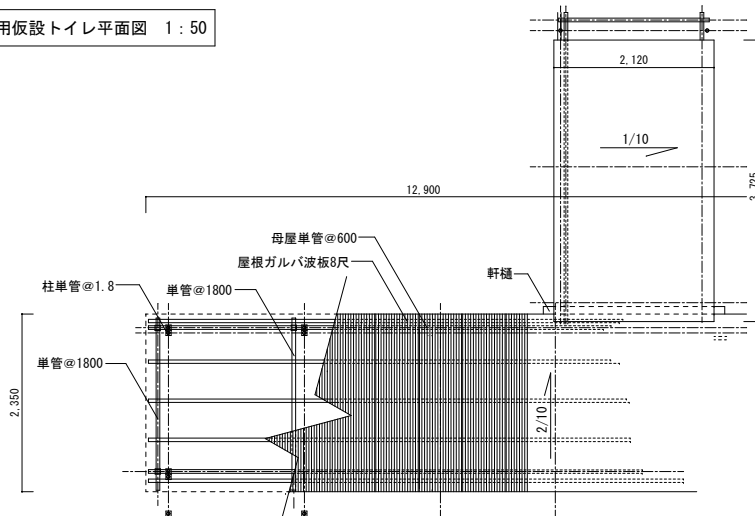


児童用トイレ搬出入用棚足場

インナーロッキング 取外し・再設置

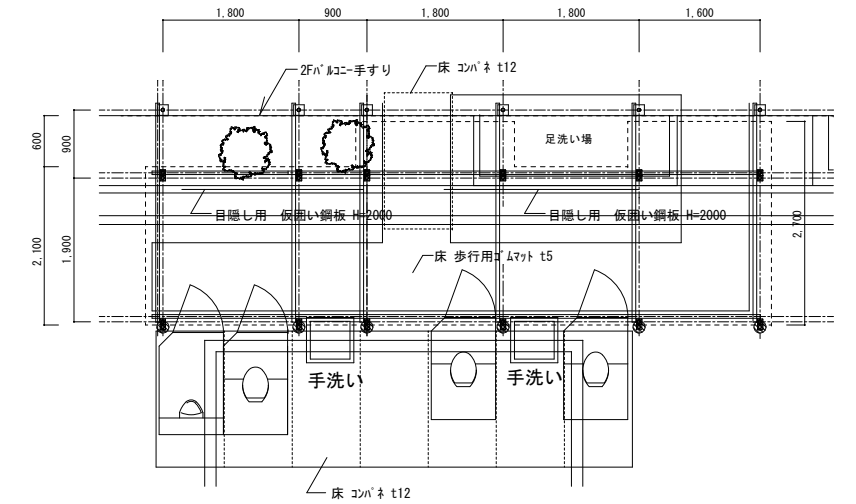


児童用仮設トイレ平面図 1:50

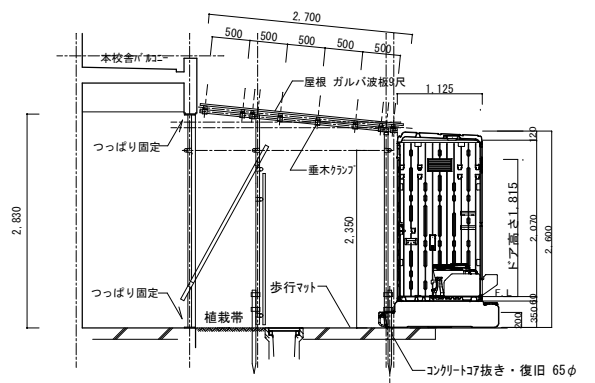


児童用仮設トイレ屋根伏図 1:50

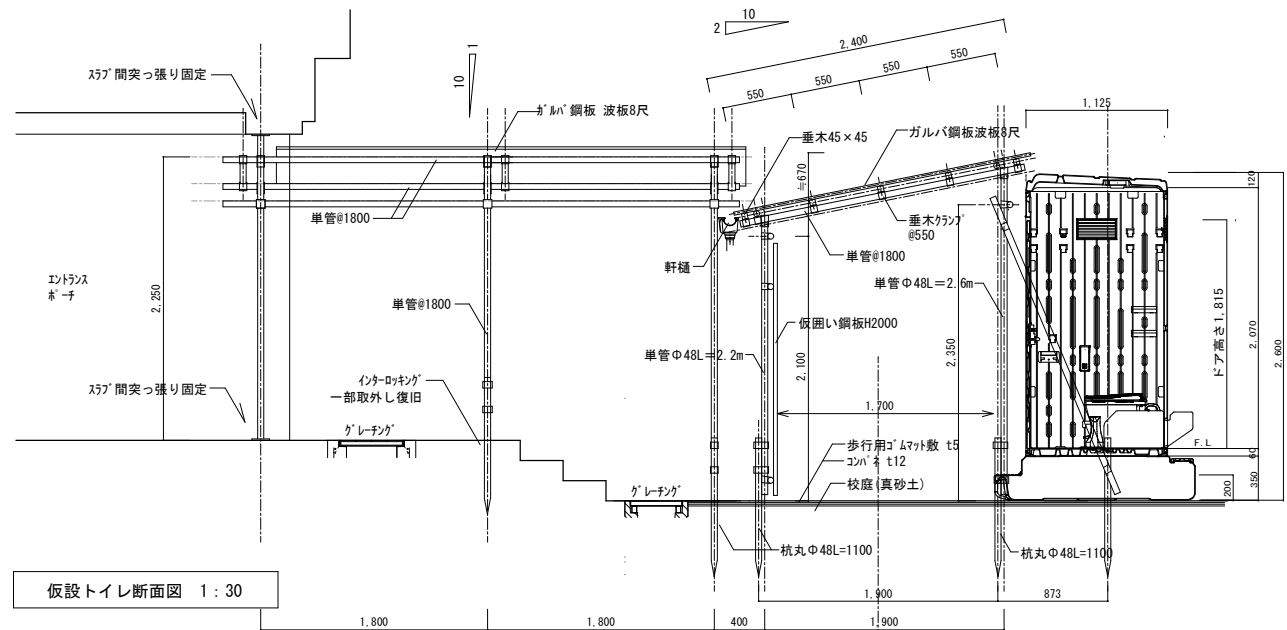
コンクリート土間コア抜き及び復旧 65φ



職員用仮設トイレ平面図 1:50



職員用仮設トイレ断面図 1:50



仮設トイレ断面図 1:30

電気設備工事特記仕様書

I. 工事概要

Table with columns for project name (西栗倉小学校トイレ改修工事), location (英田郡西栗倉村長尾1555), area (m2), and construction details.

Table with columns for fire safety classification (特定・一般), fire area (防火地域), and other safety-related information.

Table listing construction items (工事種目) such as lighting, power, and communication equipment, categorized by building type (校舎棟, 体育館棟, etc.).

II. 工事仕様

- 1. 共通仕様
1) 特記仕様及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房庁営繕部の標準仕様書のうち、印の付いたものによる。
2) 特記事項のうち選択する事項は印の付いたものを適用する。

Table with columns for item (区分), item name (項目), and special notes (特記事項). Includes sections for construction conditions, safety plans, and material analysis.

6. 石綿含有建材の事前調査

7. 環境への配慮

8. 建材の品質等

9. 完成時の提出図書

10. 完成写真

11. 足場

12. 工用電力、水、その他

13. 監督職員事務所

14. 受注者事務所その他

15. 土工事

16. 非破壊検査

17. あと施工アンカー

18. 電気工事士の適用

19. 耐震施工

- 2) アスベスト含有設備資機材 ※無・有・未調査
3) 放射性物質を含むイオン化式感知器 ※無・有
4) 六フッ化硫黄 (SF6) ガス ※無・有

※石綿含有建材の事前調査
工事着手に先立ち、目視及び貫与する設計図書等により石綿を含有している吹付材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査し、調査結果を監督職員に提出する。

- 1) 本工事において、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(平成12年法律第100号)」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針(令和7年1月28日閣議決定)」に定める特定調達品目「公共工事」の品目を調達する場合は、判断の基準を満たすものとする。
2) 建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から⑥を満たすものとする。

- 1) 本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。
2) 別表-1に示す機材等を使用する場合は、次の①から⑥すべての事項を満たす証明となる資料を提出して監督職員の承諾を受ける。

- 1) 完成図(図面の種類は監督職員の指示による。)
2) 施工図 施工図等の著作権に係る当該建築物に使用権は、発注者に移譲するものとする。

撮影場所は監督職員との協議による。
※提出書 3部
「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据え置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。

本工事に必要な工用電力、水及び諸手続きなどの費用は、すべて受注者の負担とする。
※本工事で設置する。
※構内につくることができる。ただし、受注者負担とする。・構内につくることができない

- 1) 埋戻し工は ※根切り土の中の良質土・山砂の類
2) 配管周囲の保護砂は ※山砂の類
3) 建設発生土の処理は ※構外指示の場所に処分 ※構内敷ならし ※構内指示の場所に埋積

はつり工事及び穿孔作業を行う場合は、事前に非破壊検査を行い監督職員に報告する。原則として探査方法は走査式埋設物調査(電磁誘導法又は電磁レーダ法)とする。放射線透過検査等による埋設物の調査を実施する場合、範囲は監督職員の指示による。放射線透過検査の検査費は別途とする。

施工後確認試験 ※行う・行わない
試験方法 引張試験機による引張試験
確認強度 対象機器ごとのアンカーボルト1本当たりの短期引張強度の2/3以上
試験箇所数 1施工単位に対し1本以上
対象機器 (・配電盤 ・非常用発電機 ・直流電源装置)

電気工事は、電気工作物の種別に応じ、電気工事士法第3条で規定する電気工事士の資格を有する者により行うこと。ただし、最大電力500kW以上の自家用電気工作物については、第一種電気工事士の資格を有する者により行うこと。

設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。ただし、重量1kN以下の一般機器について、製造者の指定する固定方法を採用する場合は、この限りではない。

Table showing seismic design standards with columns for location (設置場所), equipment type (機器種別), and seismic force (特定の施設, 一般の施設).

20. 盤内配線

21. 電線本数・管路等

22. 屋外露出配管の仕上げ

23. フラッシュプレートの材質

24. カーパルプレートの表示

25. 高圧ケーブル

26. 7. ボックスの塗装

27. 屋外及び多湿箇所の支持金物等

28. 接地極

Table for grounding electrodes with columns for connection type (接地の種類), code (記号), and electrode type (接地極).

29. 配線記号その他

30. 他工事との取合い

31. 3. 適用区分

32. 工事区分

33. 4. 地質変位等への対応

34. 5. 中配管の埋設深さ

35. 1. 照明的照度測定

36. 2. 非常用照明的照度測定

37. 3. 照明制御の照度測定

38. 4. 照度センサー設定器

39. 5. アドレス設定器(多重伝送式)

40. 6. 点検用リモコン(非常用照明・誘導灯用)

41. 1. インバータ装置の規約効率

42. 1. 型式

43. 2. 保安器用接地

Table showing specific installation locations (設置場所) and equipment types (機器種別) with their respective seismic force ratings.

上層階とは2~6階建の場合は最上層、7~9階建の場合は上層2階、10~12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。
中層階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの。
水槽類には燃料小出槽を含む。
重要機器は次のものを示す。
・配電盤 ・非常用発電装置 ・直流電源装置 ・交流無停電電源装置 ・交換機 ・火災報知受信機 ・中央監視装置 ・通信総合装置
2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

図面に特記なき場合は、盤内配線にEM電線類を使用する。

分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは監督職員の承諾を受けて変更してもさしつかえない。

塗装する部分 ・屋上 ・屋側 ・屋外 ・廊下 ・機械室 (アリーナ)

屋外露出配管(厚膜電線管)で塗装を行わない場合は、溶融垂れ止め仕上げ【めつき付着量300g/m²以上】とする。

図面に特記なき場合は、金属製(ステンレス、新金属を含む)とする。

シール等を貼付し、用途を表示する。

EM-高圧架橋ポリエチレンケーブルは、JCS 4395「6600V 架橋ポリエチレンケーブル(3層押出型)」によるものとする。

ステンレス製ボックスの塗装 ※有(指定色仕上) ・無(素地仕上)

ステンレス製または鋼材に溶融垂れ止めを施したのとする。

接地極の材料は次による。

Table for EM cable marking with columns for marking type (接地の種類), code (記号), and electrode type (接地極).

(連結の場合、EBI=D=14 L=1500 又は W=40 L=1200とする)
(単独の場合、EBI=D=14 L=1500 又は W=40 L=1200とする)
(E_D, E_{HT}, E_{HA}, E_{LH}, E₀, の場合、EBI=D=10 L=1000 又は W=30 L=900とする)

EM電線類の表記は「EM-」を省略する。ただし、警報用及び同軸ケーブルは除く。

他工事で設置する機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。

- 1) 風圧力
基準風速(V₀= 3.0・3.2・3.4 m/s)
地表粗度区分(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ)
2) 積雪荷重
平成12年建設省告示第1455号における区域 別表()

図面に記載のない場合は別紙「工事区分表」による。

建物引込み部の地盤変位等への対応
想定沈下量(・200mm以下 ・600mm以下 ・1,000mm以下)

特記なき場合は地表面(舗装がある場合は舗装下面)から300mm以上とする。コンクリート製埋設管は形込み表示のものを用いる。

照度測定方法は、次による。
・「学校環境衛生基準」(平成21年3月31日付文化庁科学省告示第60号)第1の2の(10)による。
※JIS Z 9110:2024 照度基準総則による。

設置した各部屋2箇所以上とし、測定箇所は監督職員の指示による。

明るさセンサーによる照度制御を行う部屋は照度測定を行い、測定表を監督職員に提出する。なお、測定箇所は監督職員の指示による。

照度測定時期 100%点灯時(※夜間(※改修前後・新設後))
照度測定時期 調光制御点灯時(※夜間(※改修前後・新設後))

回路電流値測定時期 ・改修前後
納入数 ※1個 ・個

設定機能 ・アドレス設定 ・グループ設定 ・パターン設定
納入数 ※1個 ・個

納入数 ※1個 ・個

三相可変速運転用インバータ装置の規約効率は次の数値以上とする。

Table showing efficiency ratings for motor types with columns for motor type (電動機出力) and efficiency (規約効率%).

備考(1) 規約効率はJEM-TR245「汎用インバータの規約効率」により算出した値とする。

(2) 0.4kWの効率はJIS C 4212「高効率低圧三相かご形誘導電動機」の定格電圧200V、IP4×、6極、50Hzの電動機を駆動したときの値とする。

(3) 0.75kW以上の効率はJIS C 4213「低圧三相かご形誘導電動機トランプランナーモーター」の定格電圧200V、IP4×、6極、50Hzの電動機を駆動したときの値とする。

※ボタン電話装置 ・交換装置
※本工事 ・別途工事

1. 地中箱
ハンドホール内のケーブル支持等は、マンホールに準じて行う。アスファルト舗装面に使用するハンドホール及び鉄蓋は、アスファルト舗装用とする。蓋の記号表示 錐型流込み(・電力・電気・)
・閉鎖形(重鎖形) ・閉鎖形
・遊器内蔵 ・地絡継電器付(※方向性・無方向性)
・別置制御装置までの制御ケーブルを付属すること。
高圧電力ケーブルの端末部
高圧電力ケーブルの端末部両端にシースの取組対策(熱収縮テープによるシースずれ止め対策等)を行う。
高圧電力ケーブルの屋外端末処理
・一般形 ・耐塩形

1. 地中箱
蓋の記号表示 錐型流込み(・通信・)
ハンドホール内のケーブル支持等は、マンホールに準じて行う。アスファルト舗装面に使用するハンドホール及び鉄蓋は、アスファルト舗装用とする。

1. 調査仕様
図面に記載されていない事項は、すべて(社)日本CATV技術協会の「建造物によるテレビ受信障害調査要領」及び「建造物によるテレビ受信障害調査要領(地上デジタル放送)」の最新版により調査を行い、(社)日本CATV技術協会の技術審査を受けること。

2. テレビ電波受信障害調査時期
・事前 ・中間 ・事後

3. 受電する受信波及び地点数
中継局: 波: 地点
中継局: 波: 地点

4. 報告書
提出部数 ・事前 3部 ・中間部 ・事後 3部

1. 機器取付高
機器取付高は次の数値を標準とする。ただし、天井高3,000mm以上の場合及び機器の使用に支障がある場合は監督職員と協議する。

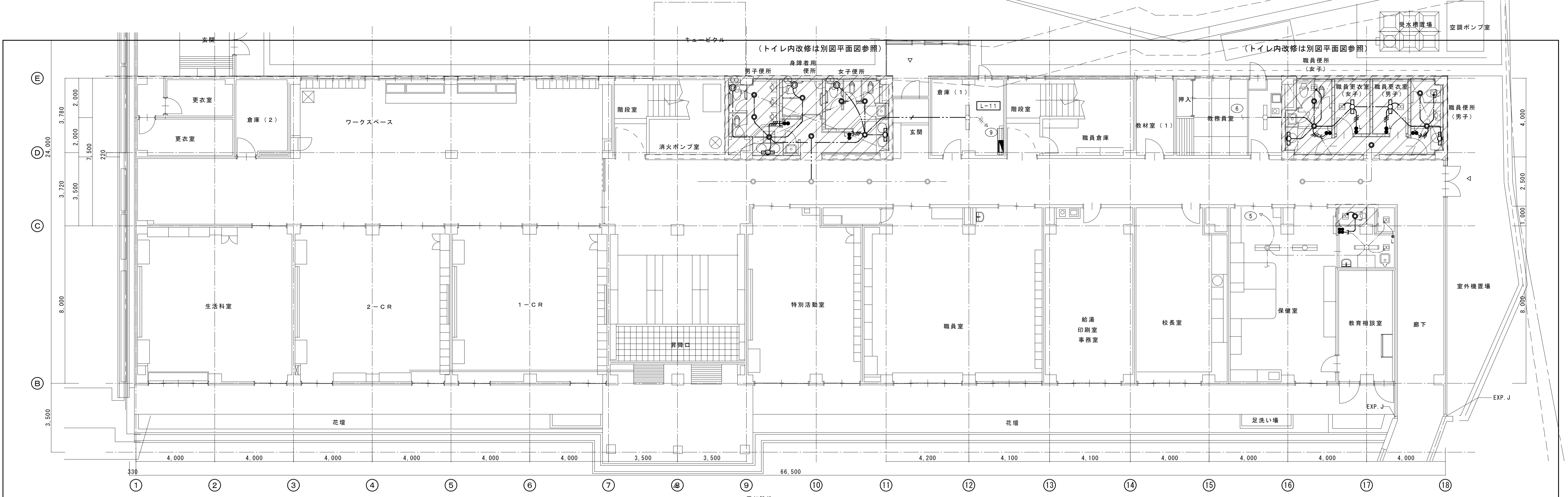
Table for equipment installation height with columns for name (名称), measurement point (測点), and height (取付高). Includes various electrical and communication equipment.

2. スイッチ
1) 照明スイッチは、位置表示灯付き(異時点滅)とする。
2) 換気扇スイッチは、確認表示灯付き(同時点滅)とする。

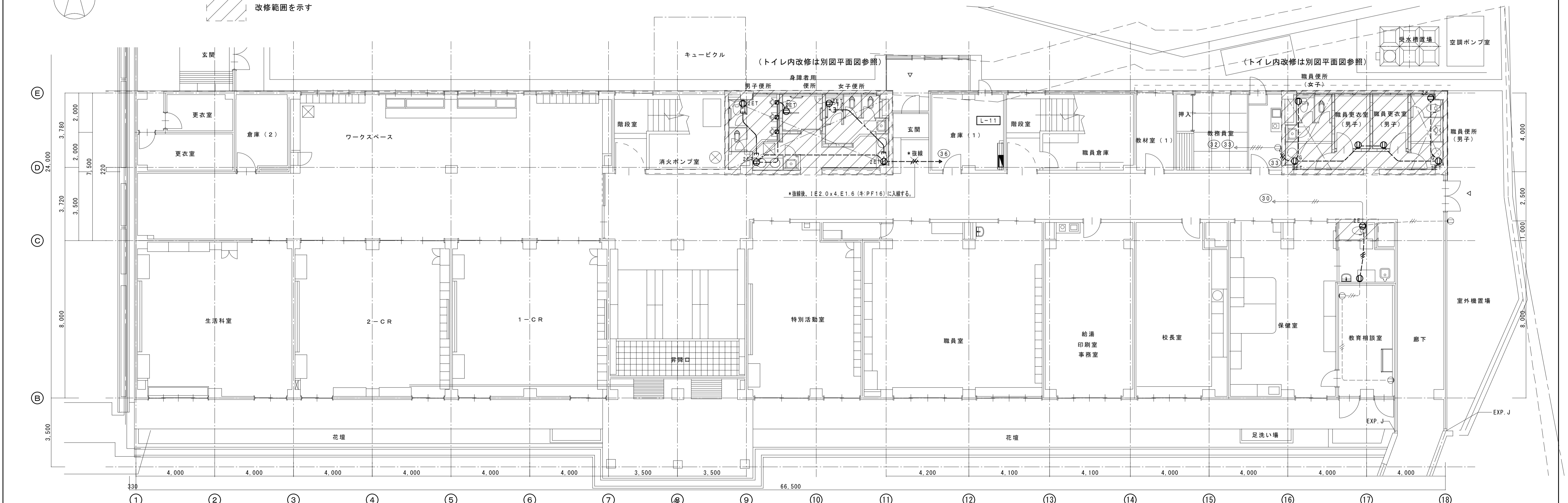
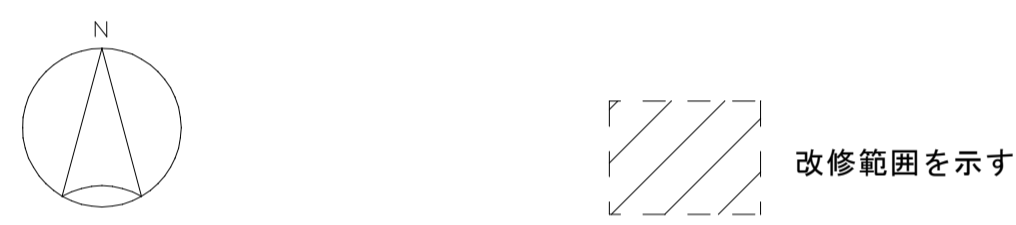
3. 負担金等(消費税抜き)
(・本工事・別途) 円
(・本工事・別途) 円

別表-1「外部機関等による評価済み機材表」

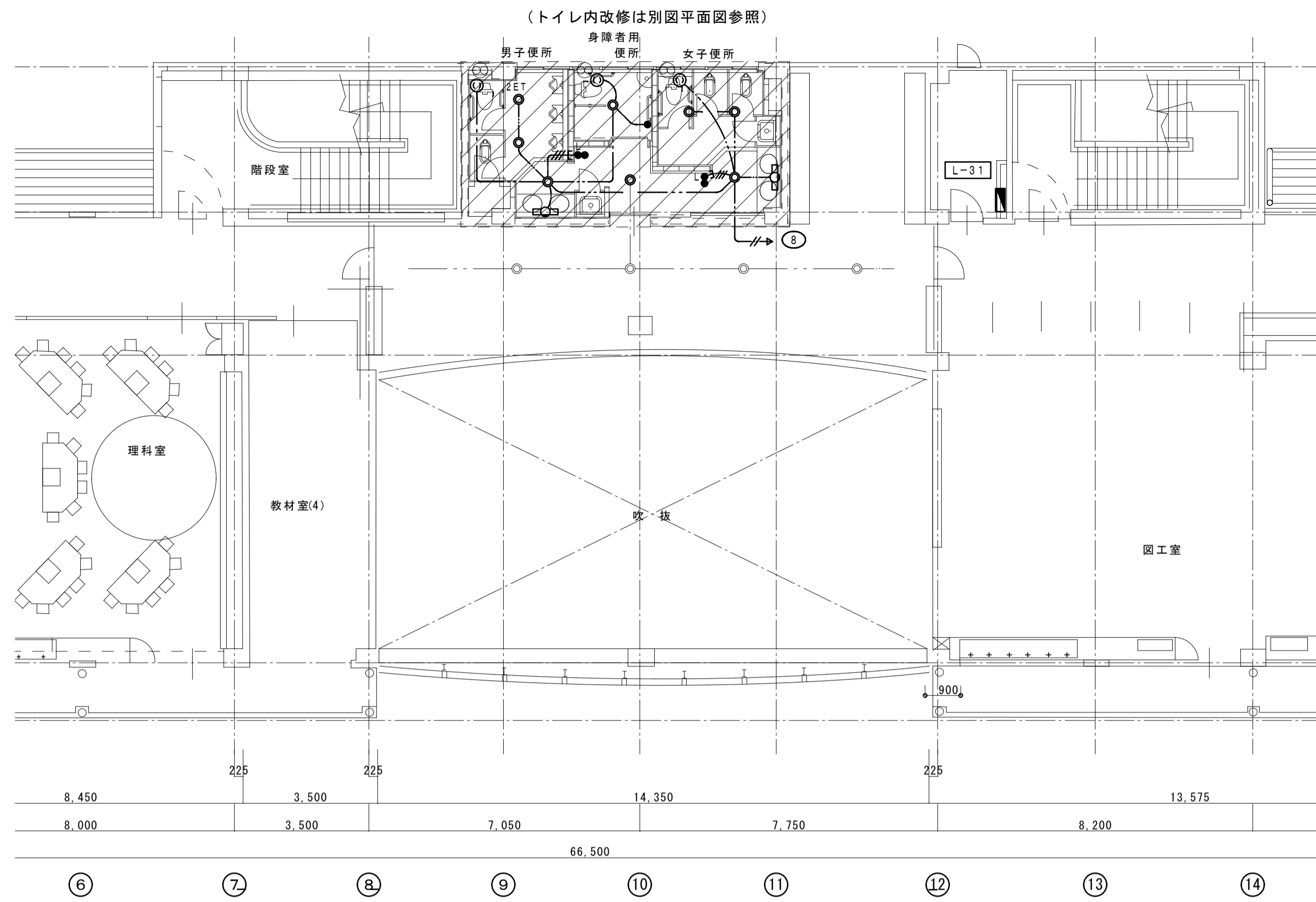
Table listing approved equipment (機材名) and their specifications, including LED lighting, control panels, and power supplies.



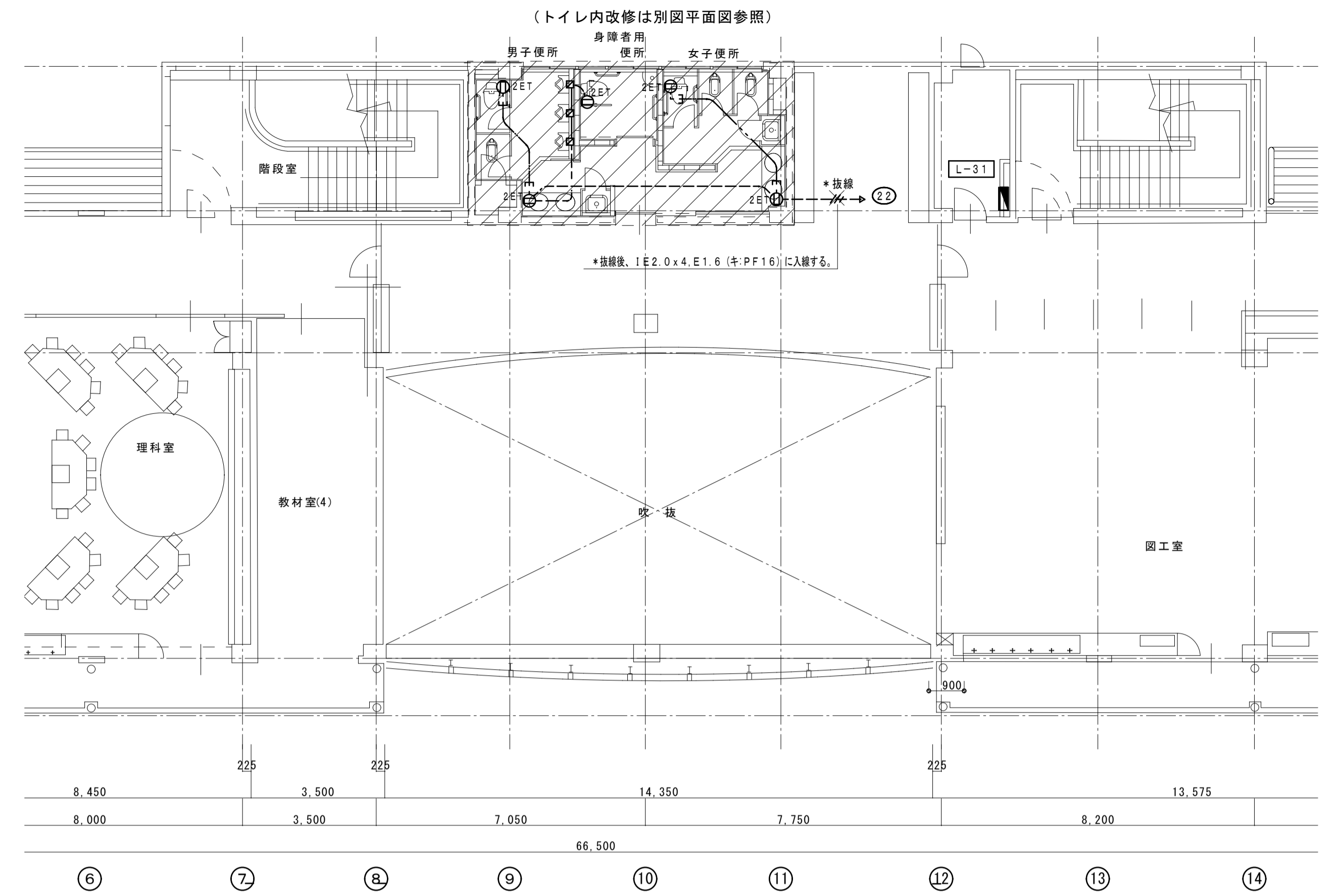
・電灯設備
1階平面図



・コンセント設備
1階平面図

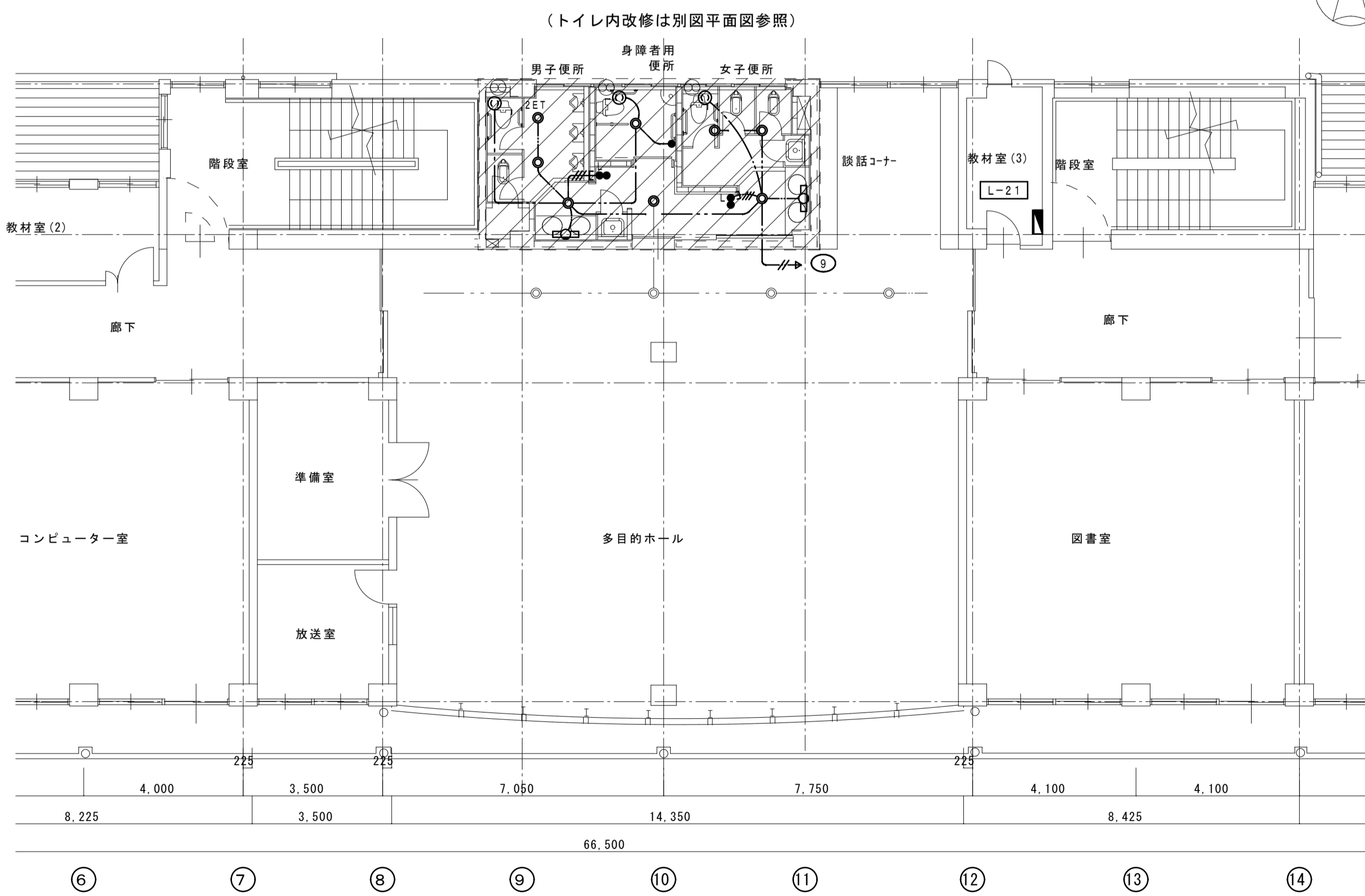


電灯設備 3階平面図

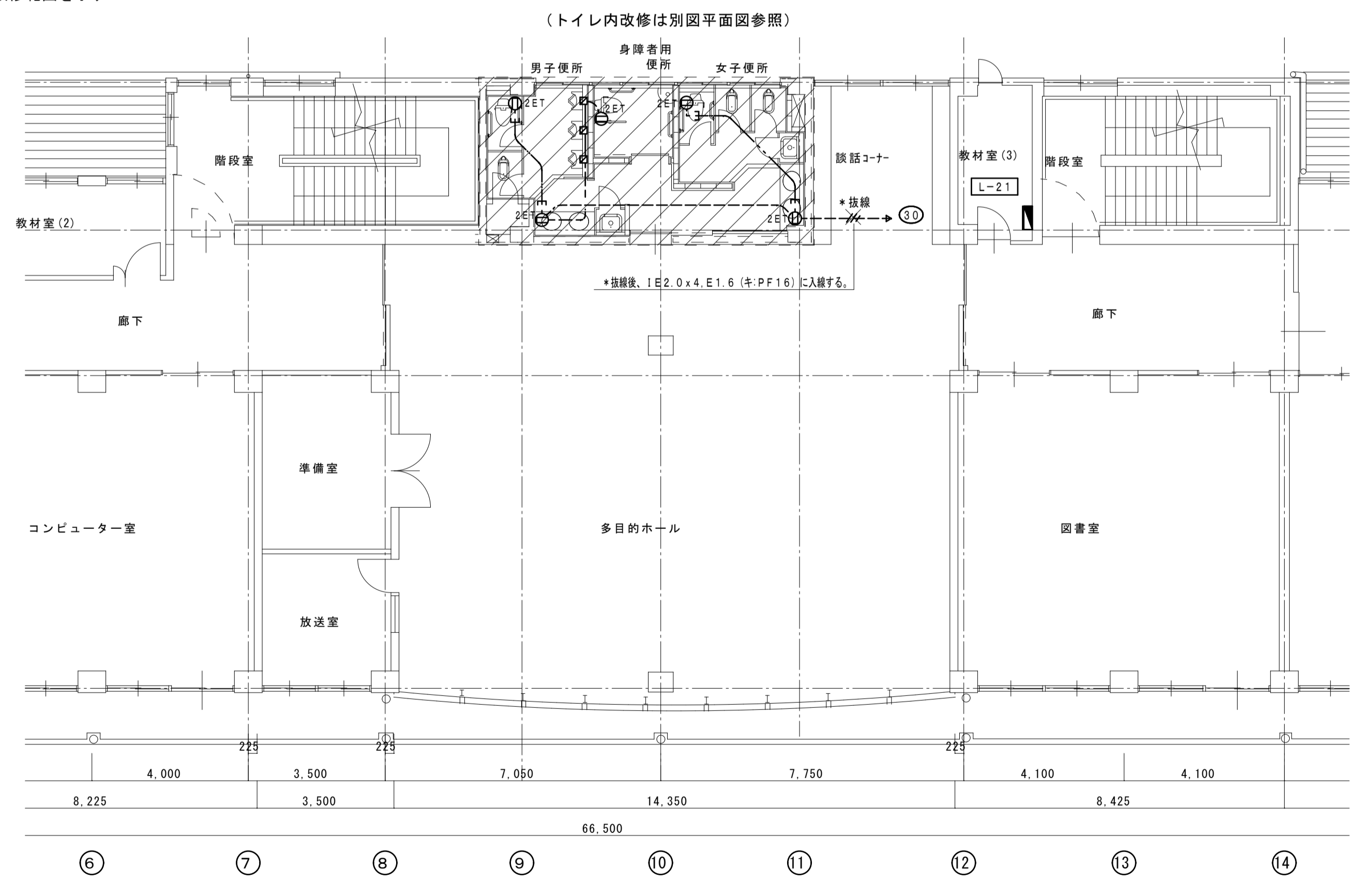


コンセント設備 3階平面図

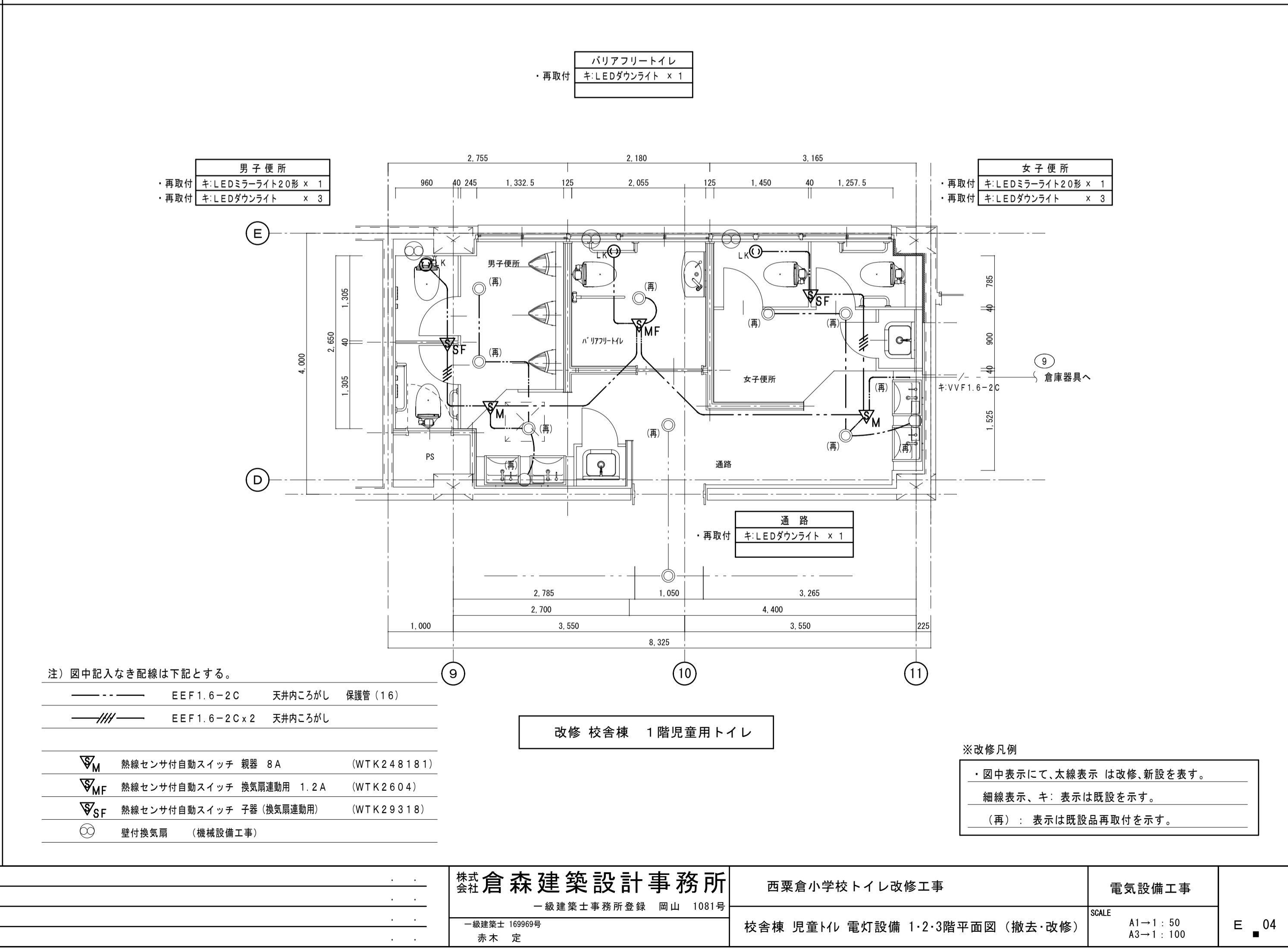
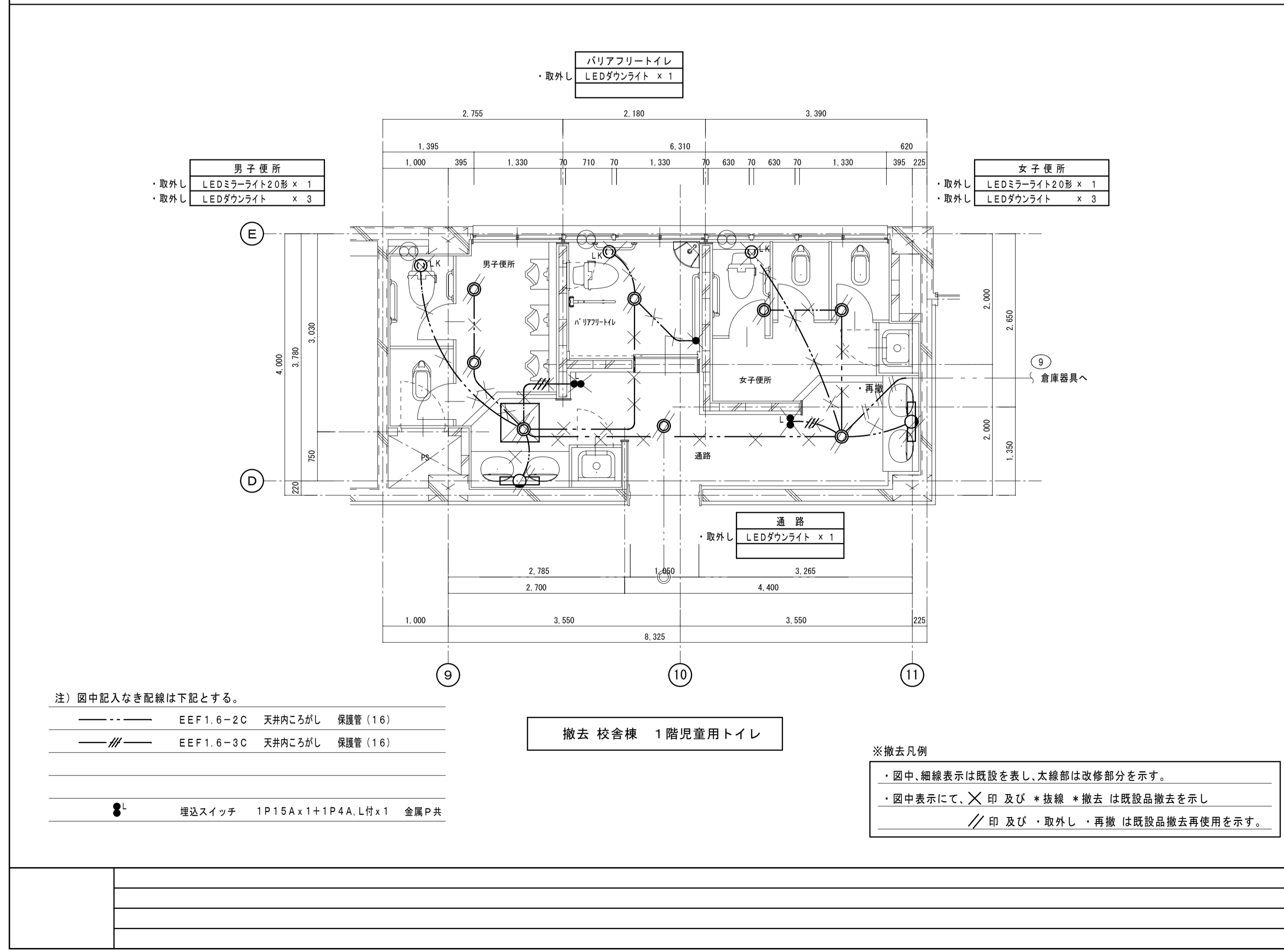
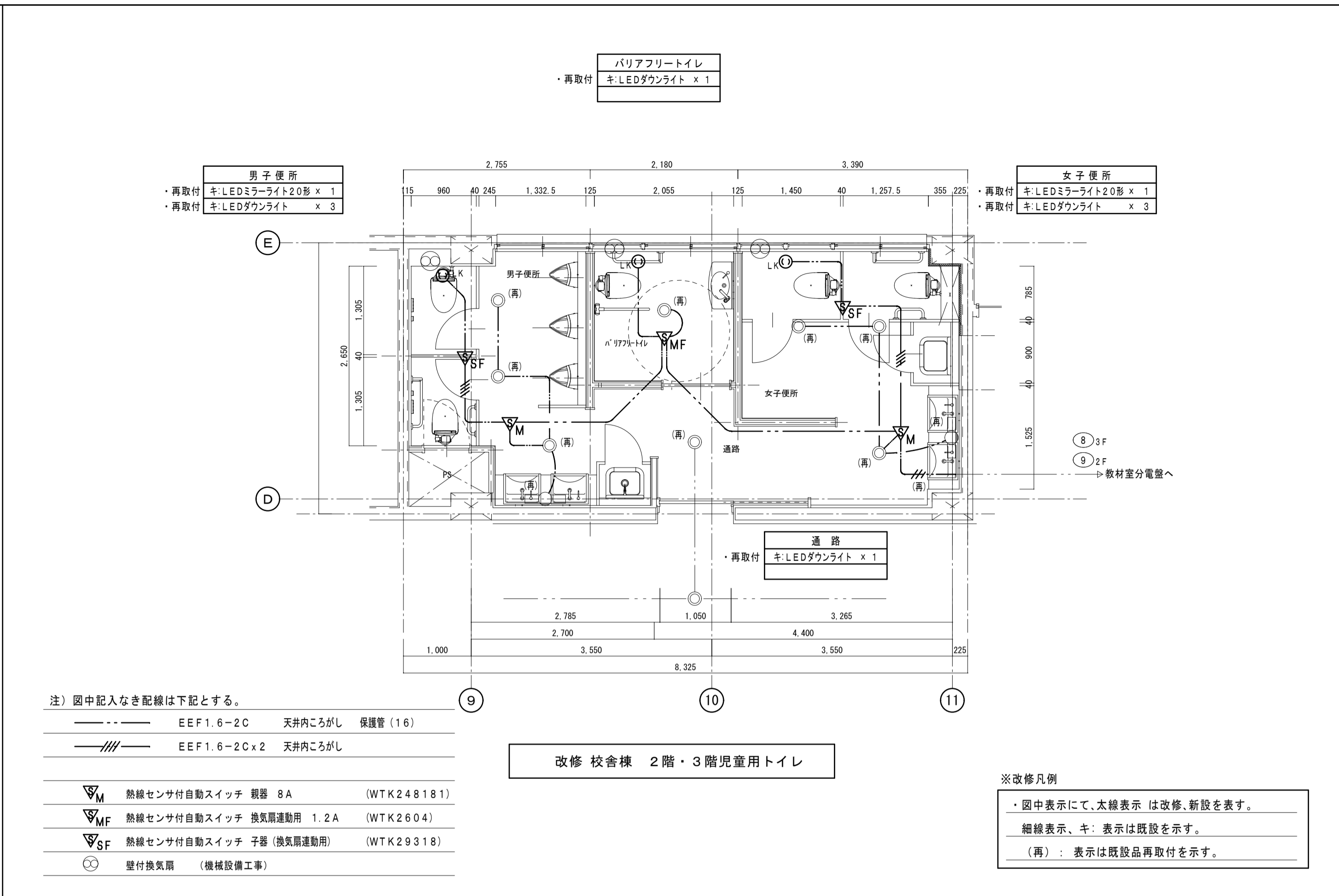
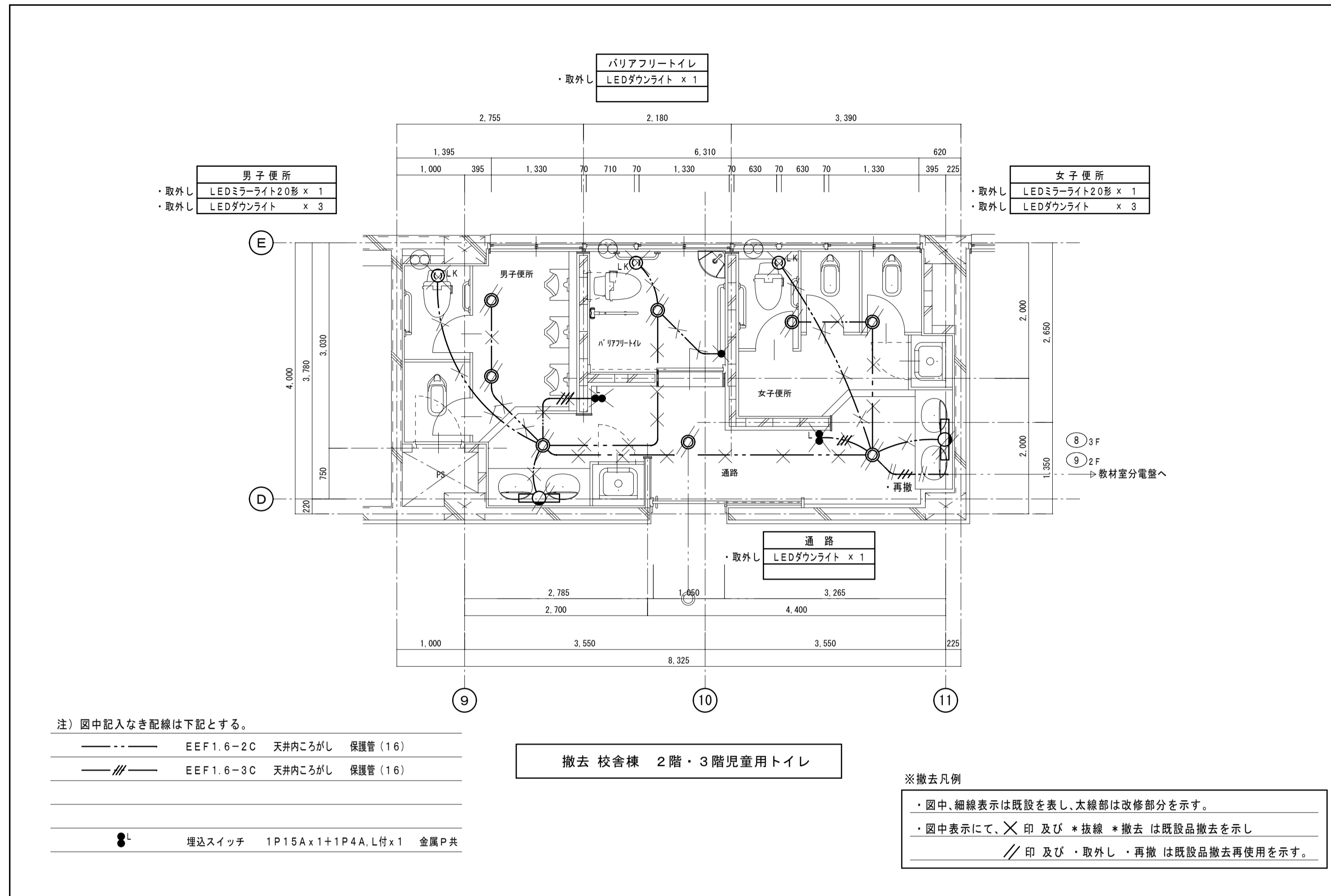
改修範囲を示す

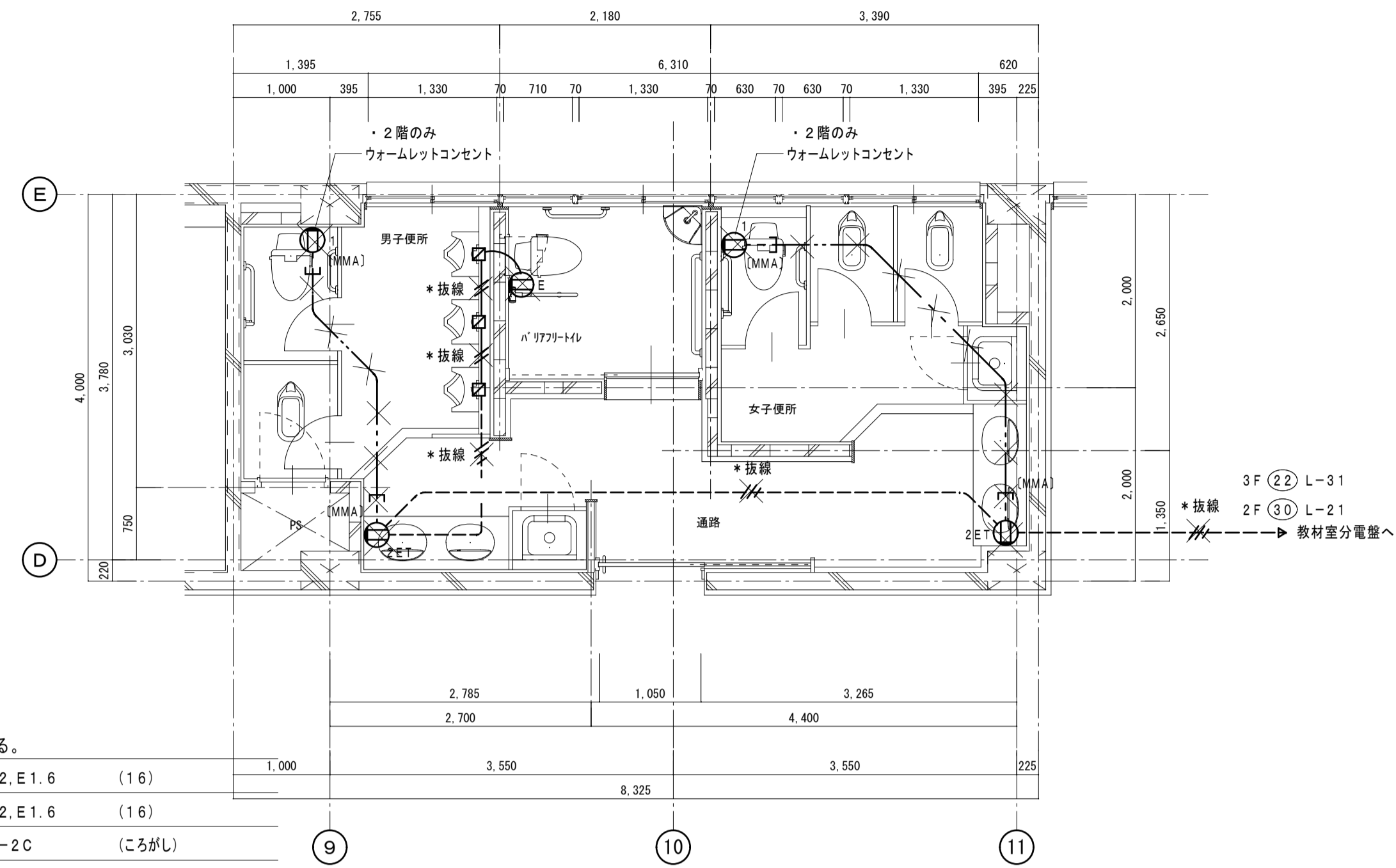


電灯設備 2階平面図



コンセント設備 2階平面図





注) 図中記入なき配線は下記とする。

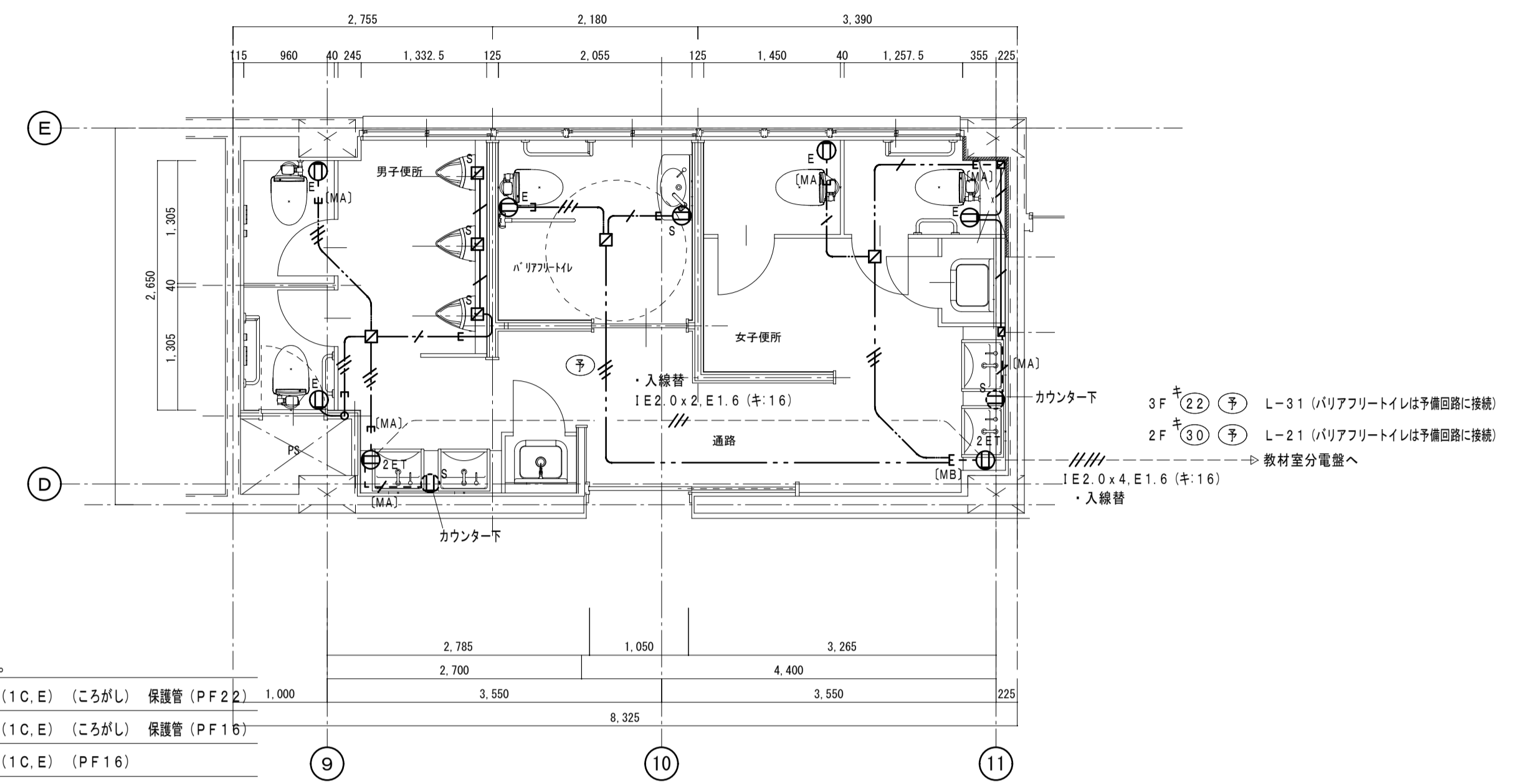
———	1V2.0x2.E1.6	(16)
———	1V2.0x2.E1.6	(16)
———	VVF1.6-2C	(ころがし)
———	ころがし配線	
———	メタルモール A型	

Ⓛ1	埋込コンセント	2P15A x 1	金属P共
ⓁE	埋込コンセント	2P15A, Ex1	金属P共
Ⓛ2ET	埋込コンセント	2P15A x 2-ET	金属P共

撤去 校舎棟 2階・3階児童用トイレ

※撤去凡例

- ・ 図中、細線表示は既設を表し、太線部は改修部分を示す。
- ・ 図中表示にて、**X**印及び *抜線 *撤去 は既設品撤去を示し
- // 印及び ・取外し ・再撤 は既設品撤去再使用を示す。



注) 図中記入なき配線は下記とする。

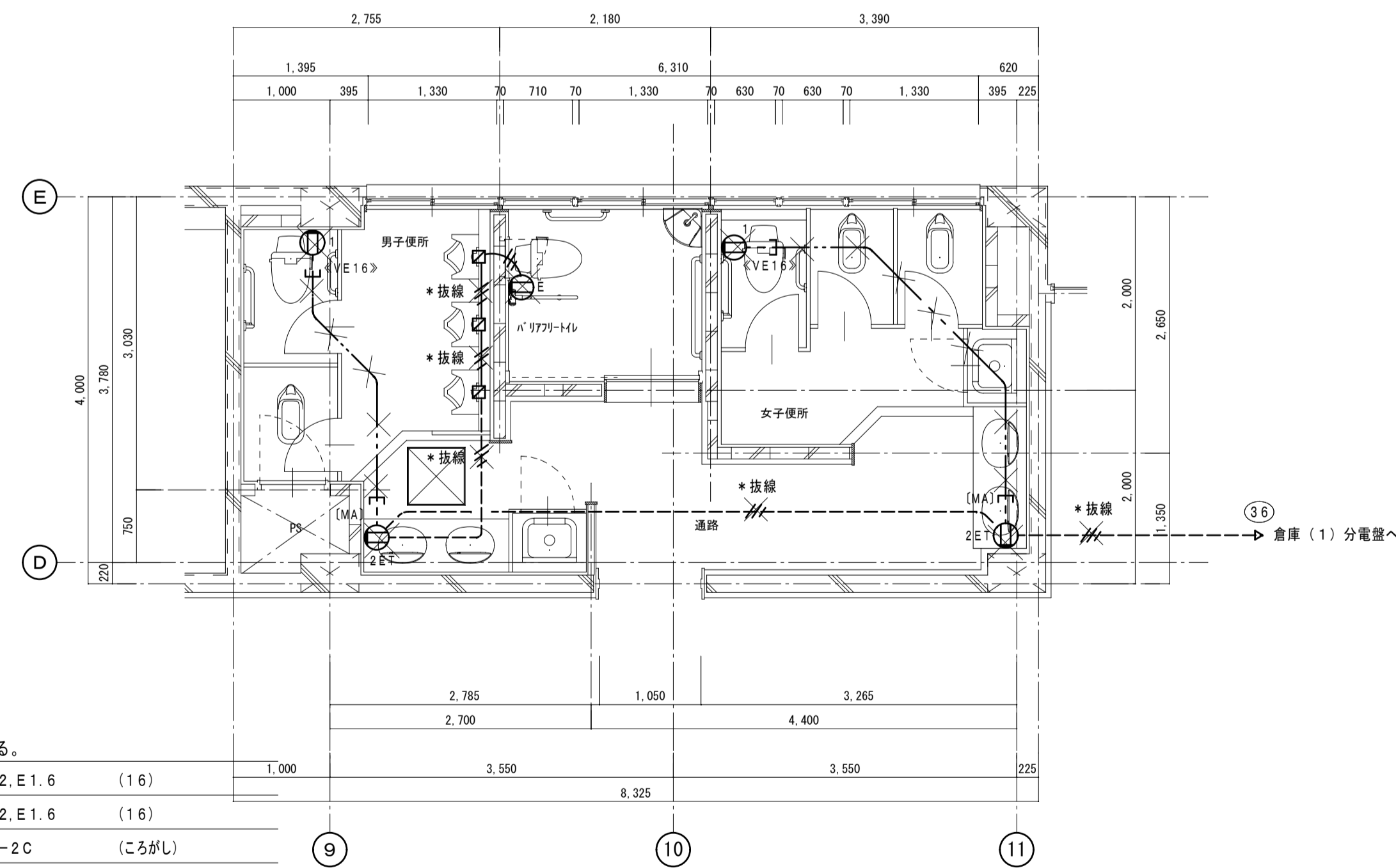
———	EEF2.0-3C (1C, E)	(ころがし) 保護管 (PF22)	1,000
———	EEF1.6-3C (1C, E)	(ころがし) 保護管 (PF16)	
———	EEF1.6-3C (1C, E)	(PF16)	
———	EEF1.6-3C (1C, E)	(MA)	
———	ころがし配線		
———	メタルモール A型		

ⓁE	埋込コンセント	2P15A, Ex1-ET	金属P共
ⓁS	センサ用埋込コンセント	2P15A, Ex1-ET	金属P共
Ⓛ2E	埋込コンセント	2P15A, Ex2-ET	金属P共

改修 校舎棟 2階・3階児童用トイレ

※改修凡例

- ・ 図中表示にて、太線表示 は改修、新設を表す。
- 細線表示、キ: 表示は既設を示す。
- (再): 表示は既設品再取付を示す。



注) 図中記入なき配線は下記とする。

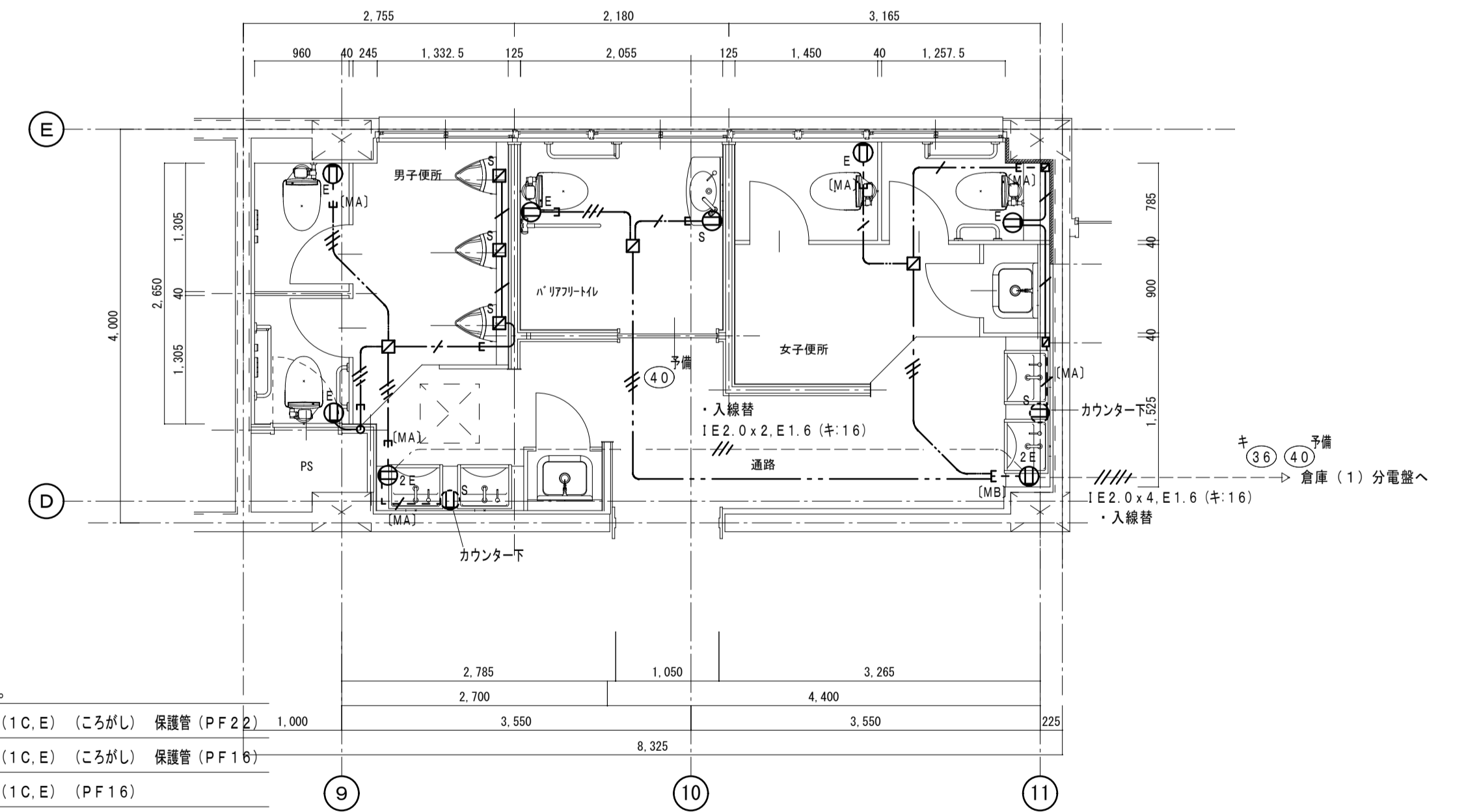
———	1V2.0x2.E1.6	(16)
———	1V2.0x2.E1.6	(16)
———	VVF1.6-2C	(ころがし)
———	ころがし配線	
———	メタルモール A型	

Ⓛ1	埋込コンセント	2P15A x 1	金属P共
ⓁE	埋込コンセント	2P15A, Ex1	金属P共
Ⓛ2ET	埋込コンセント	2P15A x 2-ET	金属P共

撤去 校舎棟 1階児童用トイレ

※撤去凡例

- ・ 図中、細線表示は既設を表し、太線部は改修部分を示す。
- ・ 図中表示にて、**X**印及び *抜線 *撤去 は既設品撤去を示し
- // 印及び ・取外し ・再撤 は既設品撤去再使用を示す。



注) 図中記入なき配線は下記とする。

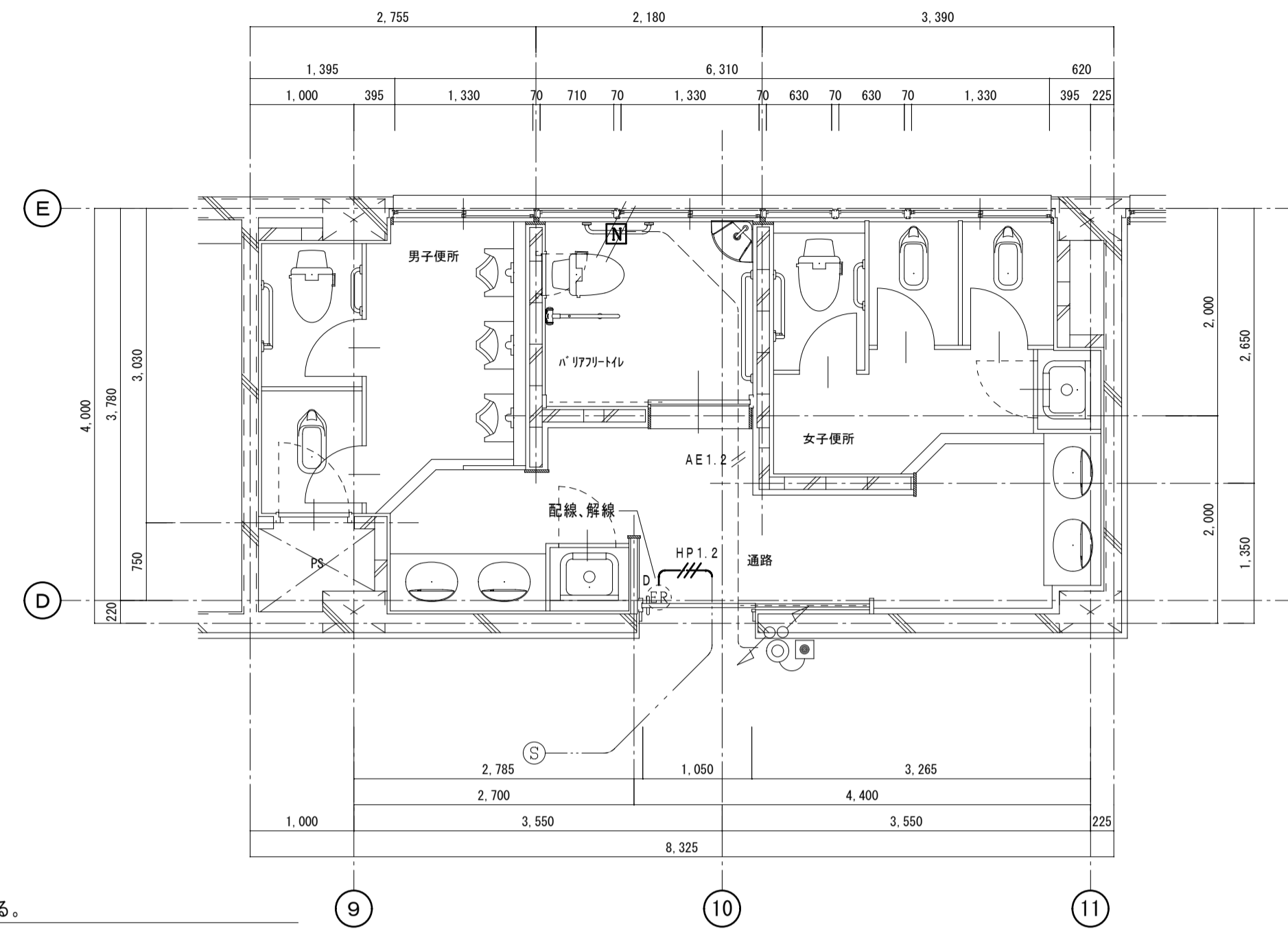
———	EEF2.0-3C (1C, E)	(ころがし) 保護管 (PF22)	1,000
———	EEF1.6-3C (1C, E)	(ころがし) 保護管 (PF16)	
———	EEF1.6-3C (1C, E)	(PF16)	
———	EEF1.6-3C (1C, E)	(MA)	
———	ころがし配線		
———	メタルモール A型		

ⓁE	埋込コンセント	2P15A, Ex1-ET	金属P共
ⓁS	センサ用埋込コンセント	2P15A, Ex1-ET	金属P共
Ⓛ2E	埋込コンセント	2P15A, Ex2-ET	金属P共

改修 校舎棟 1階児童用トイレ

※改修凡例

- ・ 図中表示にて、太線表示 は改修、新設を表す。
- 細線表示、キ: 表示は既設を示す。
- (再): 表示は既設品再取付を示す。



注) 図中記入なき配線は下記とする。

--- AE1.2 AE1.2-2C (16)
 --- HP1.2 HP1.2-3C (ころがし)

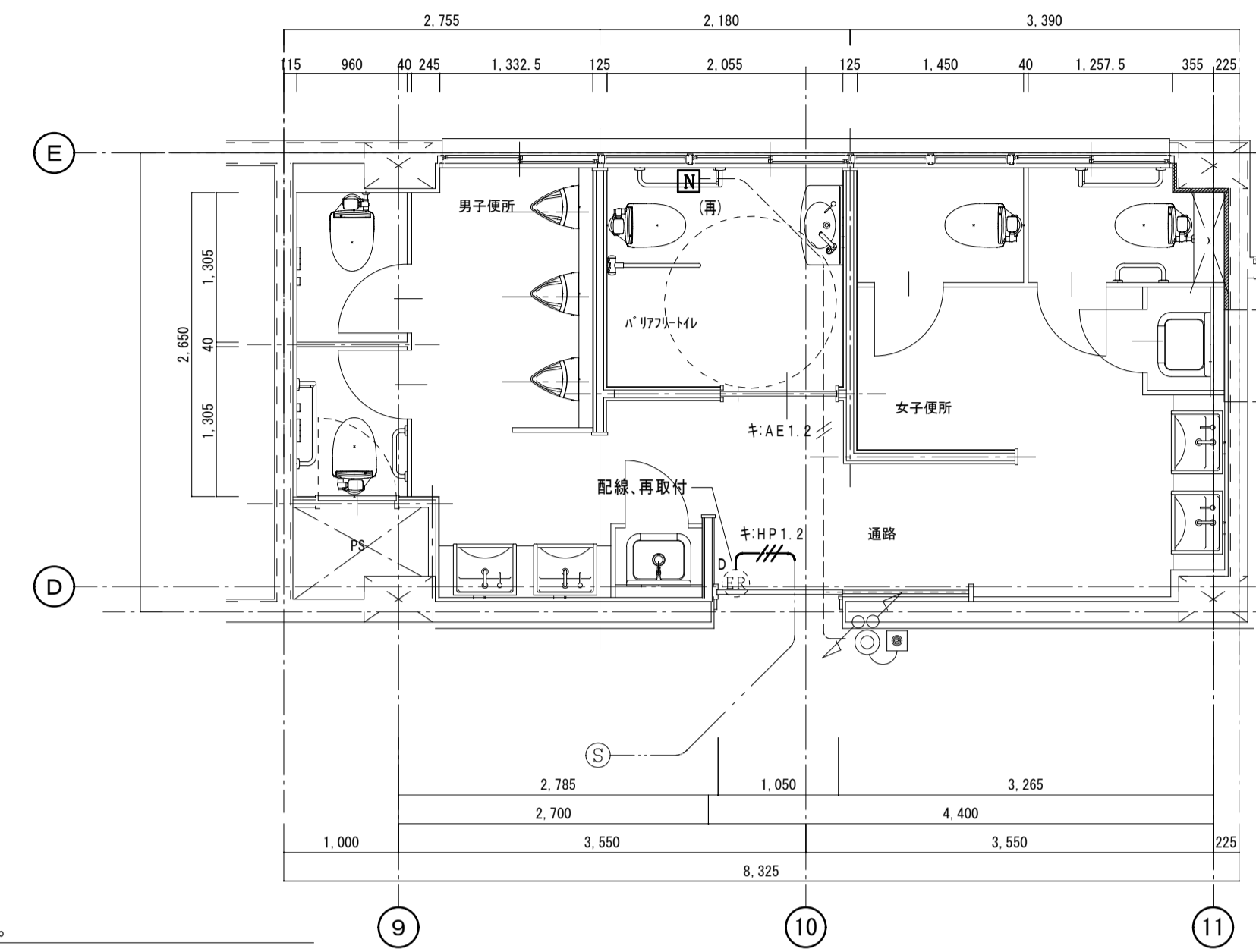
[N] トイレ呼出し

[S] 煙感知器 光電式 3種 露出

[ER]D 自動閉鎖装置 (建築工事)

・トイレ呼出し設備・防火戸設備

撤去 校舎棟 2階・3階児童用トイレ



注) 図中記入なき配線は下記とする。

--- AE1.2 キ:AE1.2-2C (キ:16)
 --- HP1.2 キ:HP1.2-3C (ころがし)

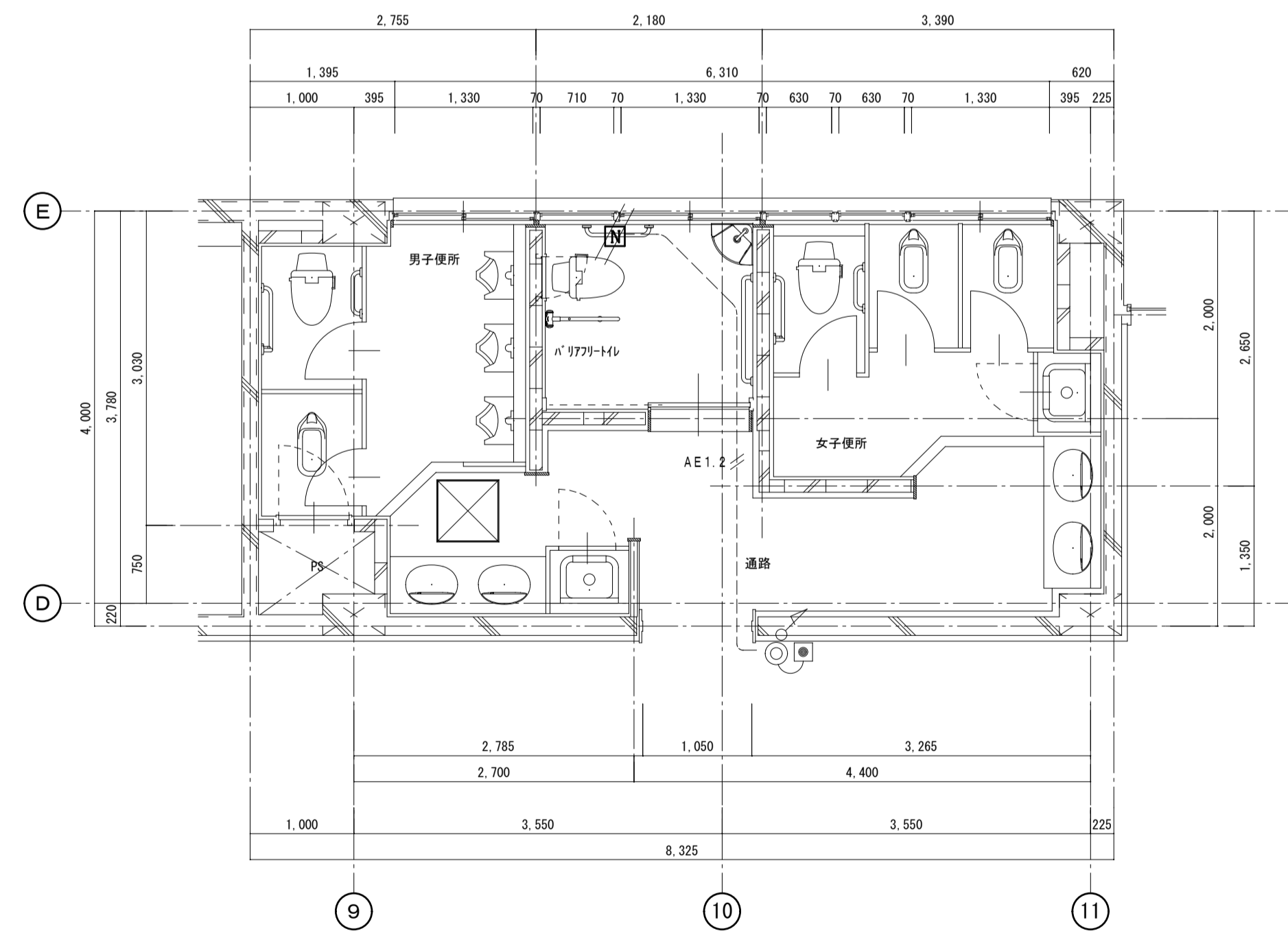
[N] トイレ呼出し (既設品再取付)

[S] 既設煙感知器 光電式 3種 露出

[ER]D 自動閉鎖装置 (建築工事)

・トイレ呼出し設備・防火戸設備

改修 校舎棟 2階・3階児童用トイレ



注) 図中記入なき配線は下記とする。

--- AE1.2 AE1.2-2C (16)
 --- HP1.2 HP1.2-3C (ころがし)

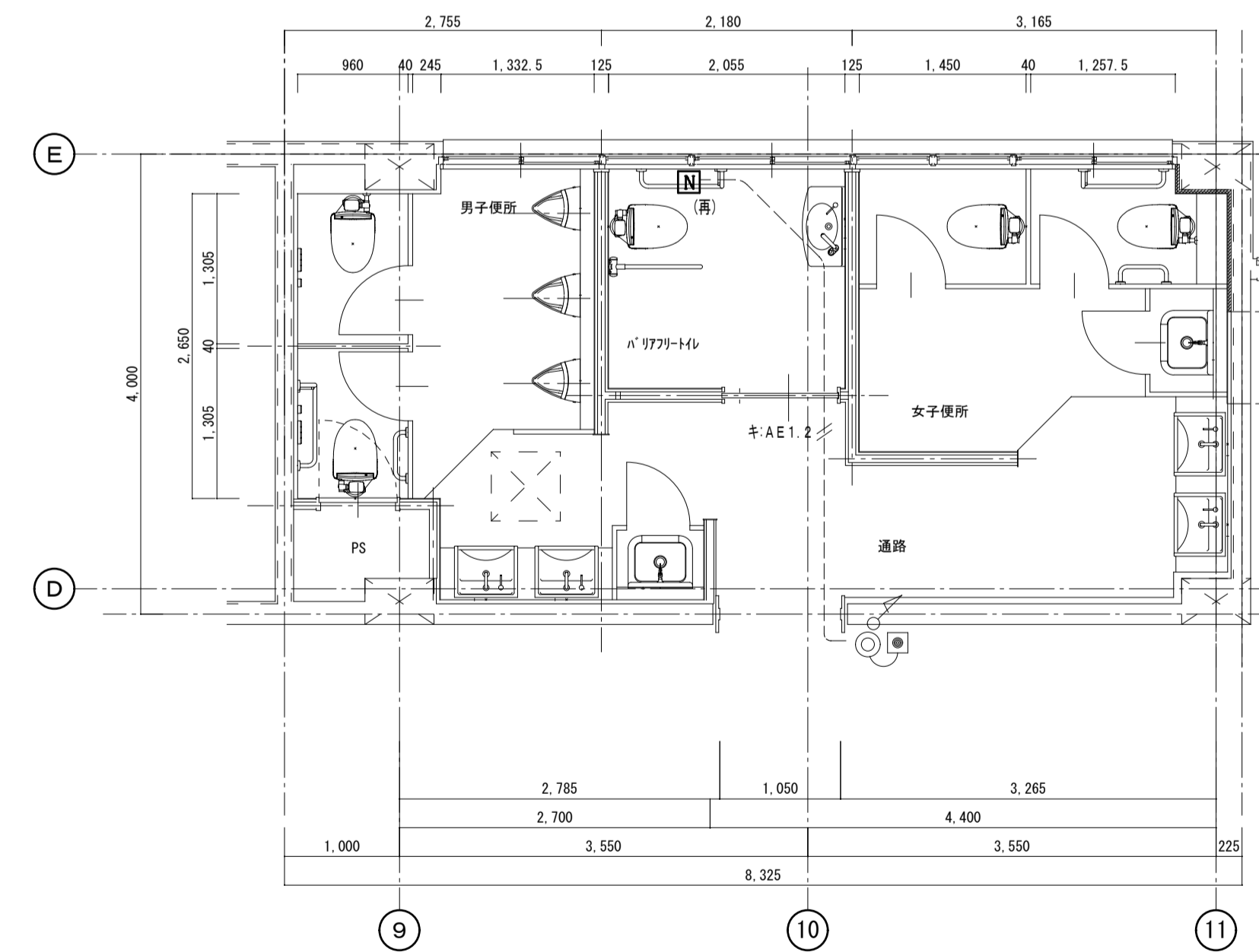
[N] トイレ呼出し

・トイレ呼出し設備

撤去 校舎棟 1階児童用トイレ

※撤去凡例

- ・ 図中、細線表示は既設を表し、太線部は改修部分を示す。
- ・ 図中表示にて、X印及び*抜線 *撤去は既設品撤去を示し
- // 印及び・取外し・再撤は既設品撤去再使用を示す。



注) 図中記入なき配線は下記とする。

--- AE1.2 キ:AE1.2-2C (キ:16)

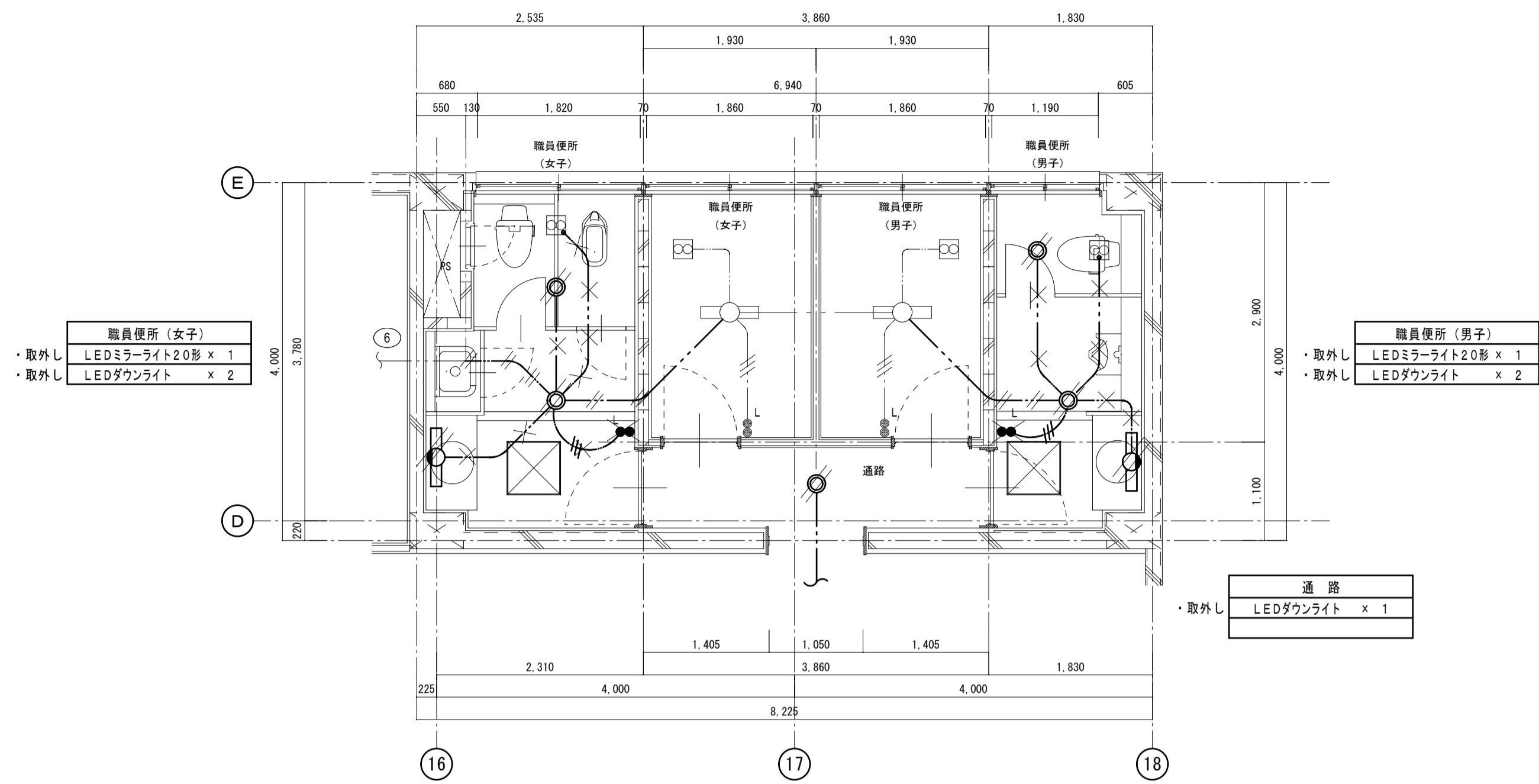
[N] トイレ呼出し (既設品再取付)

・トイレ呼出し設備

改修 校舎棟 1階児童用トイレ

※改修凡例

- ・ 図中表示にて、太線表示は改修、新設を表す。
- 細線表示、キ:表示は既設を示す。
- (再): 表示は既設品再取付を示す。



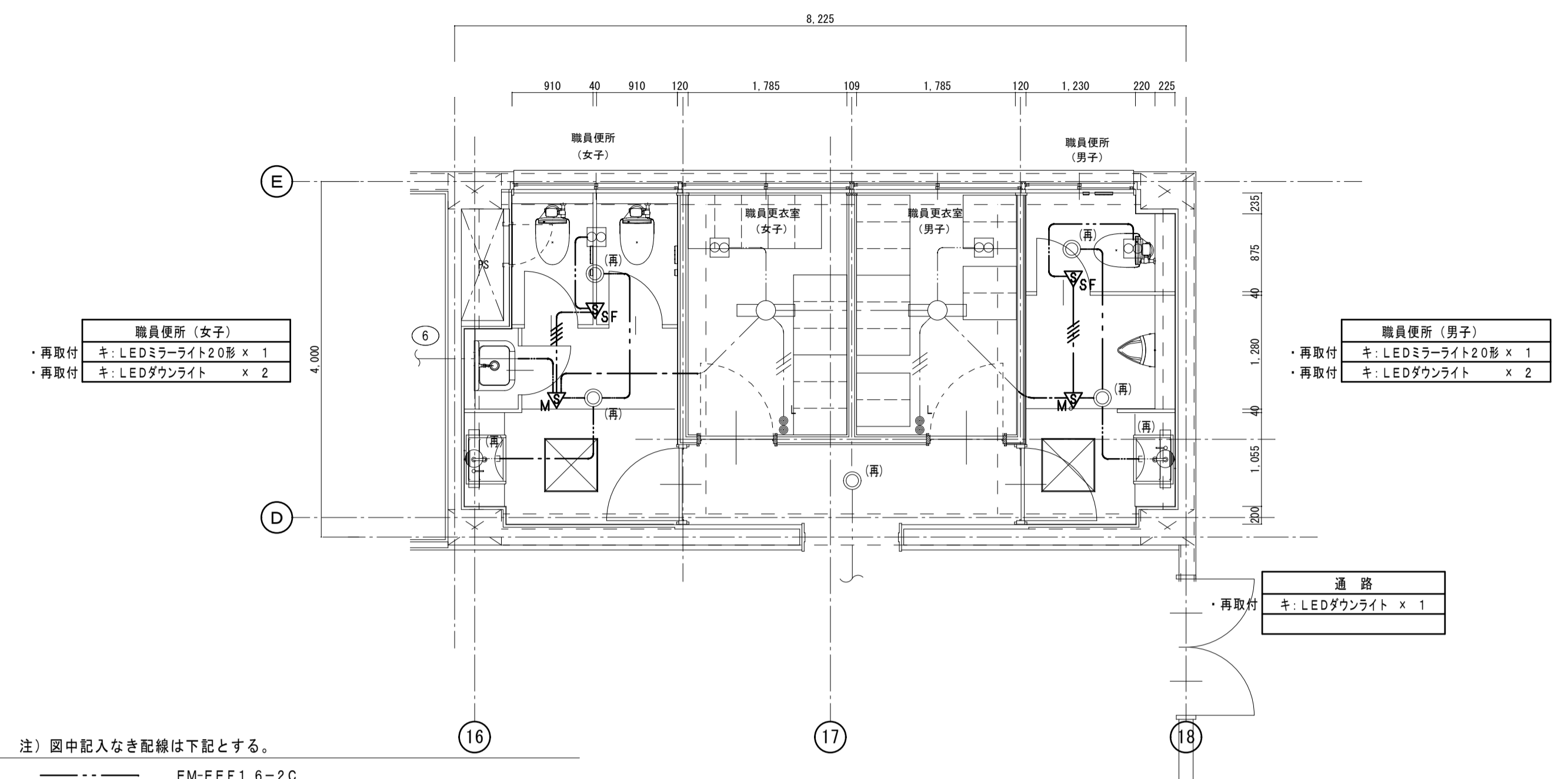
注) 図中記入なき配線は下記とする。

- //— VVF2.0-2C
- ...— VVF1.6-2C
- ///— VVF1.6-3C
- 埋込スイッチ 1P15A x 1 + 1P4A, L付 x 1 金属P共

撤去 校舎棟 1階職員用トイレ

※撤去凡例

- ・ 図中、細線表示は既設を表し、太線部は改修部分を示す。
- ・ 図中表示にて、×印及び*抜線 *撤去は既設品撤去を示し
- // 印及び・取外し・再撤は既設品撤去再使用を示す。



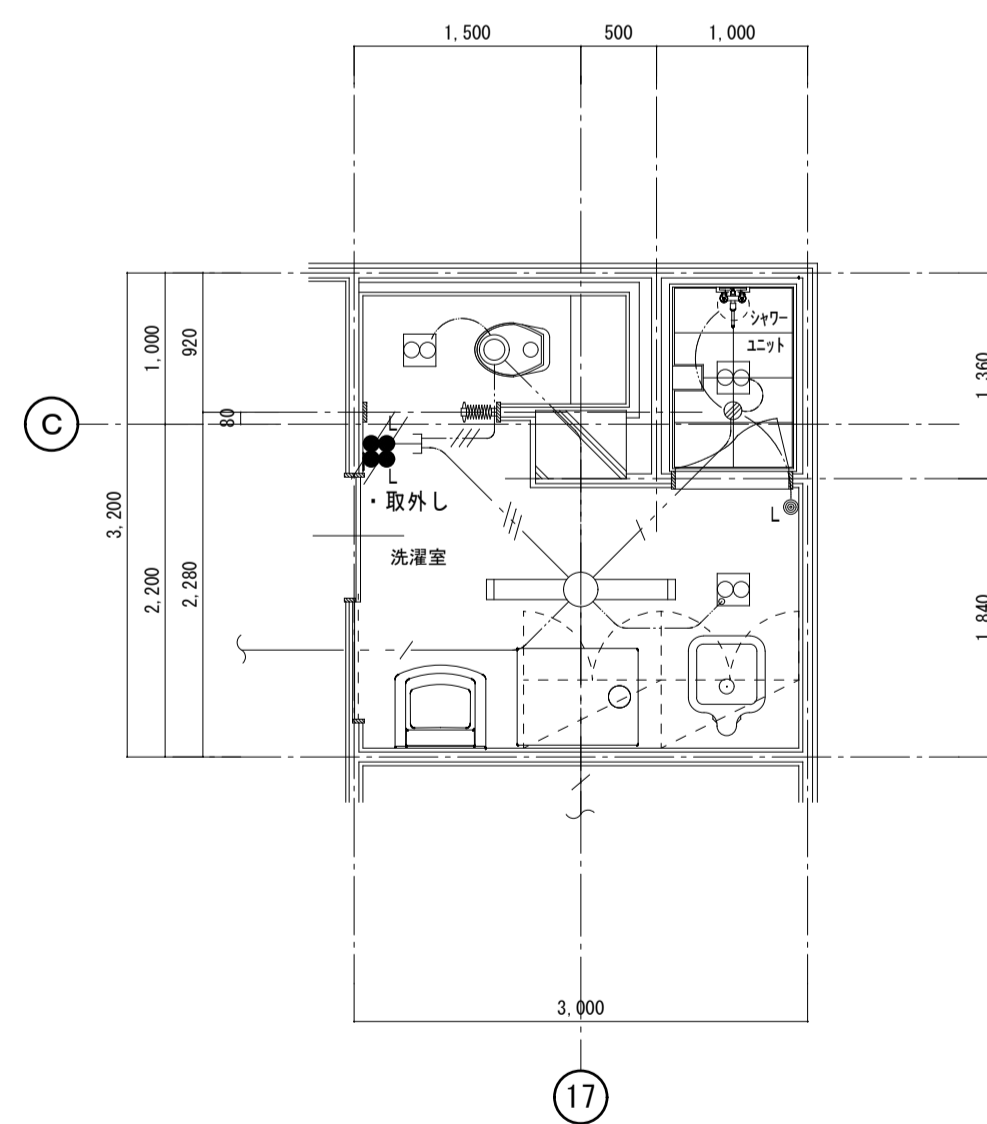
注) 図中記入なき配線は下記とする。

- ...— EM-EEF1.6-2C
- ///— EM-EEF1.6-2Cx2
- ...— 既設: VVF1.6-2C
- //— 既設: VVF1.6-3C
- △M 熱線センサ付自動スイッチ 8A 継器 100V (WTK24818)
- △SF 熱線センサ付自動スイッチ 1A 子器-換気扇連動用 100V (WTK29318)

改修 校舎棟 1階職員用トイレ

※改修凡例

- ・ 図中表示にて、太線表示は改修、新設を表す。
- 細線表示、キ: 表示は既設を示す。
- (再): 表示は既設品再取付を示す。



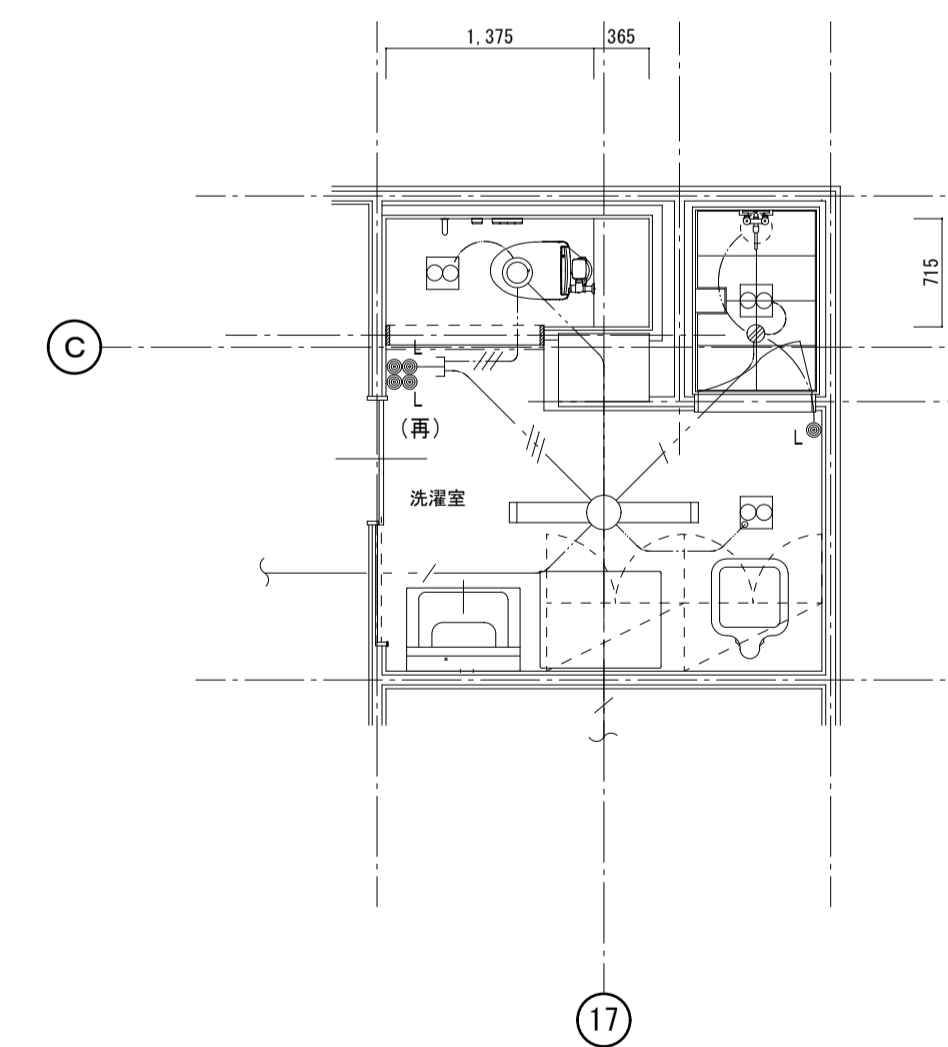
注) 図中記入なき配線は下記とする。

- ...— VVF1.6-2C
- //— VVF1.6-3C (1C, E)
- ///— VVF1.6-3C
- 埋込スイッチ 1P15A x 2 + 1P4A, L付 x 2 金属P共

撤去 校舎棟 保健室トイレ

※撤去凡例

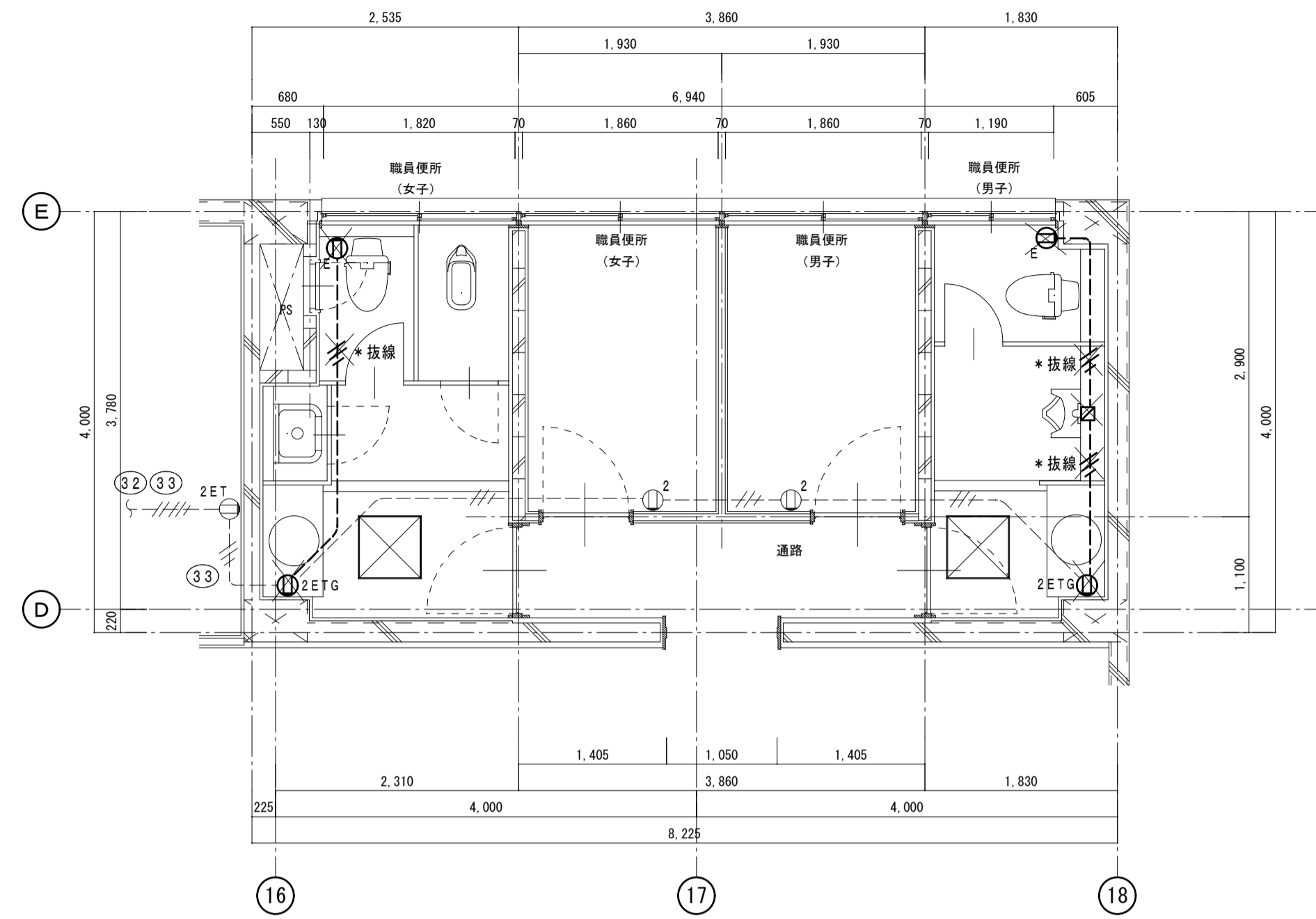
- ・ 図中、細線表示は既設を表し、太線部は改修部分を示す。
- ・ 図中表示にて、×印及び*抜線 *撤去は既設品撤去を示し
- // 印及び・取外し・再撤は既設品撤去再使用を示す。



改修 校舎棟 保健室トイレ

※改修凡例

- ・ 図中表示にて、太線表示は改修、新設を表す。
- 細線表示、キ: 表示は既設を示す。
- (再): 表示は既設品再取付を示す。



注) 図中記入なき配線は下記とする。

---//--- 1V2.0x2.E1.6 (PF16)

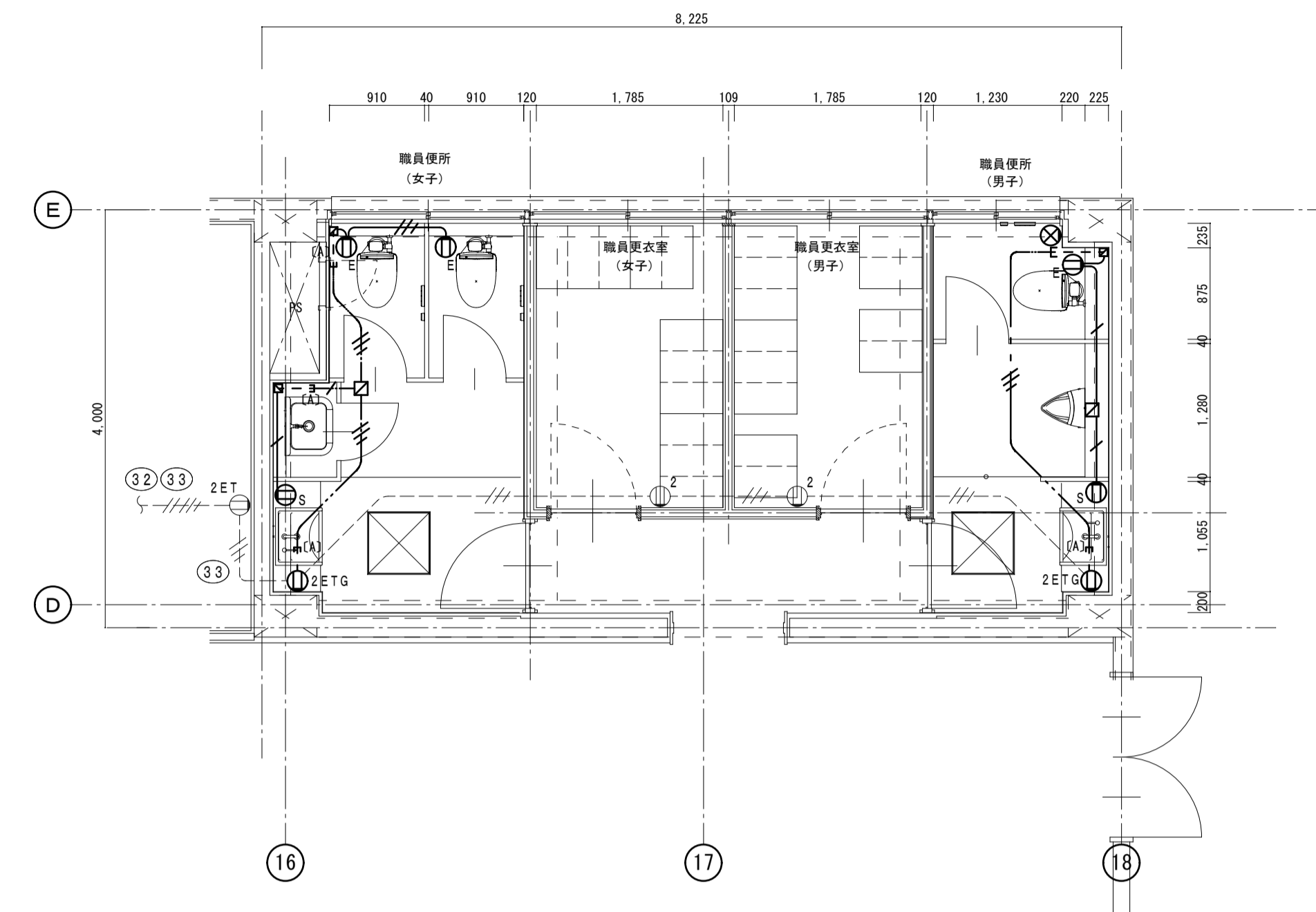
①^E 埋込コンセント 2P15A×1-ET 金属プレート共

①^{2ETG} 埋込コンセント 2P15A×2-ET 金属ガードプレート共

撤去 校舎棟 1階職員用トイレ

※撤去凡例

- ・ 図中、細線表示は既設を表し、太線部は改修部分を示す。
- ・ 図中表示にて、**×**印及び*****抜線 *****撤去 は既設品撤去を示し
- //印及び**・**取外し **・**再撤 は既設品撤去再使用を示す。



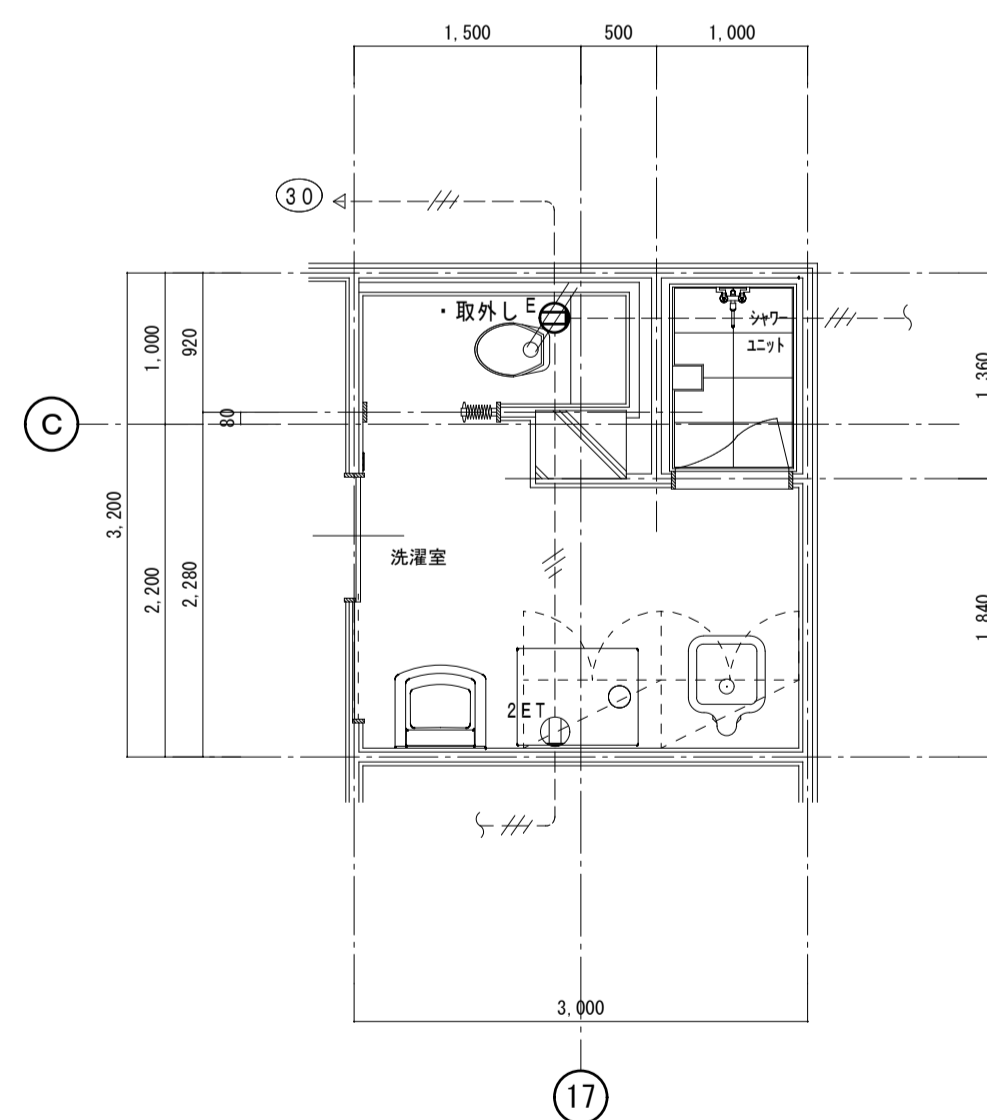
注) 図中記入なき配線は下記とする。

---//--- 1V2.0x2.E1.6 (PF16)

①^E 埋込コンセント 2P15A×1-ET 金属プレート共

①^{2ETG} 埋込コンセント 2P15A×2-ET 金属ガードプレート共

改修 校舎棟 1階職員用トイレ



注) 図中記入なき配線は下記とする。

---//--- 1V2.0x2.E1.6 (PF16)

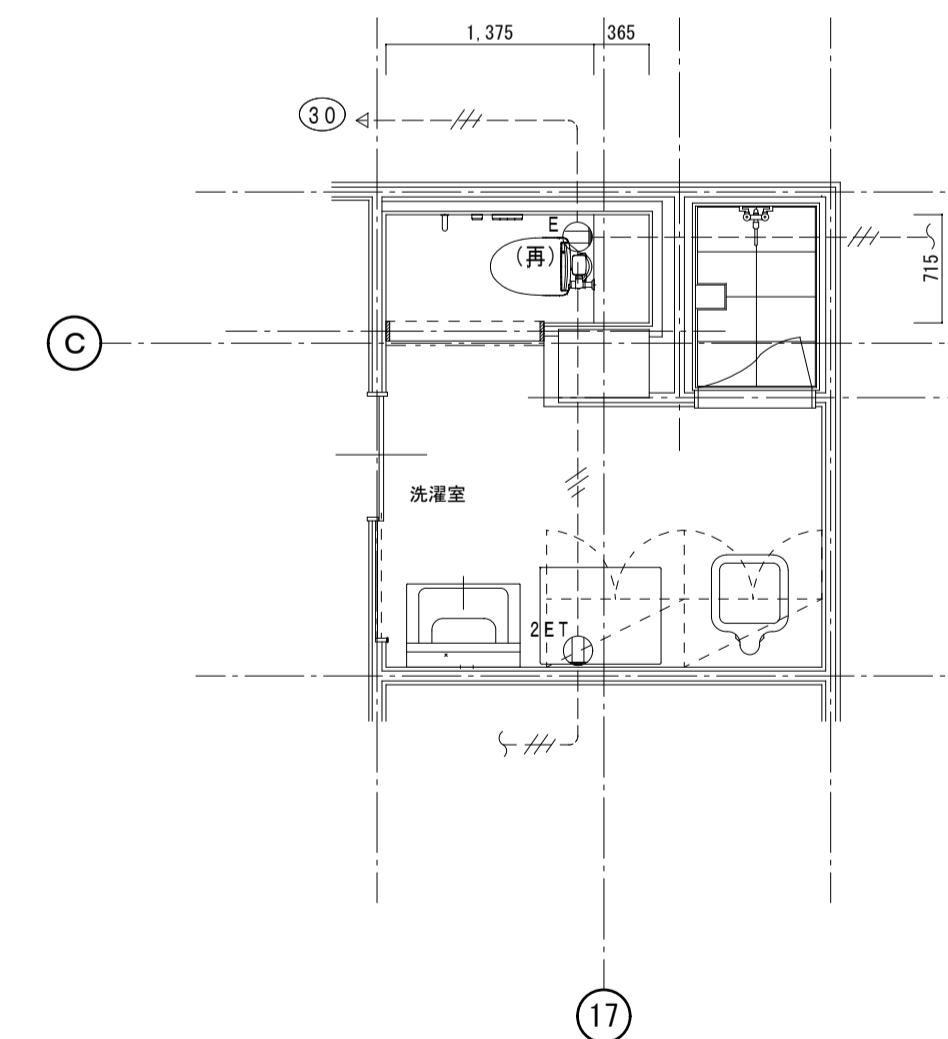
①^E 埋込コンセント 2P15A×1-ET 金属プレート共

①^{2ET} 埋込コンセント 2P15A×2-ET 金属プレート共

撤去 校舎棟 保健室トイレ

※撤去凡例

- ・ 図中、細線表示は既設を表し、太線部は改修部分を示す。
- ・ 図中表示にて、**×**印及び*****抜線 *****撤去 は既設品撤去を示し
- //印及び**・**取外し **・**再撤 は既設品撤去再使用を示す。



注) 図中記入なき配線は下記とする。

---//--- キ:1V2.0x2.E1.6 (キ:PF16)

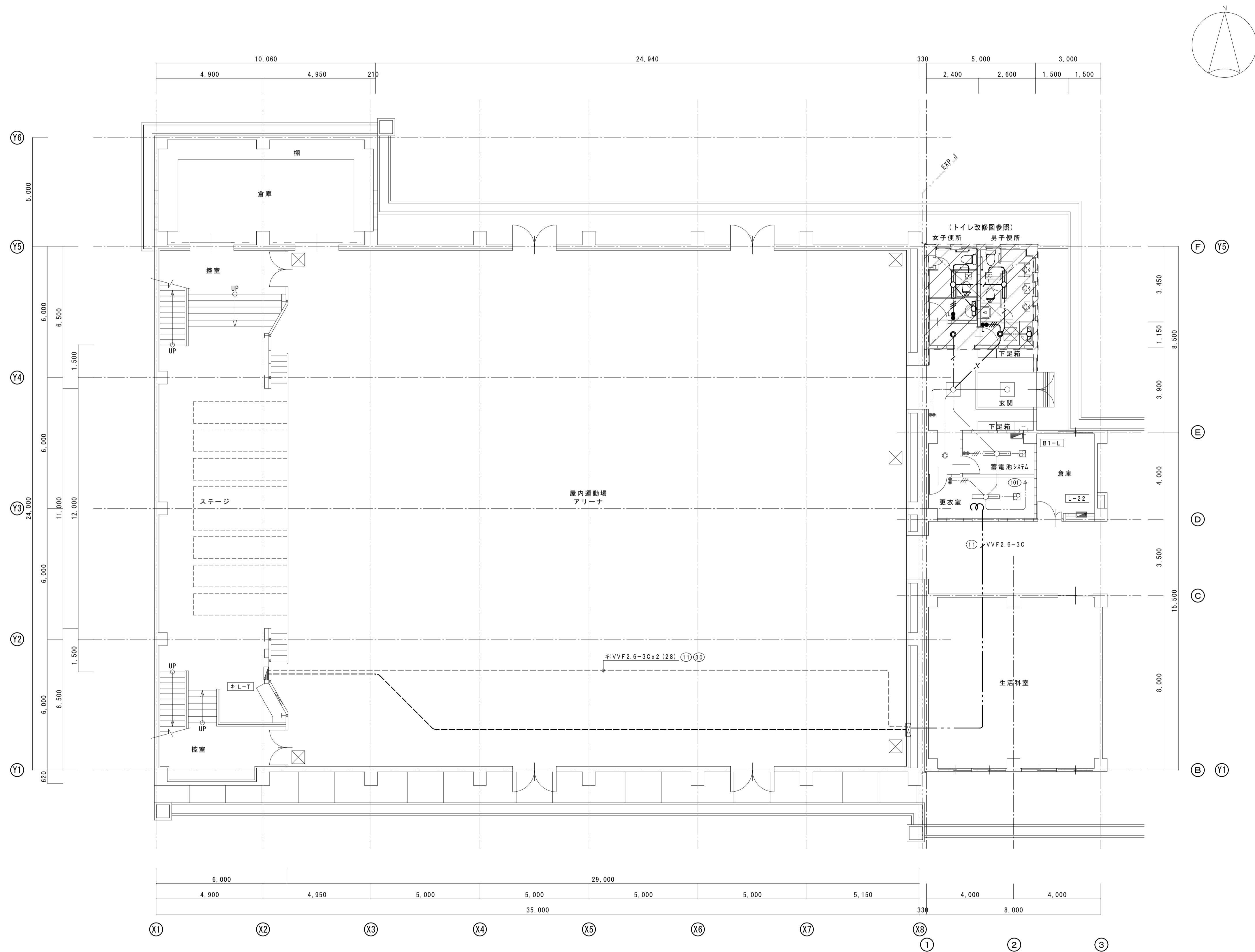
①^E 既設埋込コンセント 2P15A×1-ET 金属プレート共

①^{2ET} 既設埋込コンセント 2P15A×2-ET 金属プレート共

改修 校舎棟 保健室トイレ

※改修凡例

- ・ 図中表示にて、太線表示 は改修、新設を表す。
- 細線表示、キ:表示は既設を示す。
- (再): 表示は既設品再取付を示す。



1階平面図

改修範囲を示す

株式会社 倉森建築設計事務所
 倉森建築設計事務所 岡山 1081号
 一級建築士事務所登録 岡山市北区 1081号
 赤木 定

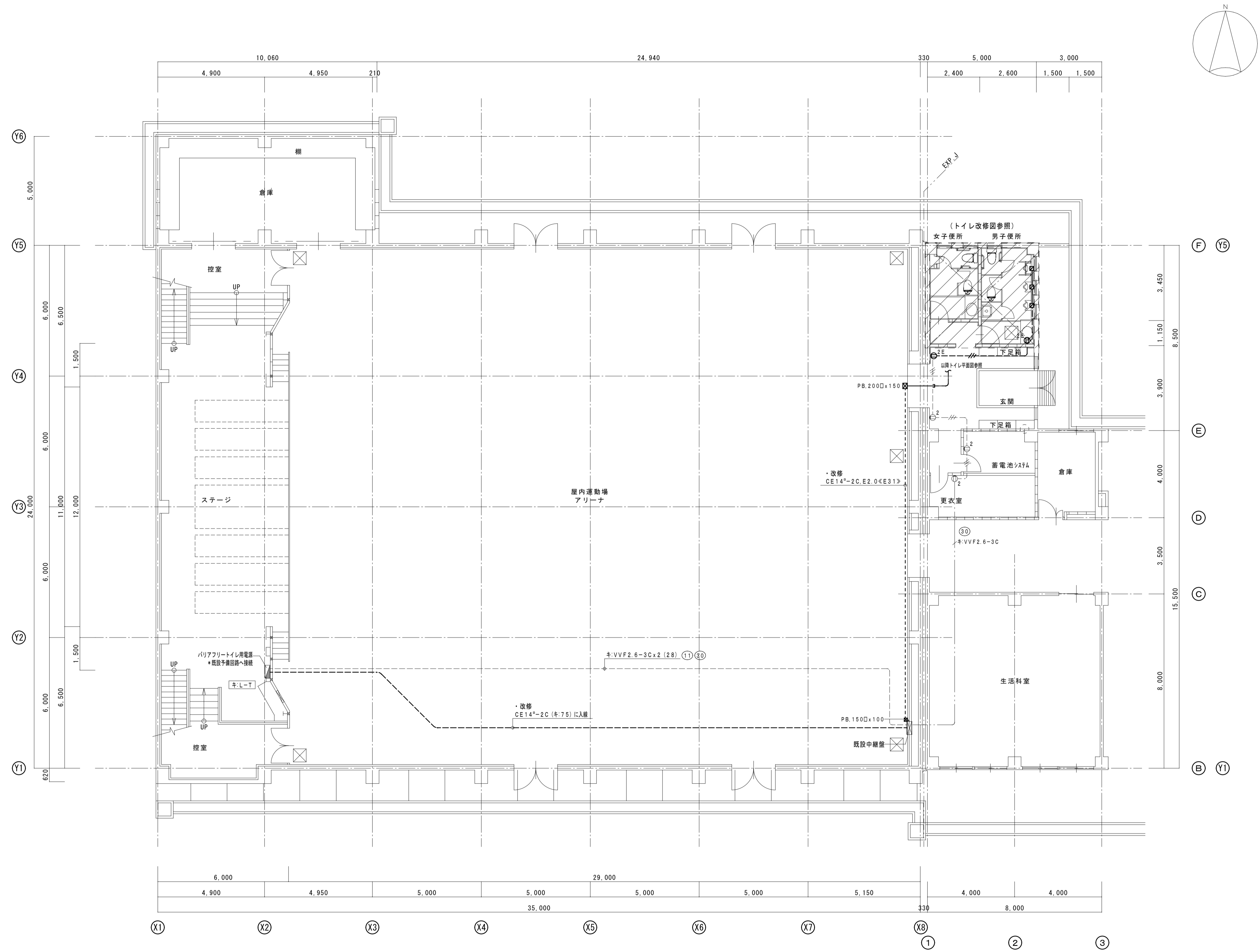
西栗倉小学校トイレ改修工事

体育館棟 電灯設備 1階平面図 (改修前)

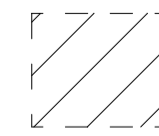
電気設備工事

SCALE A1-1: 100
A3-1: 200

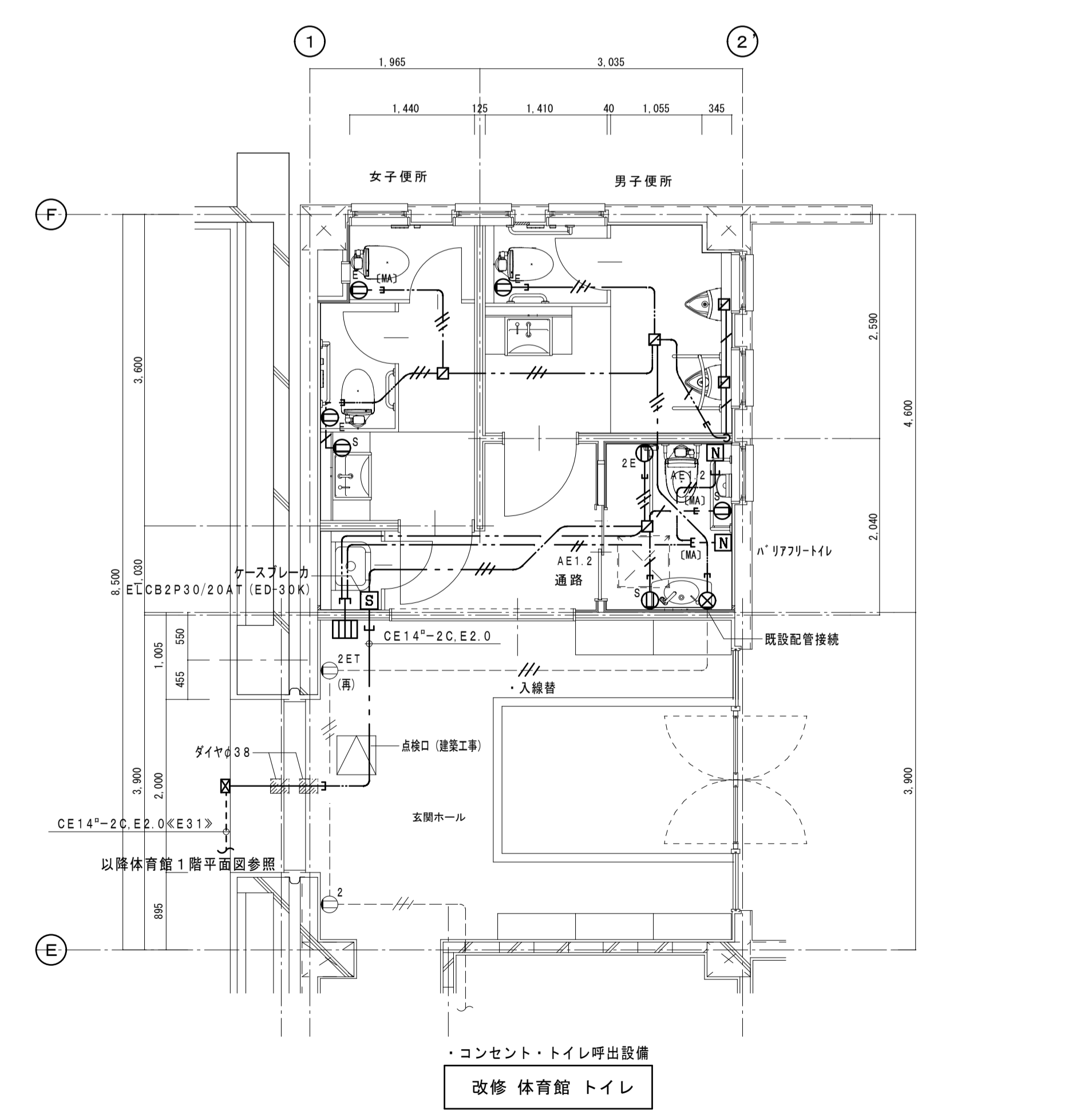
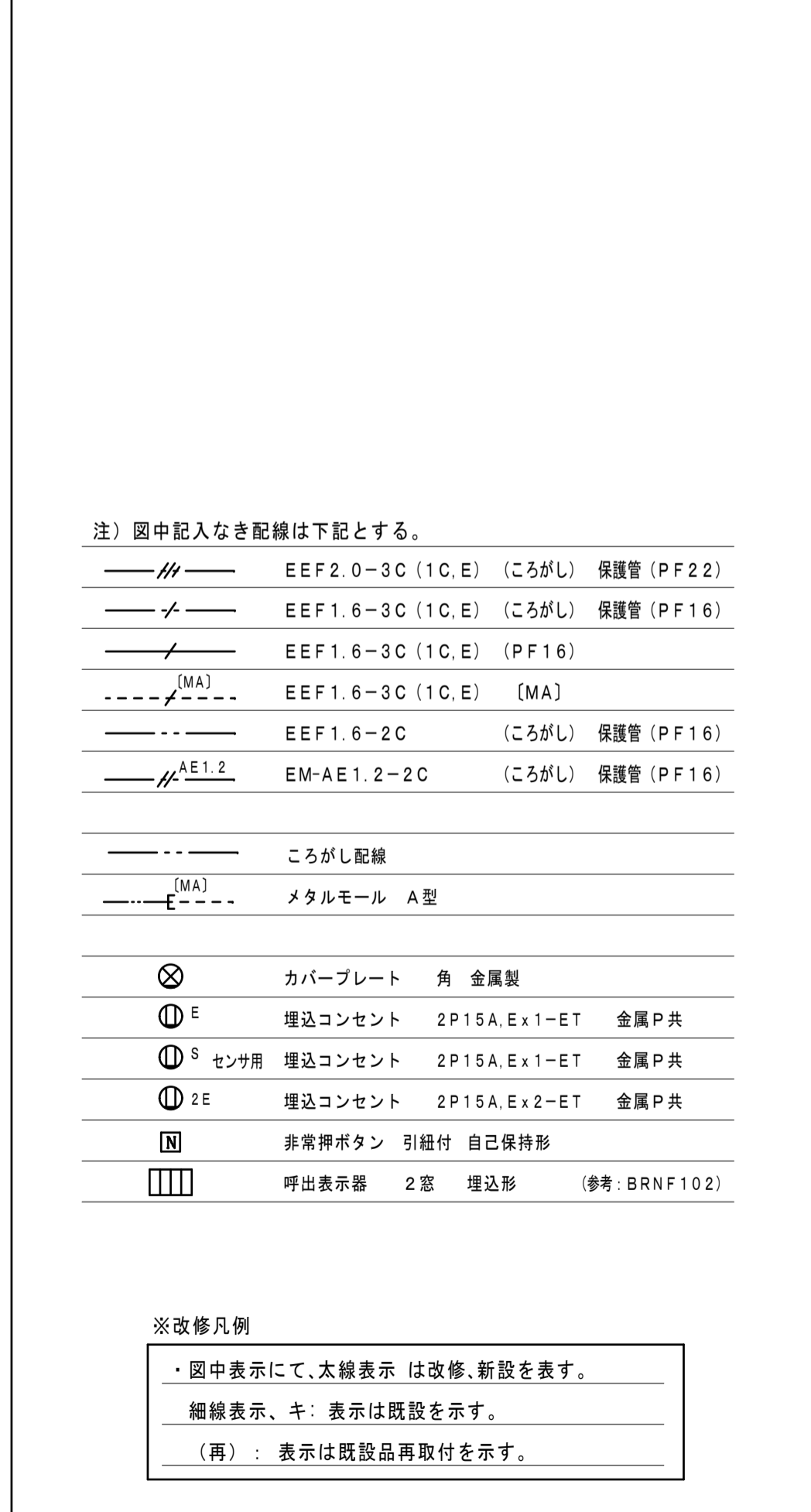
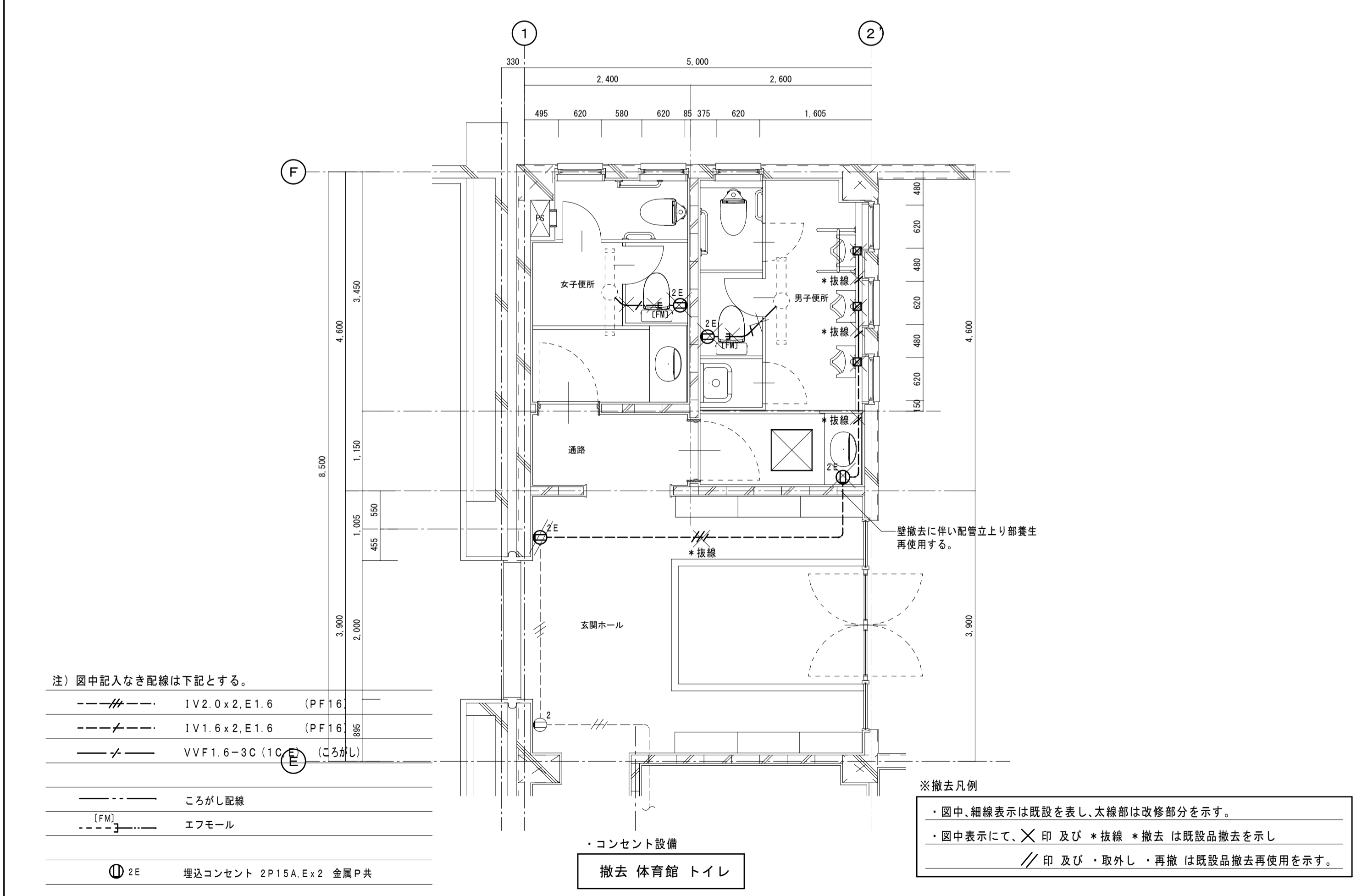
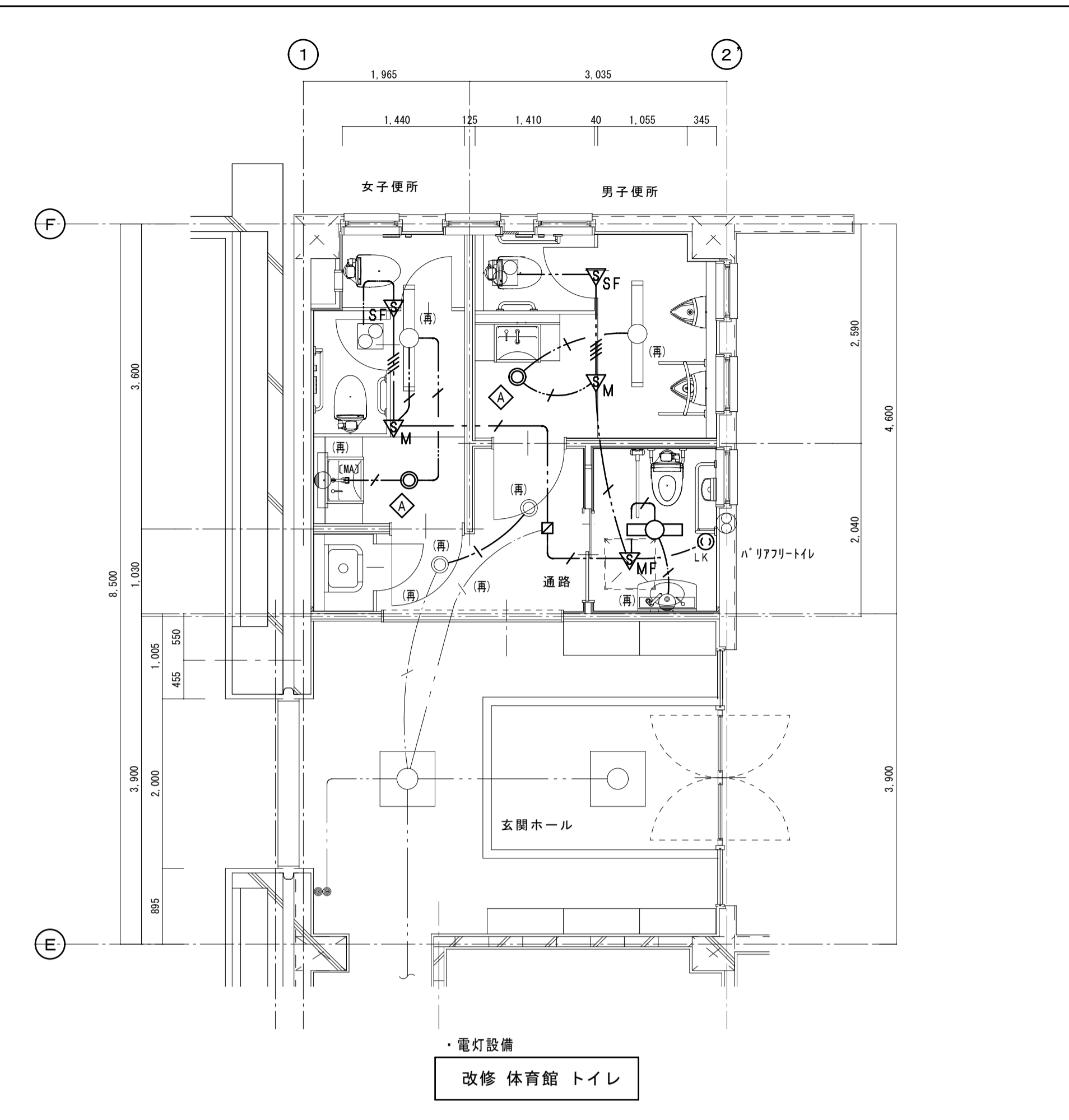
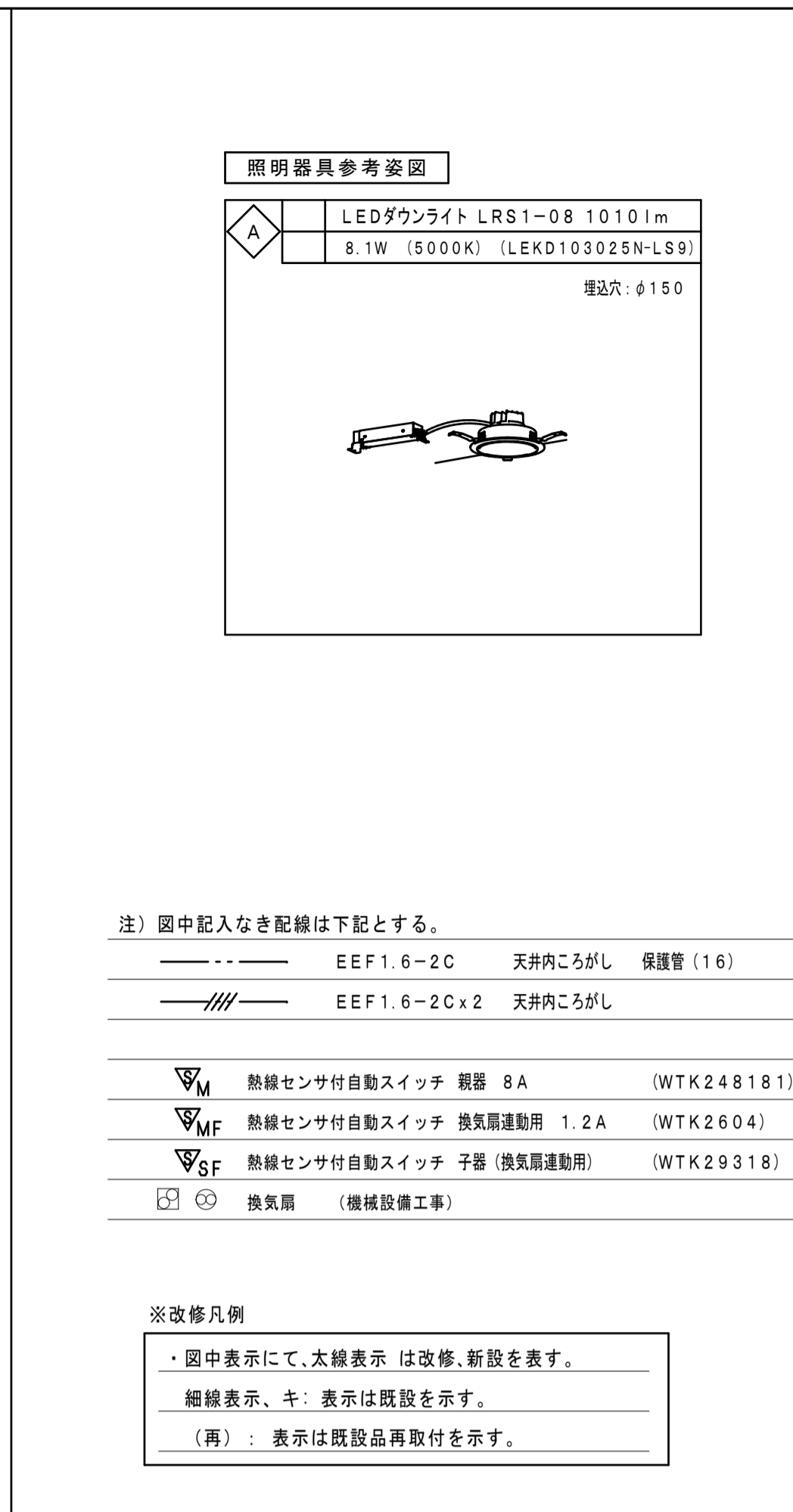
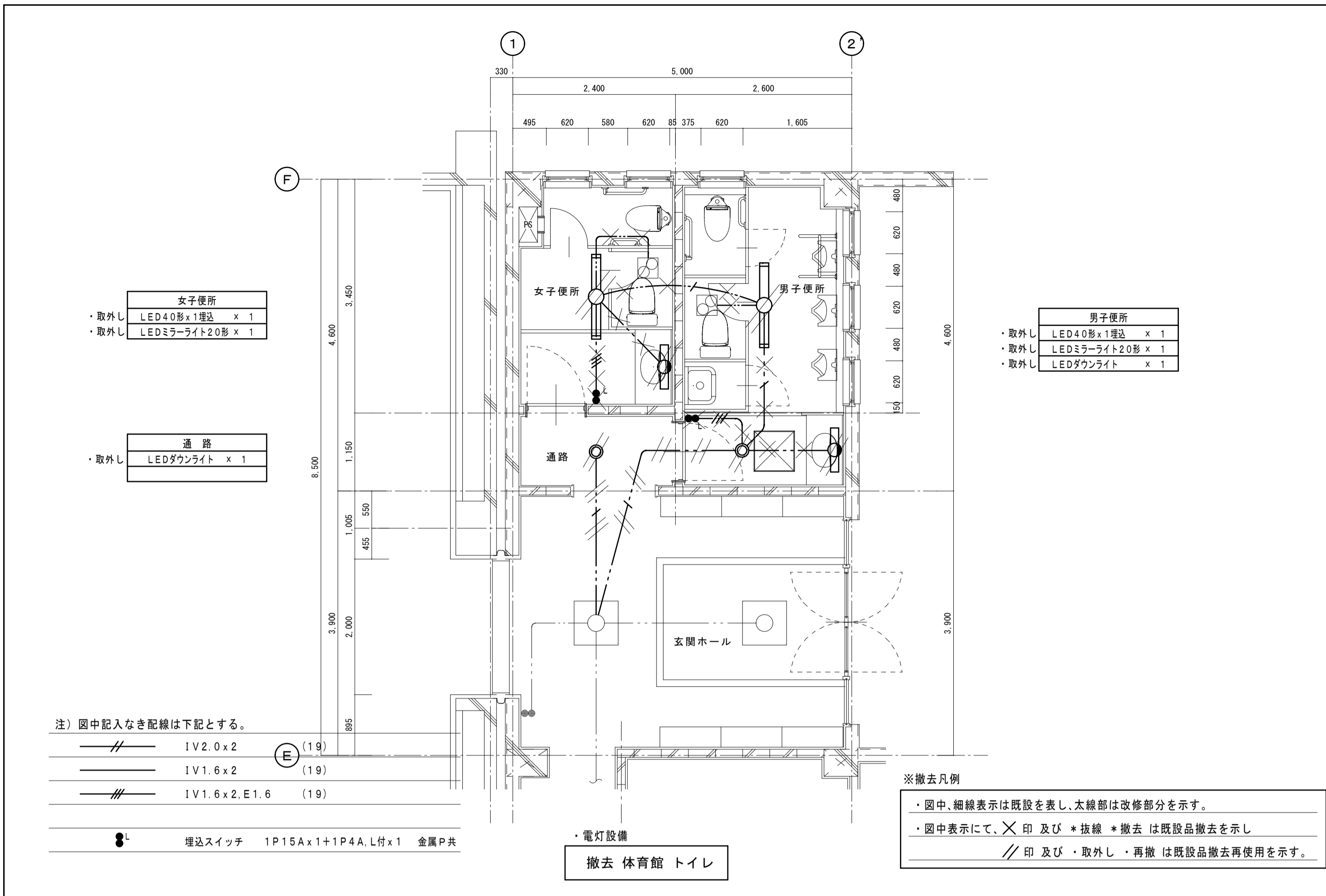
E 09

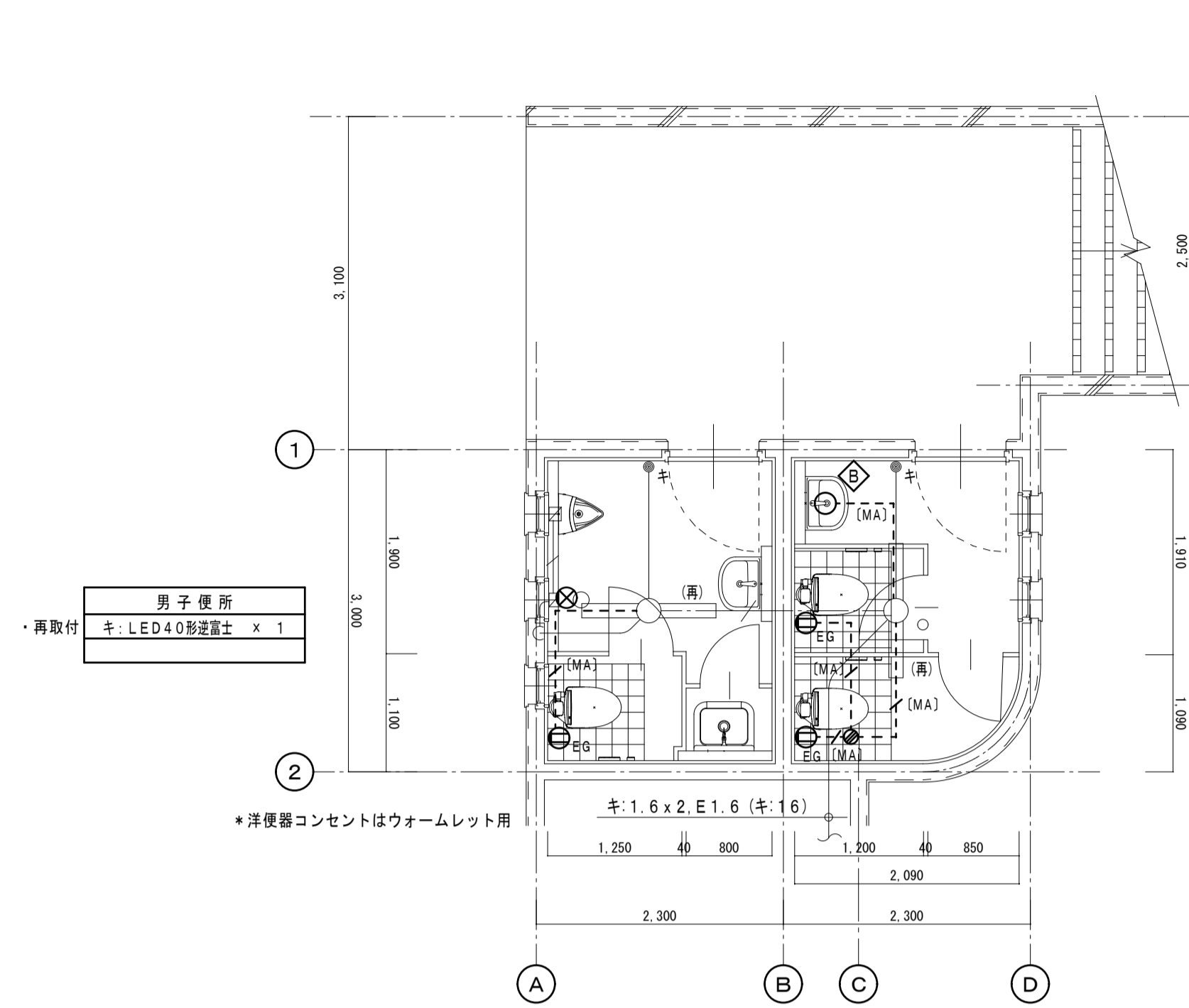


1階平面図

 改修範囲を示す

株式会社 倉森建築設計事務所 <small>一般建築士事務所登録 岡山 1081号</small> <small>一般建築士 169969号</small> <small>赤木 定</small>	西栗倉小学校トイレ改修工事	電気設備工事	SCALE A1→1:100 A3→1:200 E 10
	体育館棟 コンセント設備 1階平面図 (既設・改修)		





男子便所
キ: LED40形埋込型 x 1
・再取付

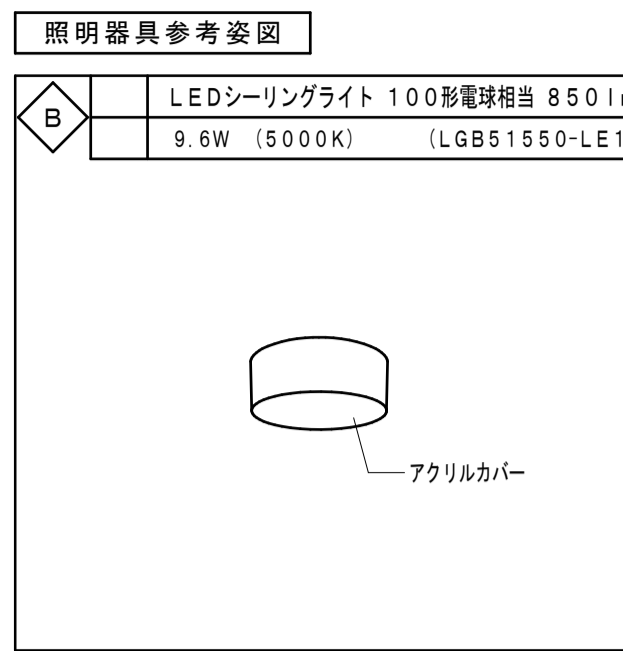
女子便所
キ: LED40形埋込型 x 1
・再取付

*洋便器コンセントはウォームレット用

改修 プール棟 トイレ

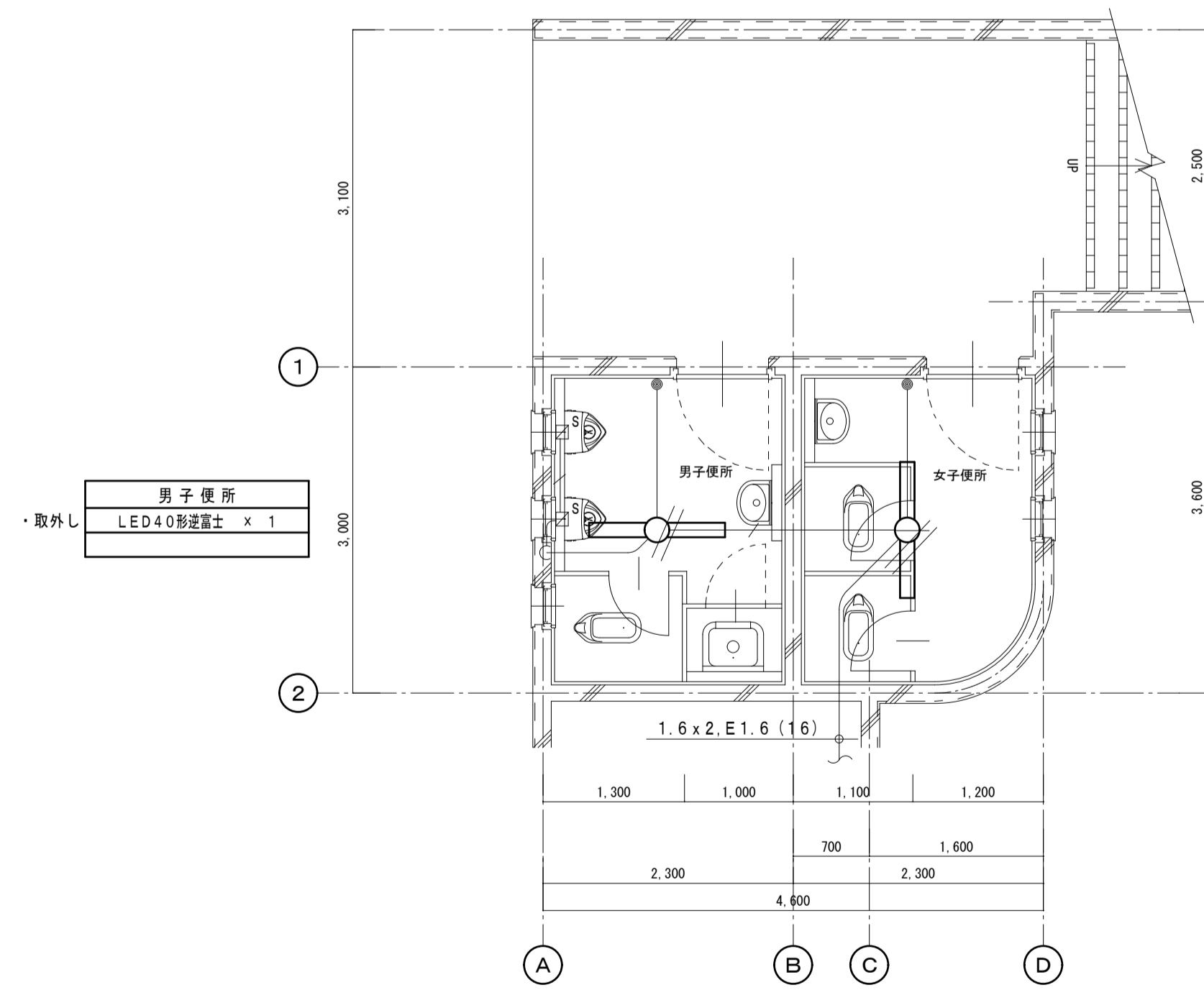
※改修凡例

- ・ 図中表示にて、太線表示は改修、新設を表す。
- 細線表示、キ: 表示は既設を示す。
- (再): 表示は既設品再取付を示す。



注) 図中記入なき配線は下記とする。

- (MA)--- EEF 1.6-3C (1C,E) (MA)
- (MA)--- EEF 1.6-2C (MA)
- マタルモールジャンクションボックス (MA)
- キ: 1V1.6x2.E1.6 (キ:16)
- ⊗ カバープレート 角 金属製
- ⓂEG 埋込コンセント 2P15A, E x 1-ET 樹脂ガードプレート共
- キ 既設埋込スイッチ 1P15Ax1 金属P共



男子便所
LED40形埋込型 x 1
・取外し

女子便所
LED40形埋込型 x 1
・取外し

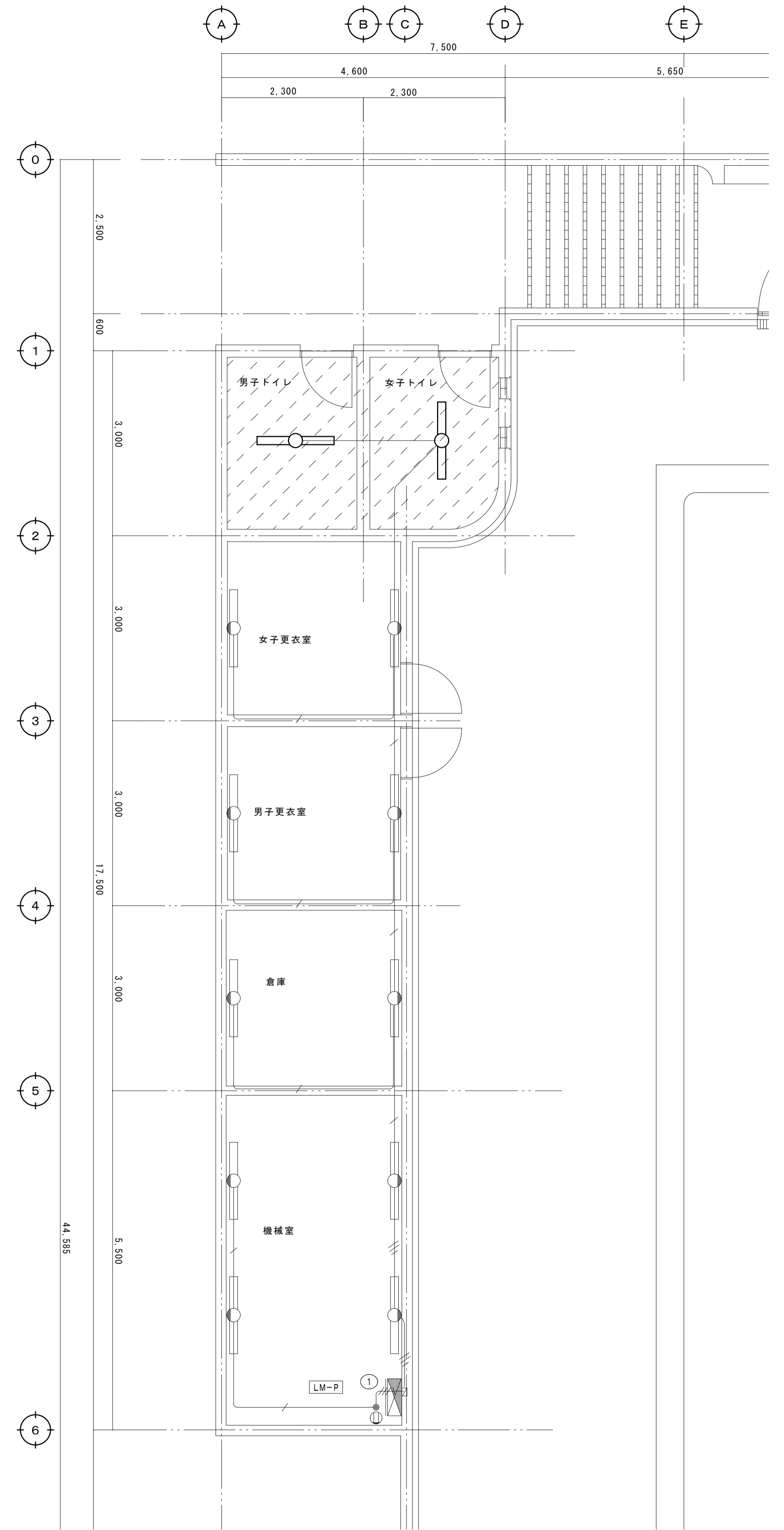
撤去 プール棟 トイレ

※撤去凡例

- ・ 図中、細線表示は既設を表し、太線部は改修部分を示す。
- ・ 図中表示にて、⊗ 印 及び * 抜線 * 撤去 は既設品撤去を示し
- /// 印 及び ・ 取外し ・ 再撤 は既設品撤去再使用を示す。

注) 図中記入なき配線は下記とする。

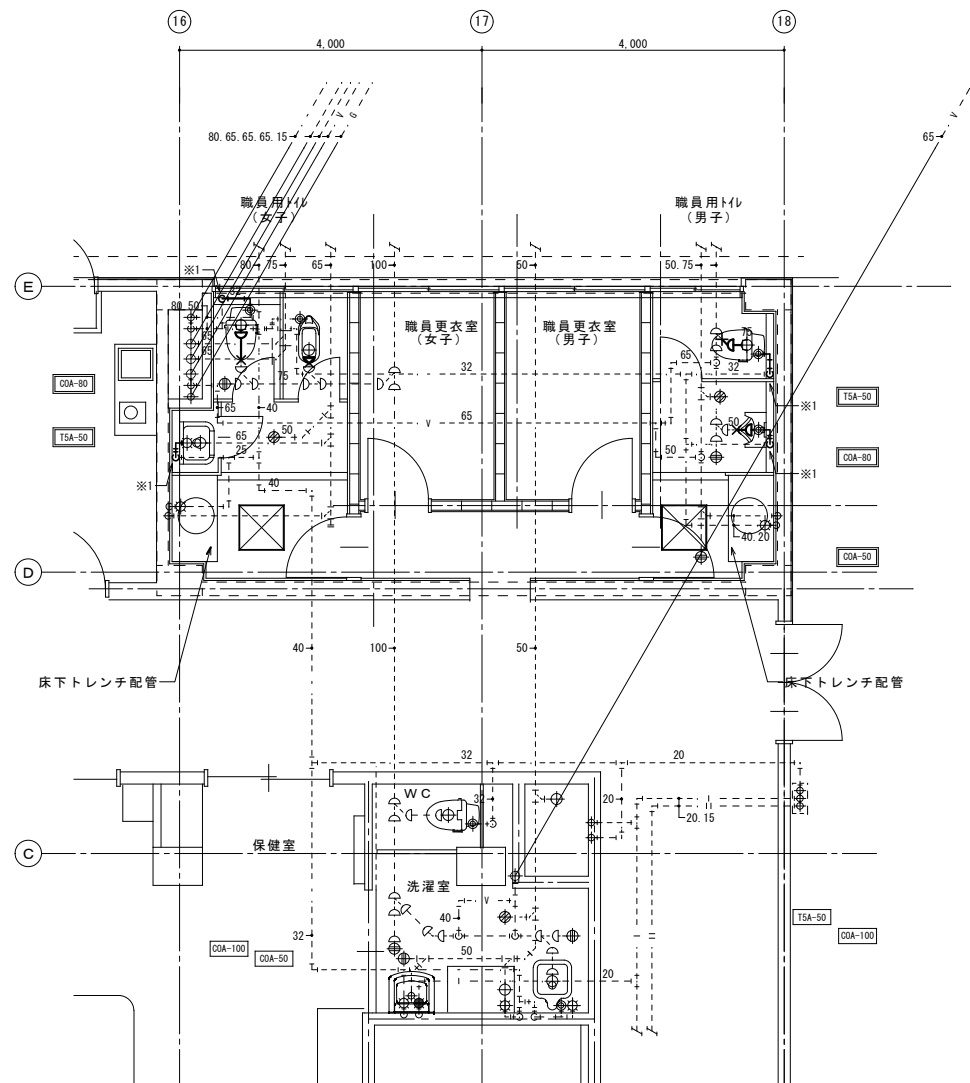
- 1V1.6x2.E1.6 (16)
- 埋込スイッチ 1P15Ax1 金属P共



プール棟 平面図 S:1/50

衛生器具リスト

器具名称	参考型番	仕様	計	1階			2階			3階			体育館			プール		
				生徒用 女子トイレ	生徒用 男子トイレ	生徒用 バリアフリートイレ	職員用 女子トイレ	職員用 男子トイレ	保健室	生徒用 女子トイレ	生徒用 男子トイレ	生徒用 バリアフリートイレ	生徒用 女子トイレ	生徒用 男子トイレ	生徒用 バリアフリートイレ	女子トイレ	男子トイレ	バリアフリートイレ
腰掛大便器(掃除口付)	TOTO : CFS494MCHNA LIXIL : C-P25HM	リモデル、壁給水(手動FV式)、TCF588(蓋有り洗浄便座本体操作、擬音装置付、AC100V-314W)、他付属品共	5				2	1	1							1		
腰掛大便器(掃除口付)	TOTO : CFS494MCHNS LIXIL : C-P25HM	リモデル、床給水(手動FV式)、TCF588(蓋有り洗浄便座本体操作、擬音装置付、AC100V-314W)、他付属品共	17	2	2					2	2		2	2		2		1
紙巻器	TOTO : YH702 LIXIL : CF-63HST	棚付二連・ワンタッチ	26	2	2	1	2	1	1	2	2	1	2	2	1	2	1	1
L型手すり	TOTO : T112CL9-1 LIXIL : KF-920AE70D12	固定金具共、樹脂被覆、L形手すり 出幅調整	8	1	1					1	1		1	1		1	1	
I型手すり	TOTO : T112C4 LIXIL : KF-910AE40J	固定金具共、樹脂被覆、I形手すり 400 出幅調整	8	1	1					1	1		1	1		1	1	
小便器	TOTO : UFS900R LIXIL : U-A51MP	壁掛低リップタイプ、自動洗浄小便器(AC100V)	12		3			1			3		3			2		
小便器	TOTO : UFS910 LIXIL : U-A31AP	床置き、自動洗浄小便器(AC100V)、リモデル給水セット(HM910L)	1															1
小便器用手すり	TOTO : T112CU22 LIXIL : KF-701AEJ	T110D36×2、T110D44×4 KF-D21×2、KF-D45×4	1													1		
洗面器	TOTO : L351CM LIXIL : L215OCL	TLE28SA1A(自動単水栓1-100V)、TLDP2201J、TLK05202J(水石けん供用栓) AM-300V1(自動単水栓1-100V)、LF-WN7PF、KF-24EM(水石けん供用栓)	16	2	2		1	1		2	2		2	2		1	1	
同上カウンター	建築工事																	
洗面器	TOTO : L210C LIXIL : L-132G	TL01101J(単水栓)、TLDP2105JA、TL4CFU、TL250D、水石鹸入れなし LF-E02(単水栓)、LF-3G(360)K、LF-4PAL、LF-6L、SF-10E、水石鹸入れなし	2															1
化粧鏡	TOTO : YM4560F LIXIL : KF-4560A	450×600H 耐食鏡 457×610H 耐食鏡	17	2	2		1	1	1	2	2		2	2		1	1	
腰掛大便器(掃除口付)	TOTO : CFS494MCHNS LIXIL : C-P25HM	リモデル、床給水(自動FV、AC100V)、TCF584AUP(蓋無洗浄便座、金属プレートAV100V-1,260W)、洗浄スイッチ、付属品共 ※便座一般高さ リモデル、床給水(自動FV、AC100V)、CW-PC12-NECK(蓋無洗浄便座、金属プレートAV100V-1,300W)、洗浄スイッチ、付属品共 ※便座一般高さ	4			1						1		1		1		
擬音装置	TOTO : YES400DR LIXIL : KS-623	露出タイプ(乾電池)	4			1						1		1			1	
背もたれ	TOTO : EWC385GR LIXIL : KFC-270T1U	ソフトタイプ、固定金具共	4			1						1		1			1	
L型手すり	TOTO : T112CL11 LIXIL : KF-926AE80D25	固定金具共、樹脂被覆、L形手すり 800×800	4			1						1		1			1	
I型手すり	TOTO : T115C6 LIXIL : KF-910AE60J	固定金具共、樹脂被覆、I形手すり L=600	1						1									
可動手すり	TOTO : T112HK7R LIXIL : KF-471EH70JU	固定金具共、樹脂被覆、可動手すり L=700	4			1						1		1			1	
埋込手洗器	TOTO : LSE570APR LIXIL : AWL-71U2AMP	自動単水栓(1-100V)、床給水、床排水、トラップカバー無し	1															1
洗面器	TOTO : L270DM LIXIL : L-275FCRS	TLE28SS1A(自動単水栓1-100V)、TLDP2105J、T6PM1、TL 220D、TLK05202J(水石けん供用自動単水栓(1-100V)) AM-300CV1(自動単水栓1-100V)、LF-105PA、SF-10E、KF-30DN、KF-24EM(水石けん供用栓)自動単水栓(1-100V)	4			1						1		1				1
化粧鏡	TOTO : YM4575F LIXIL : KF-5075A	450×750H 耐食鏡 508×764H 耐食鏡	4			1						1		1			1	
掃除流し	TOTO : SK22A LIXIL : S-202A	TK22、T23AE20G、TN114、T9R、HH04060×2、T375GEP LF-7KEZ-19、SF-20SAF-P、SF-10E、SF-202	9	1	1		1			1	1		1	1		1		1
洗面化粧台	TOTO : LDSF075BAGDN1W LIXIL : AR3N-755SY	LMFS075B3GLC1G 湯水止水栓、Pトラップ※湯水は、既設給湯器より供給 MARS2-753TXSU 湯水止水栓、Pトラップ※湯水は、既設給湯器より供給	1						1									
掃除兼用トラップ	T5AF-C0DD-50		14	1	1	1	1	1		1	1	1	1	1	1	1	1	

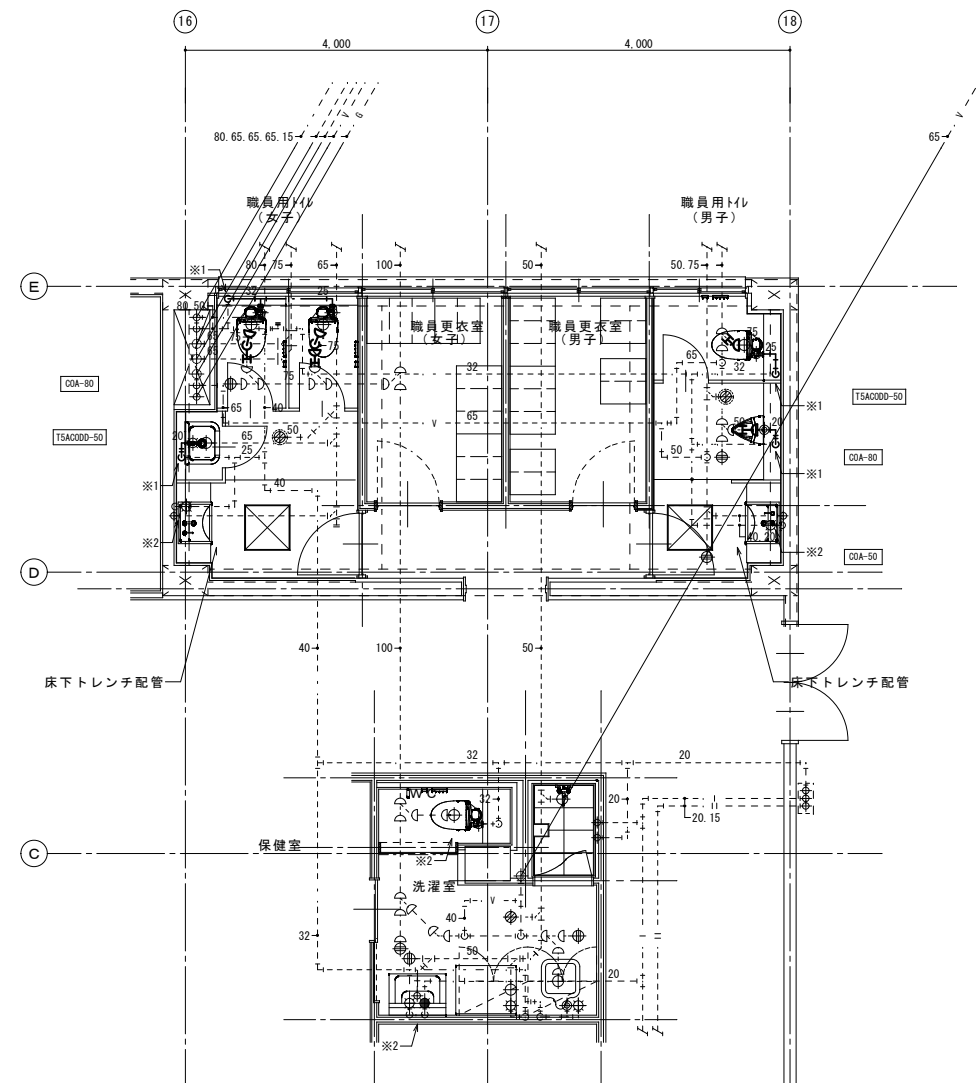


撤去 給排水衛生設備 1階職員、保健室トイレ配管詳細図 1:50

※不要な配管撤去貫通部穴埋め補修：本工事
 ※1：スラブ上にて既存配管切断を示す

【凡例】

	撤去部分・配管を示す
	残置部分・配管を示す
	排水金物撤去を示す
	配管撤去貫通部穴埋め補修箇所

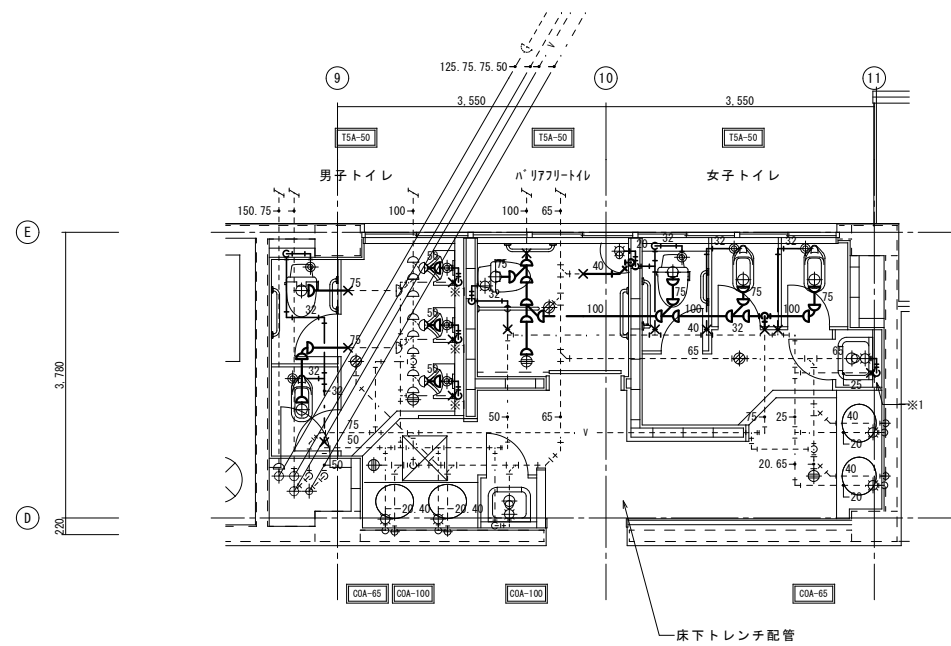


改修 給排水衛生設備 1階職員、保健室トイレ配管詳細図 1:50

※不要な配管撤去貫通部穴埋め補修：本工事
 ※1：スラブ上にて既存配管接続を示す
 ※2：既設器具配管へ接続を示す

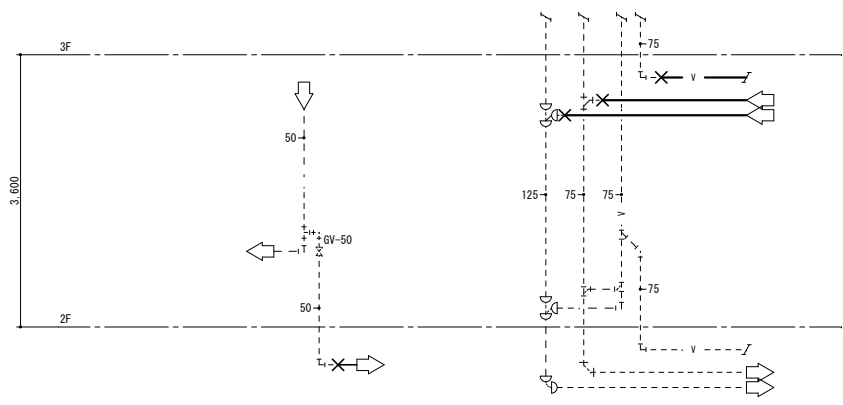
【凡例】

	新設部分・配管を示す
	既設部分・配管を示す
	既設排水金物取替を示す
	配管貫通部穴埋め補修箇所



撤去 給排水衛生設備 1階配管詳細図 1:50

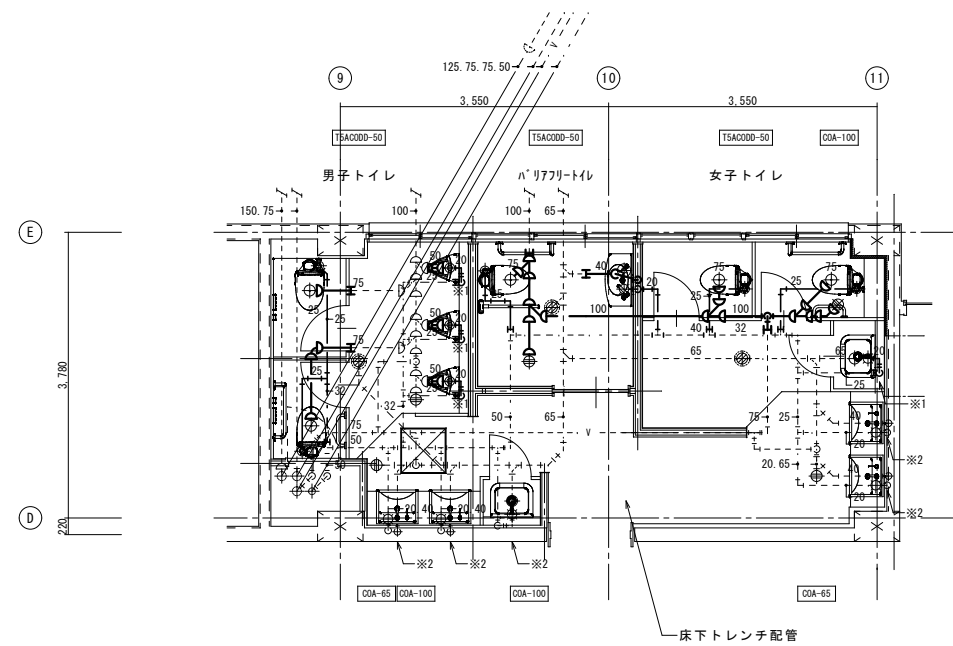
※不要な配管撤去貫通部穴埋め補修：本工事
 ※1：スラブ上にて既存配管切断を示す



撤去 配管系統図

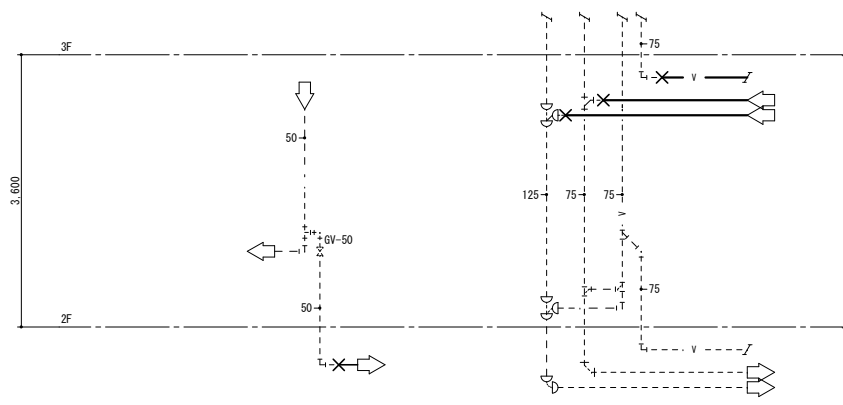
【凡例】

	撤去部分・配管を示す
	残置部分・配管を示す
	排水金物撤去を示す
	配管撤去貫通部穴埋め補修箇所



改修 給排水衛生設備 1階配管詳細図 1:50

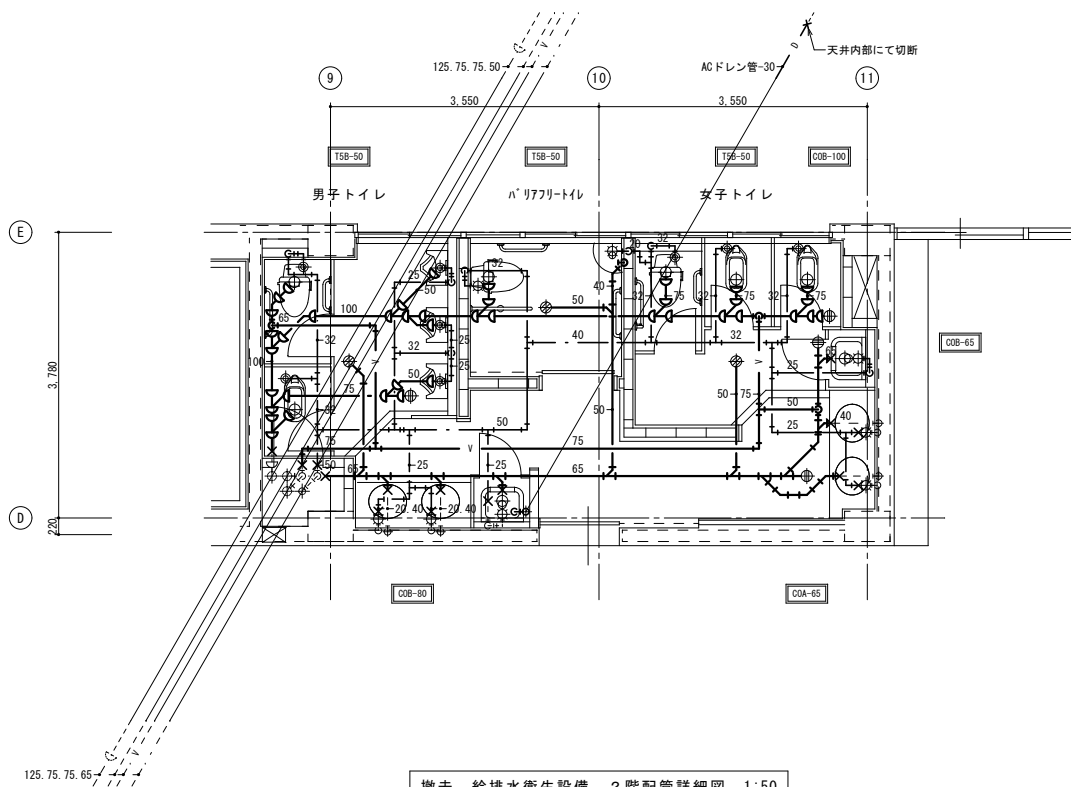
※不要な配管撤去貫通部穴埋め補修：本工事
 ※1：スラブ上にて既存配管接続を示す
 ※2：既設器具配管へ接続を示す



改修 配管系統図

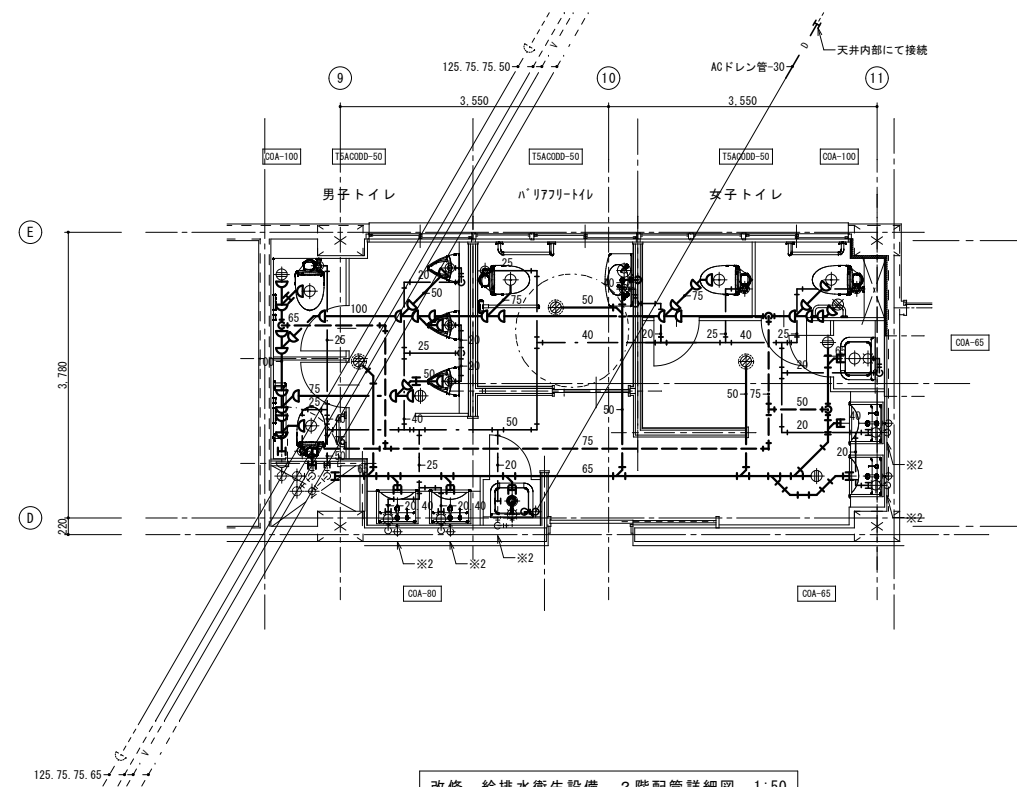
【凡例】

	新設部分・配管を示す
	既設部分・配管を示す
	既設排水金物取替を示す
	配管貫通部穴埋め補修箇所



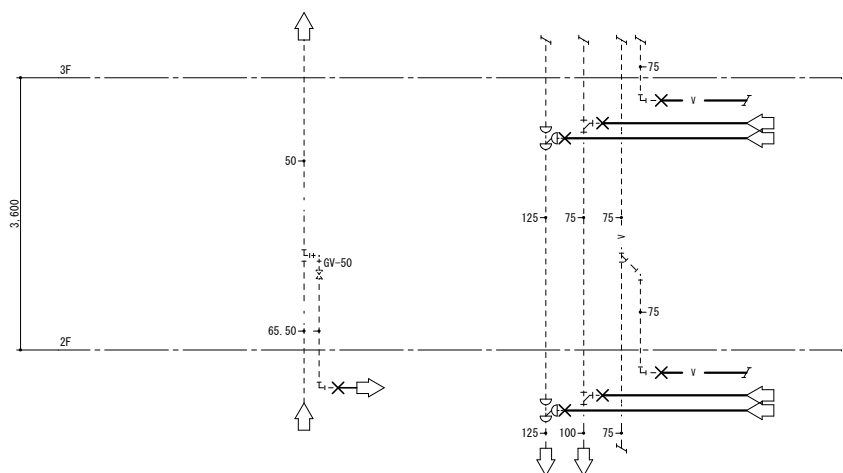
撤去 給排水衛生設備 2階配管詳細図 1:50

※不要な配管撤去貫通部穴埋め補修：本工事
※1：スラブ上にて既存配管切断を示す

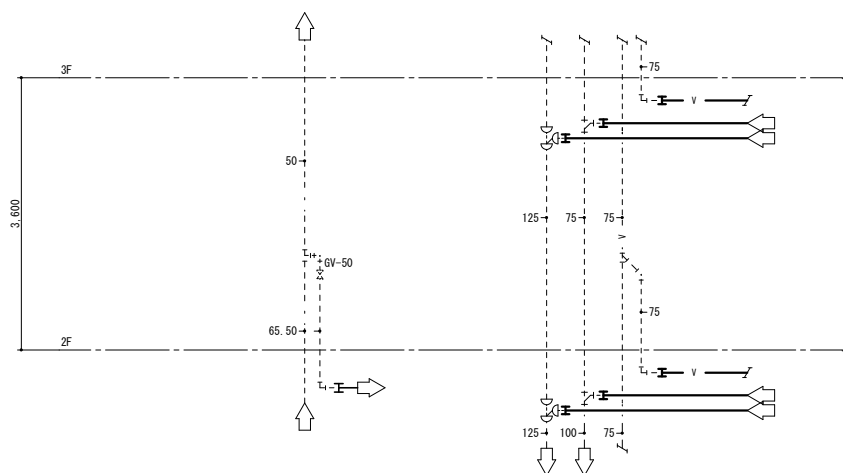


改修 給排水衛生設備 2階配管詳細図 1:50

※不要な配管撤去貫通部穴埋め補修：本工事
※1：スラブ上にて既存配管接続を示す
※2：既設器具配管へ接続を示す



撤去 配管系統図



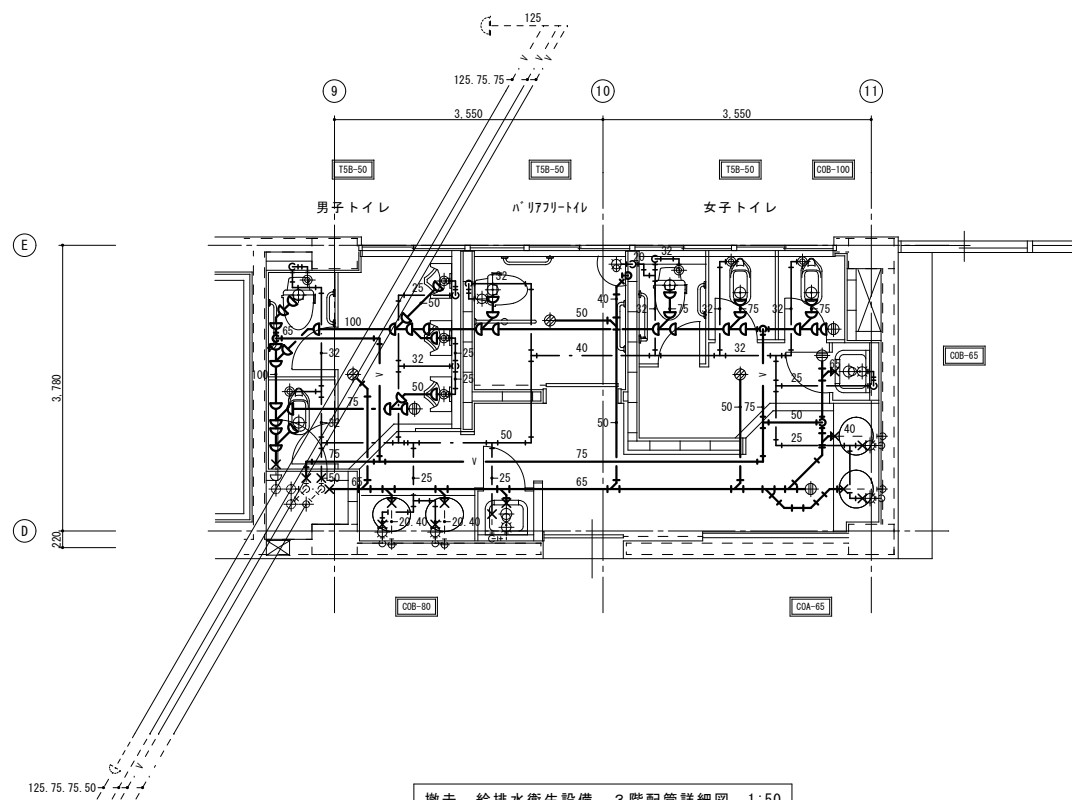
改修 配管系統図

【凡例】

	撤去部分・配管を示す
	残置部分・配管を示す
	排水金物撤去を示す
	配管撤去貫通部穴埋め補修箇所

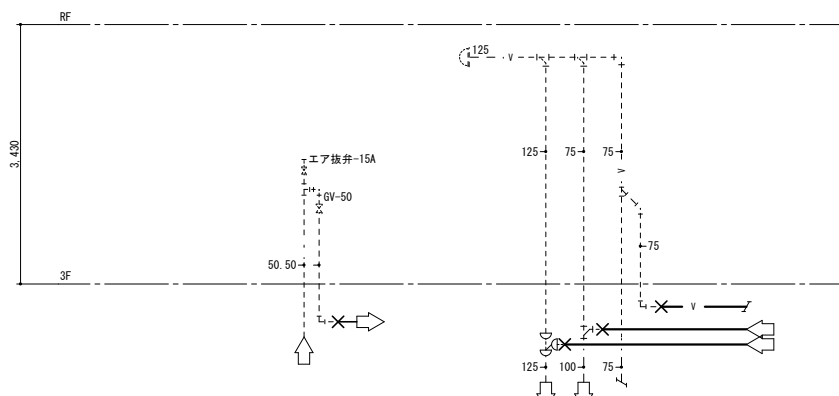
【凡例】

	新設部分・配管を示す
	既設部分・配管を示す
	既設排水金物取替を示す
	配管貫通部穴明け補修箇所



撤去 給排水衛生設備 3階配管詳細図 1:50

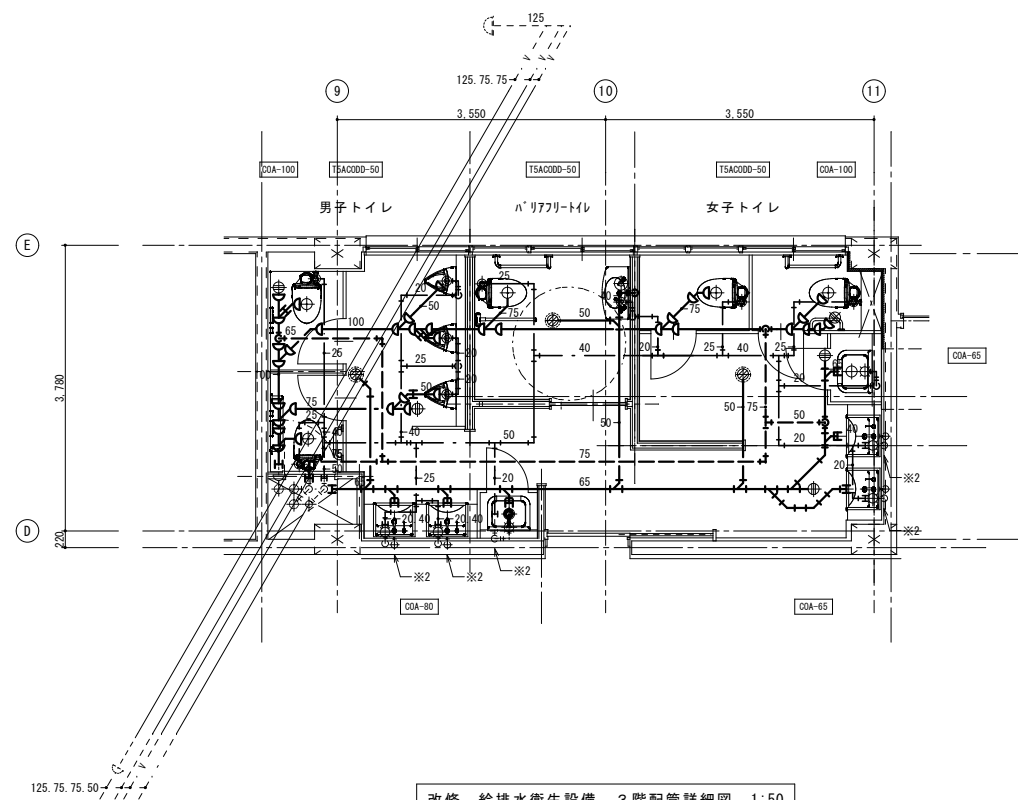
※不要な配管撤去貫通部穴埋め補修：本工事
 ※1：スラブ上にて既存配管切断を示す



撤去 配管系統図

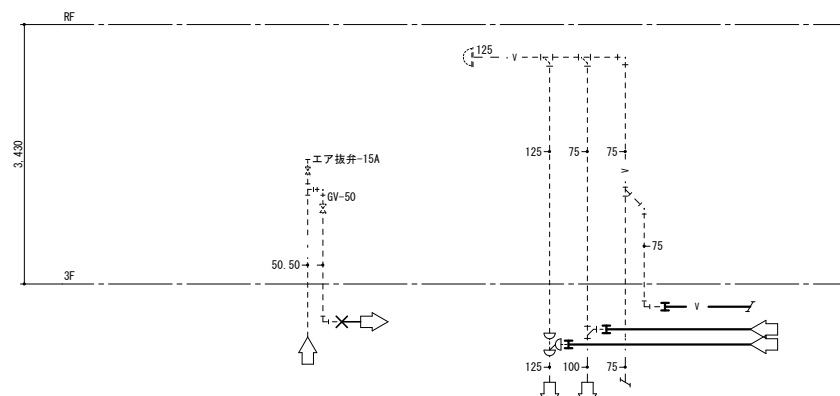
【凡例】

	撤去部分・配管を示す
	残置部分・配管を示す
	排水金物撤去を示す
	配管撤去貫通部穴埋め補修施工箇所



改修 給排水衛生設備 3階配管詳細図 1:50

※不要な配管撤去貫通部穴埋め補修：本工事
 ※1：スラブ上にて既存配管接続を示す
 ※2：既設器具配管へ接続を示す



改修 配管系統図

【凡例】

	新設部分・配管を示す
	既設部分・配管を示す
	既設排水金物取替を示す
	配管貫通部穴明け補修施工箇所

撤去 衛生器具リスト (生徒用便所)

器具名称	仕様	計	1階			2階			3階		
			女子便所	男子便所	多目的便所	女子便所	男子便所	多目的便所	女子便所	男子便所	多目的便所
和風大便器(掃除口付)	F V、紙巻器共 C750VC、TV750CMR、YH51、付属品	9	2	1		2	1		2	1	
洋風大便器	F V、紙巻器共 C14、TV750LMR、YH51、付属品	6	1	1		1	1		1	1	
L型手すり	L形手すり 700×700	6	1	1		1	1		1	1	
I型手すり	I形手すり 400	6	1	1		1	1		1	1	
小便器	US610C	9		3			3			3	
小便器用手すり	T110BU2										
洗面器	カウンター洗面器 L581BA、TLP12AAX、付属品	12	2	2		2	2		2	2	
洗面器	壁掛洗面器 L230S、T205、TS126AR、付属品										
掃除流し	床排水型 SK22A、付属品共	6	1	1		1	1		1	1	
洗面化粧台	洗面器										
洋風大便器	F V、紙巻器共 C48、TV750SMR、YH51、付属品	3			1			1			1
I型手すり	I形手すり 600	3			1			1			1
I型手すり	I形手すり 1000	3			1			1			1
稼動手すり		3			1			1			1
隅付洗面器	隅付洗面器 L230S、T205、TS126AR、付属品	3			1			1			1

撤去 衛生器具リスト (体育館)

器具名称	仕様	計	女子便所	男子便所	多目的便所
洋風大便器	ロータンク、紙巻器共 CS80BM、SS90BNML、YH51、付属品	2	1	1	
洋風大便器	F V、紙巻器共 C14、TV750LMR、YH51、付属品	2	1	1	
L型手すり	L形手すり 700×700	2	1	1	
I型手すり	I形手すり 400	2	1	1	
小便器	US610C	3		3	
小便器用手すり	T110BU2	1		1	
洗面器	カウンター洗面器 L581BA、TLP12AAX、付属品	2	1	1	
掃除流し	床排水型 SK22A、付属品共	1		1	

撤去 衛生器具リスト (職員便所)

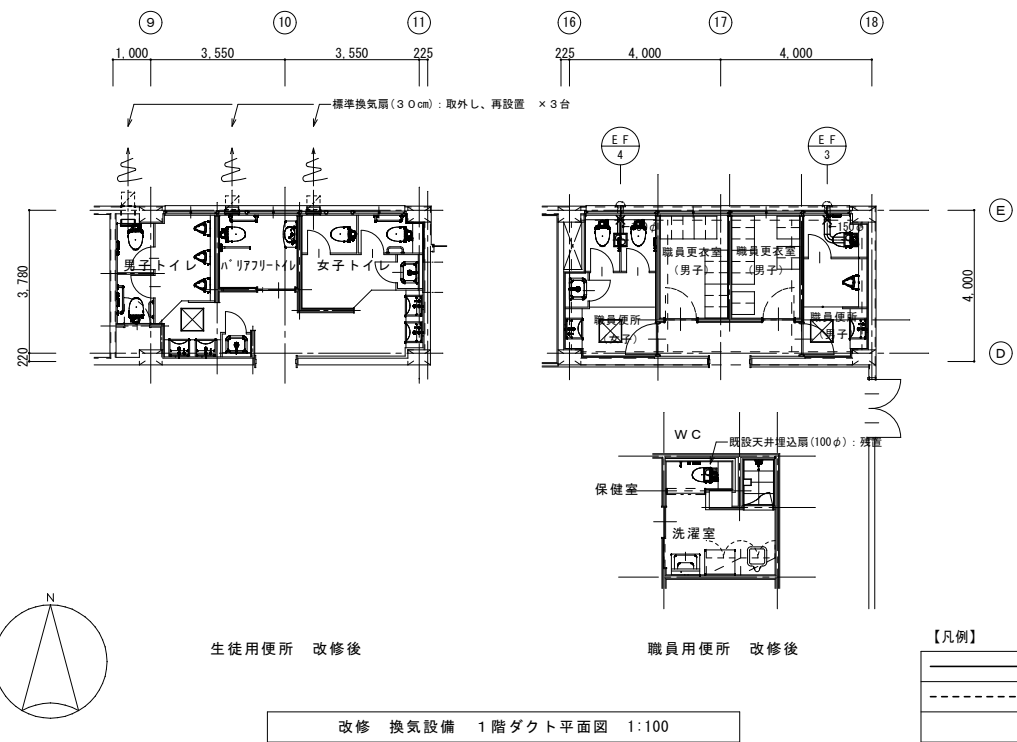
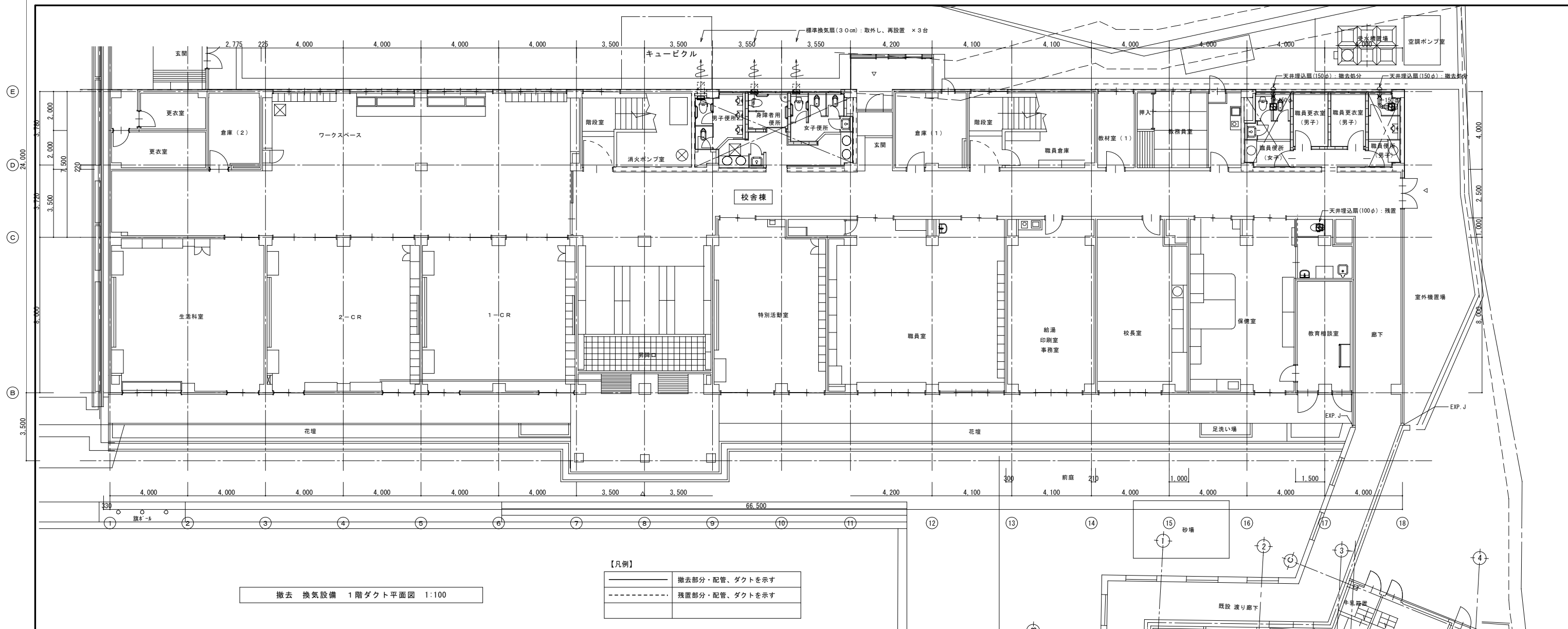
器具名称	仕様	計	女子便所	男子便所	多目的便所
和風大便器(掃除口付)	F V、紙巻器共 C750VC、TV750CMR、YH51、付属品	1	1		
洋風大便器	F V、紙巻器共 C14、TV750LMR、YH51、付属品	2	1	1	
小便器	US610C	1		1	
洗面器	カウンター洗面器 L581BA、TLP12AAX、付属品	2	1	1	
掃除流し	床排水型 SK22A、付属品共	1	1		

撤去 衛生器具リスト (保健室)

器具名称	仕様	計	保健室便所	保健室洗濯室
洋風大便器	F V、紙巻器共 C14、TV750LMR、YH51、付属品	1	1	
洗面化粧台	洗面器	1		1

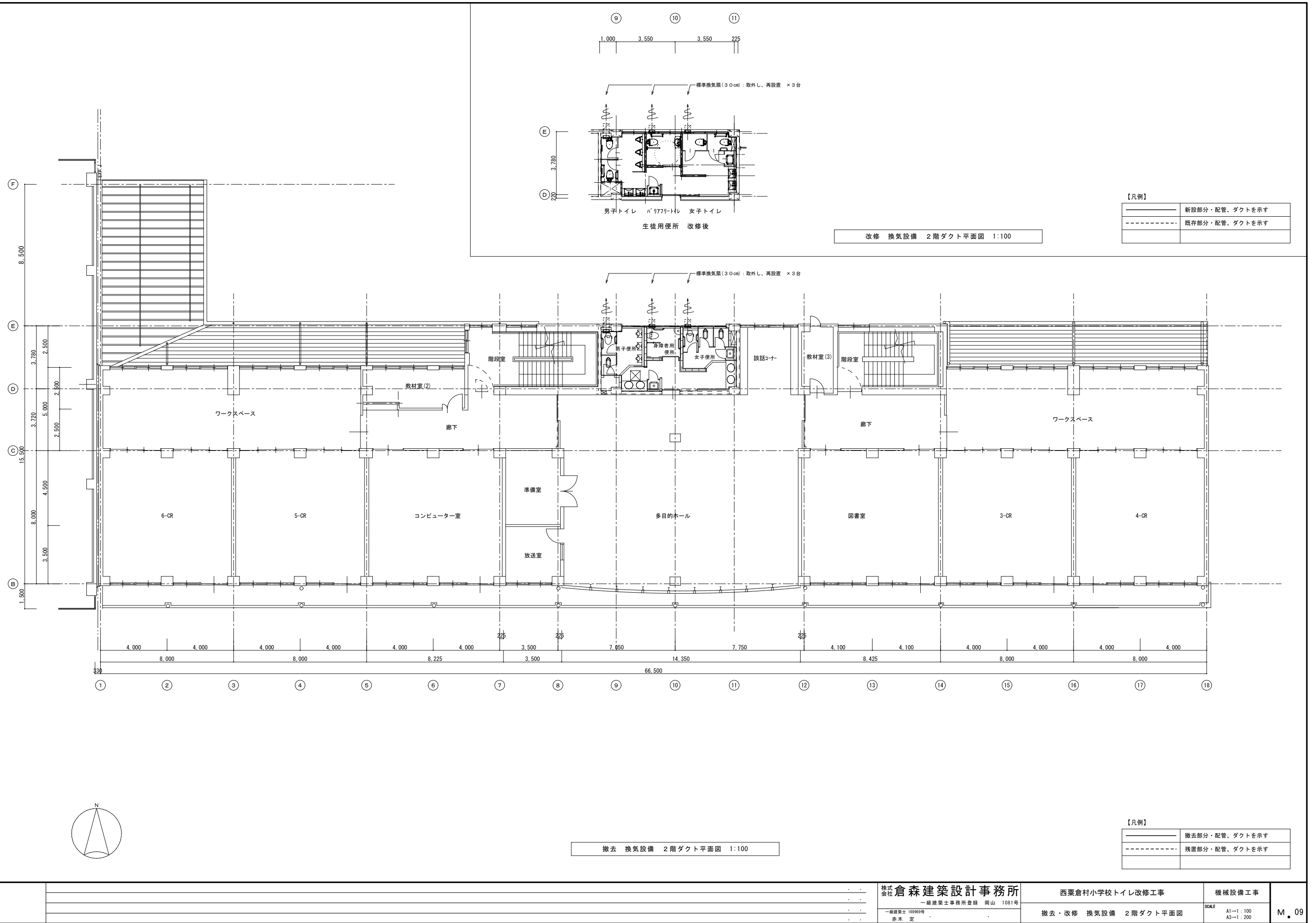
撤去 衛生器具リスト (プール)

器具名称	仕様	計	女子便所	男子便所	多目的便所
和風大便器(掃除口付)	F V、紙巻器共 C750VC、TV750CMR、YH51、付属品	3	2	1	
小便器	US610C	2		2	
洗面器	壁掛洗面器 L230S、T205、TS126AR、付属品	2	1	1	
掃除流し	床排水型 SK22A、付属品共	1		1	

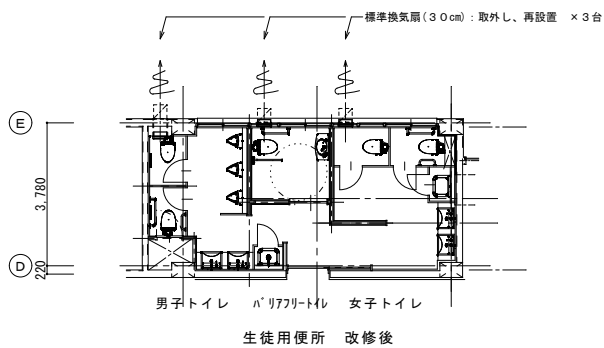


換気設備機器リスト

記号	機器名称	参考型番	数量	型式・仕様	電気容量		備考
					電源	消費電力	
EF-1	天井埋込扇	150φ	2	低騒音タイプ Q= 200 CMH × 40 pa	1-100	29.5 W	体育館：女子トイレ、男子トイレ
EF-2	パイプファン	150φ	1	電気式シャッター式 Q= 80 CMH × 10 pa 電気式シャッター、電源コード(プラグ付)、深形フード(SUS製-150φ)	1-100	6.5 W	体育館：n'リフトトイレ
EF-3	天井埋込扇	150φ	1	低騒音タイプ Q= 200 CMH × 40 pa	1-100	29.5 W	職員男子トイレ
EF-4	天井埋込扇	150φ	1	低騒音タイプ Q= 250 CMH × 40 pa	1-100	49.0 W	職員女子トイレ



⑨ ⑩ ⑪
1,000 3,550 3,550 225

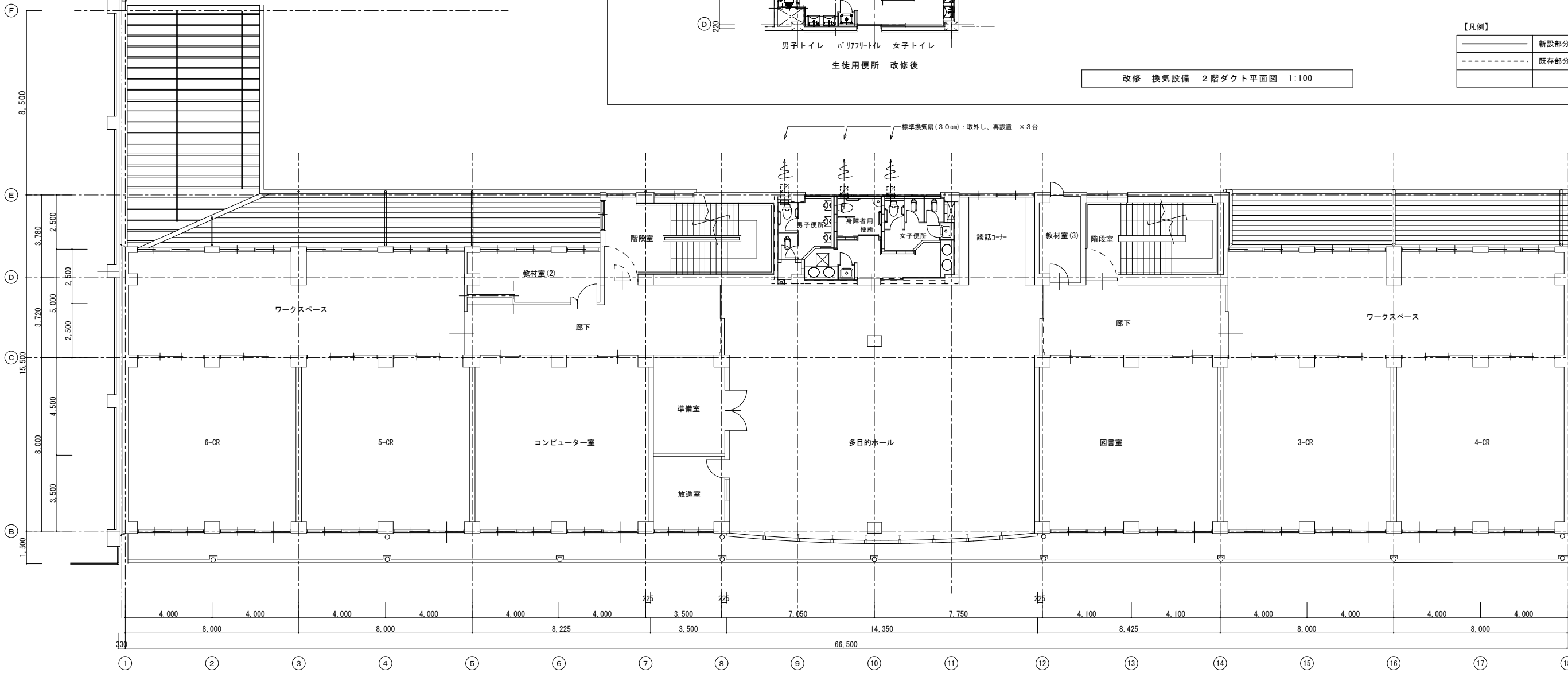


改修 換気設備 2階ダクト平面図 1:100

【凡例】

—	新設部分・配管、ダクトを示す
- - -	既存部分・配管、ダクトを示す

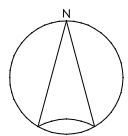
標準換気扇(30cm): 取外し、再設置 × 3台

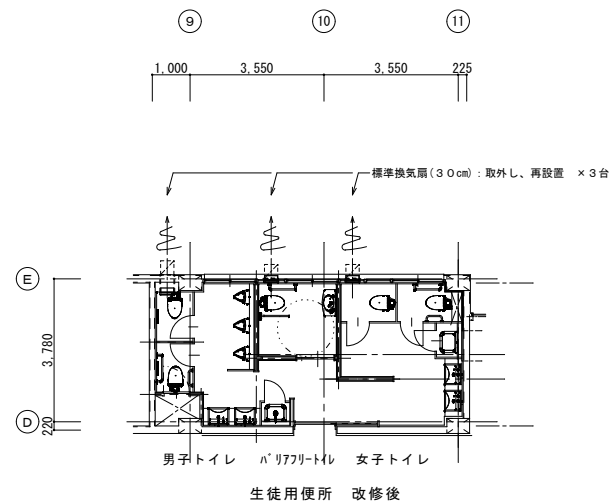


撤去 換気設備 2階ダクト平面図 1:100

【凡例】

—	撤去部分・配管、ダクトを示す
- - -	残置部分・配管、ダクトを示す

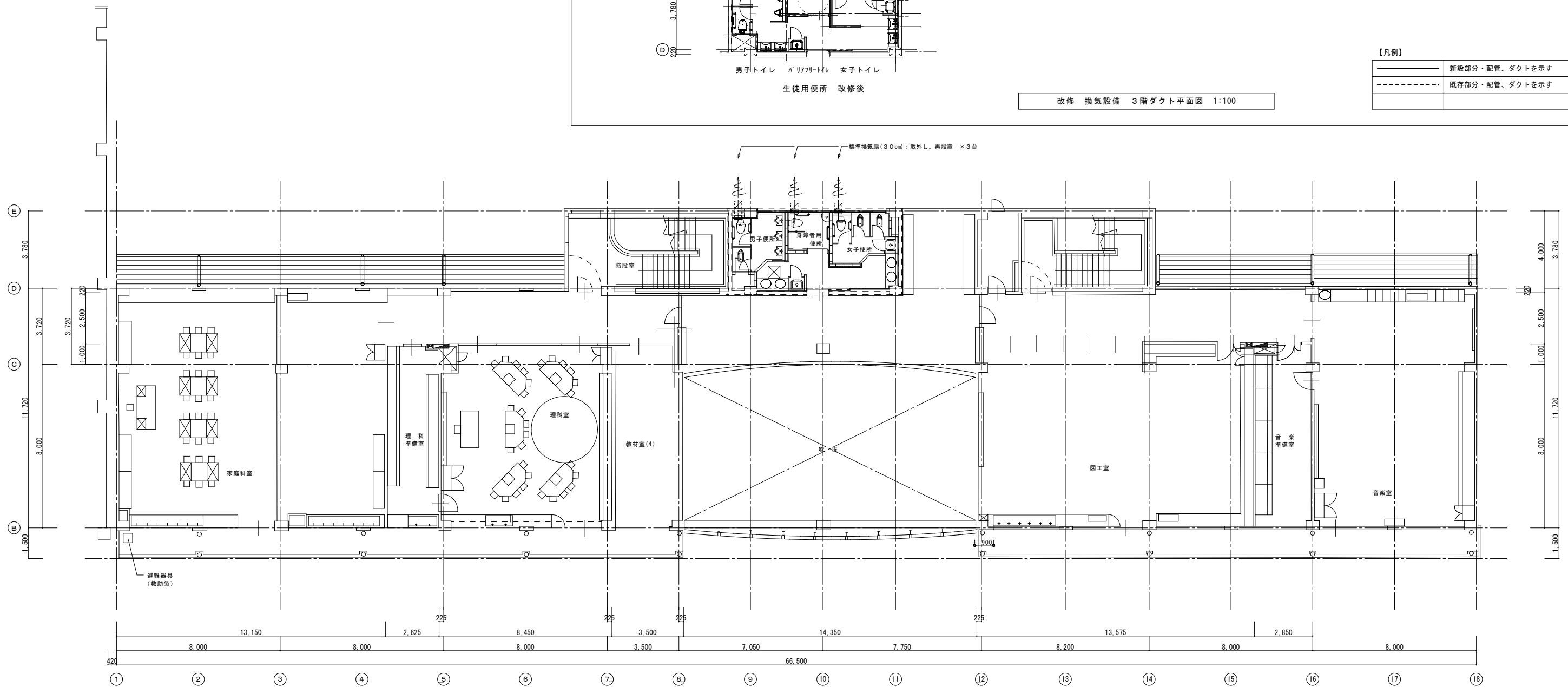




改修 換気設備 3階ダクト平面図 1:100

【凡例】

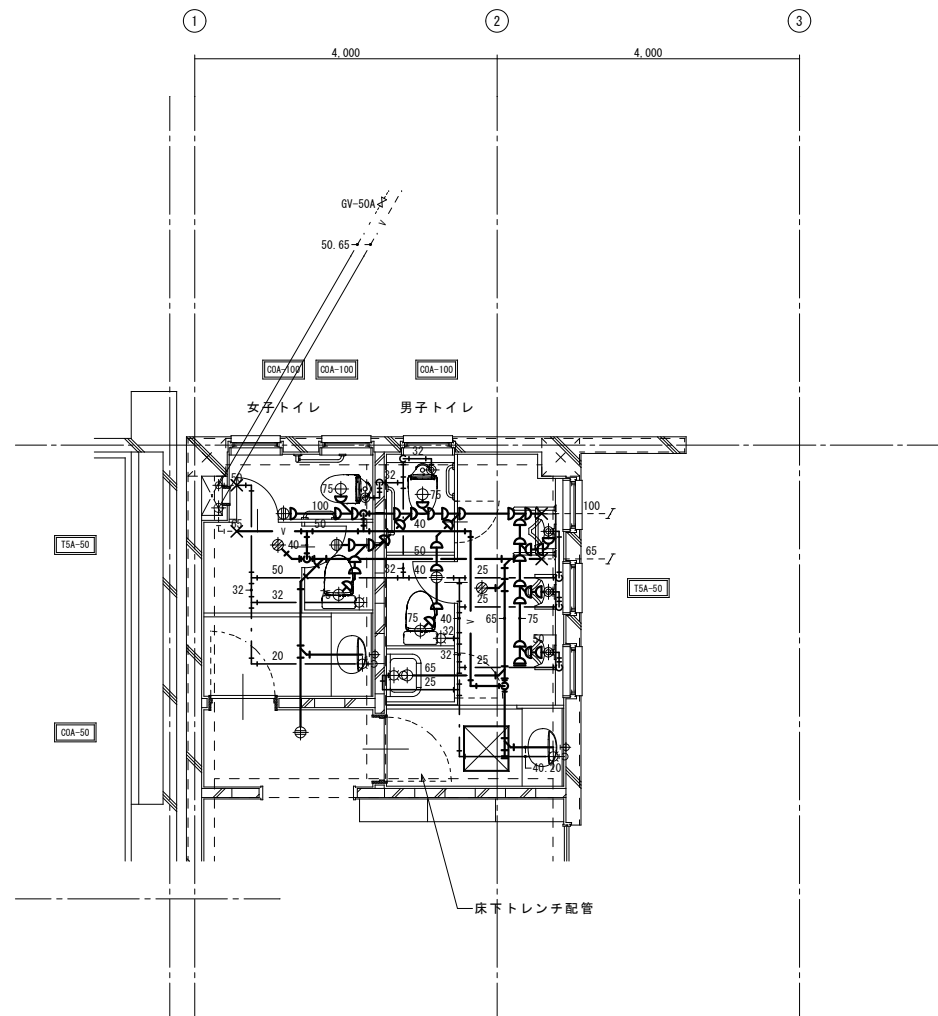
— (solid line)	新設部分・配管、ダクトを示す
- - - (dashed line)	既存部分・配管、ダクトを示す



撤去 換気設備 3階ダクト平面図 1:100

【凡例】

— (solid line)	撤去部分・配管、ダクトを示す
- - - (dashed line)	残置部分・配管、ダクトを示す

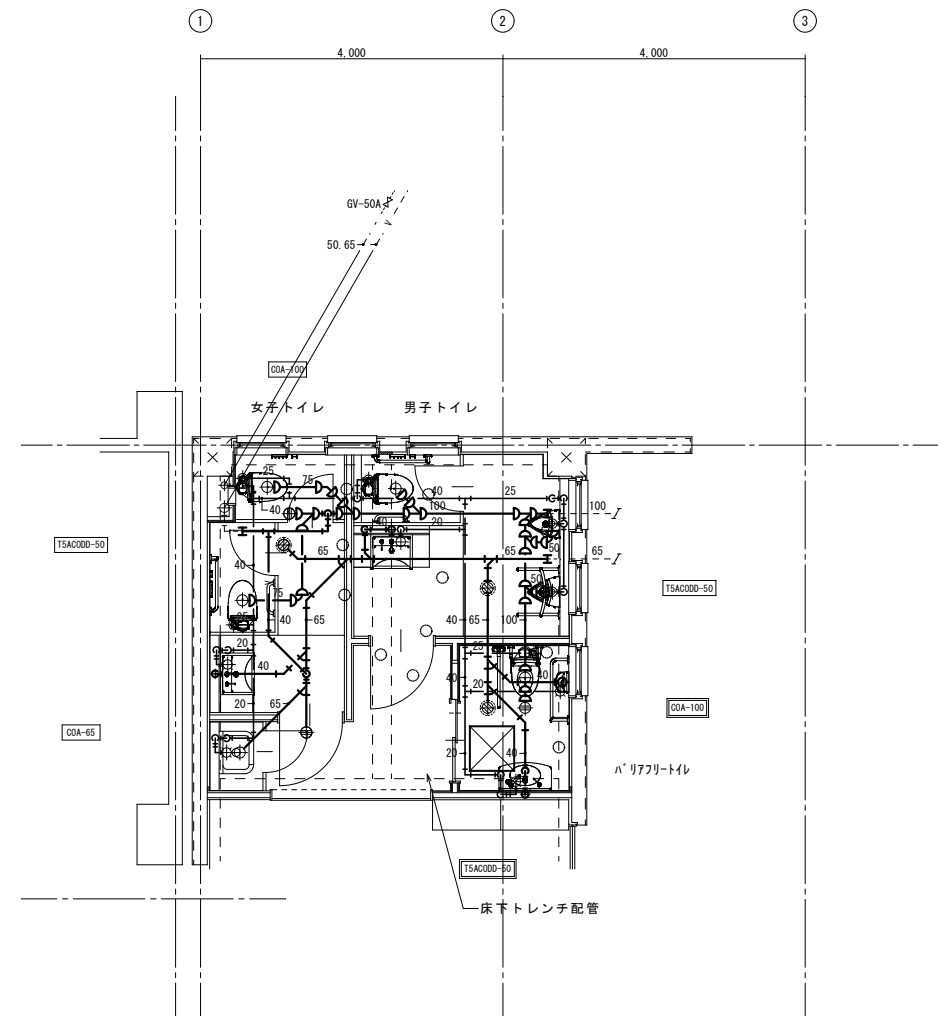


撤去 給排水衛生設備 体育館配管詳細図 1:50

※不要な配管撤去貫通部穴埋め補修：本工事
 ※1：スラブ上にて既存配管接続を示す

【凡例】

	撤去部分・配管を示す
	残置部分・配管を示す
	排水金物撤去を示す
	配管撤去貫通部穴埋め補修箇所

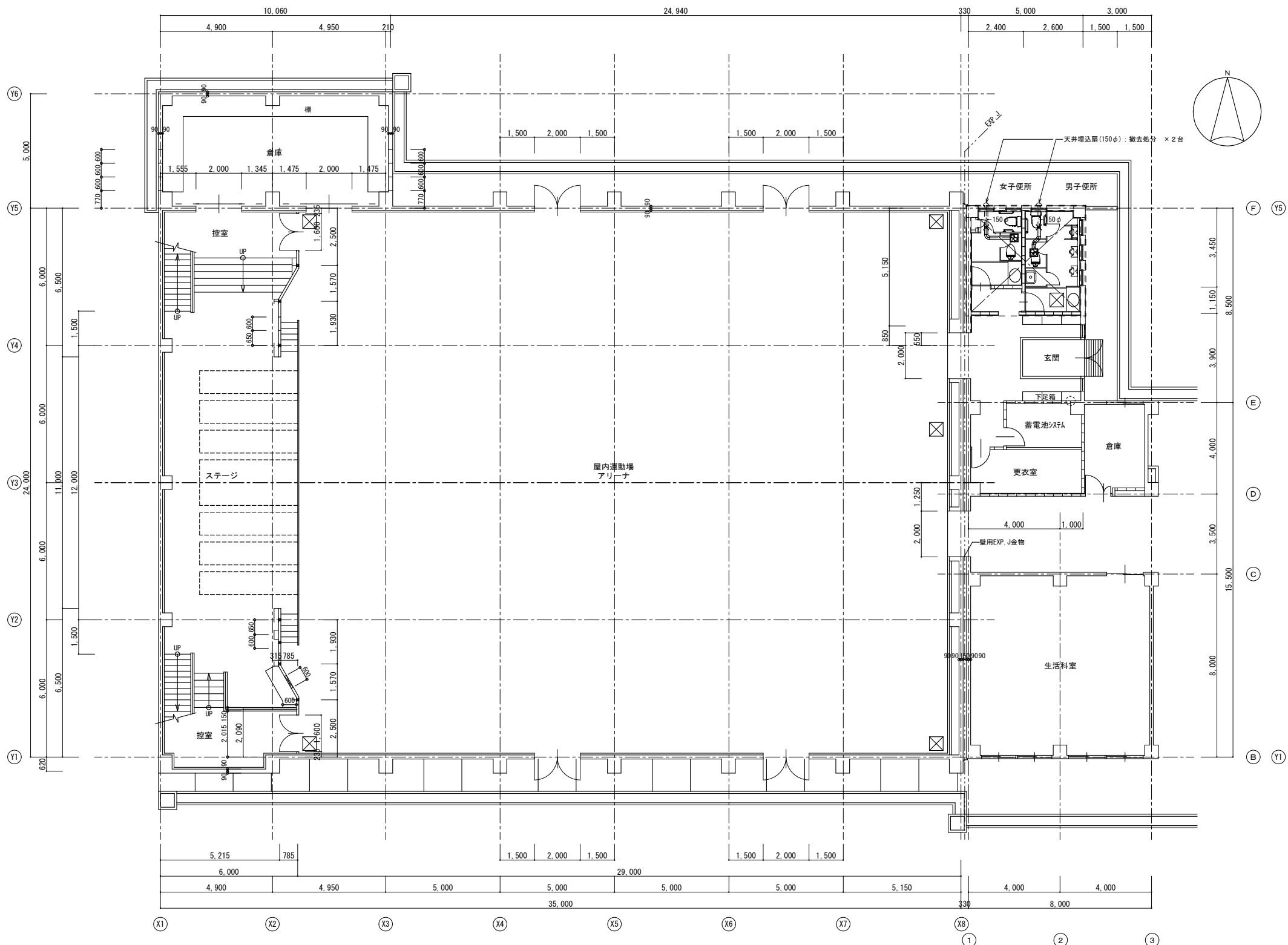


改修 給排水衛生設備 体育館配管詳細図 1:50

※不要な配管撤去貫通部穴埋め補修：本工事
 ※1：スラブ上にて既存配管接続を示す
 ※2：既設器具配管へ接続を示す

【凡例】

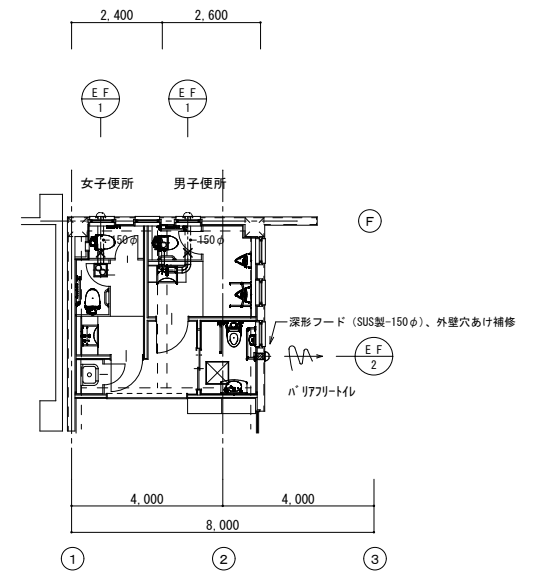
	新設部分・配管を示す
	既設部分・配管を示す
	既設排水金物取替を示す
	配管貫通部穴明け補修箇所



撤去 換気設備 体育館ダクト平面図 1:100

【凡例】

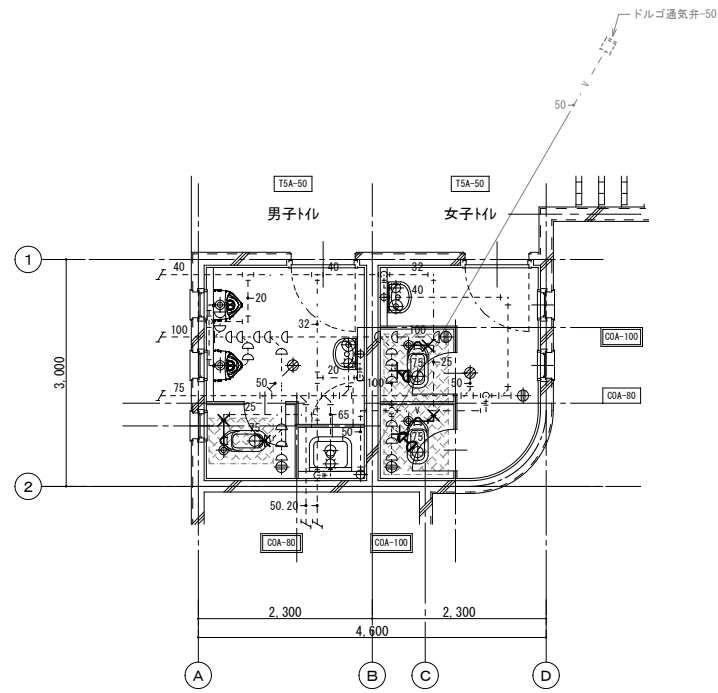
	撤去部分・配管、ダクトを示す
	残置部分・配管、ダクトを示す



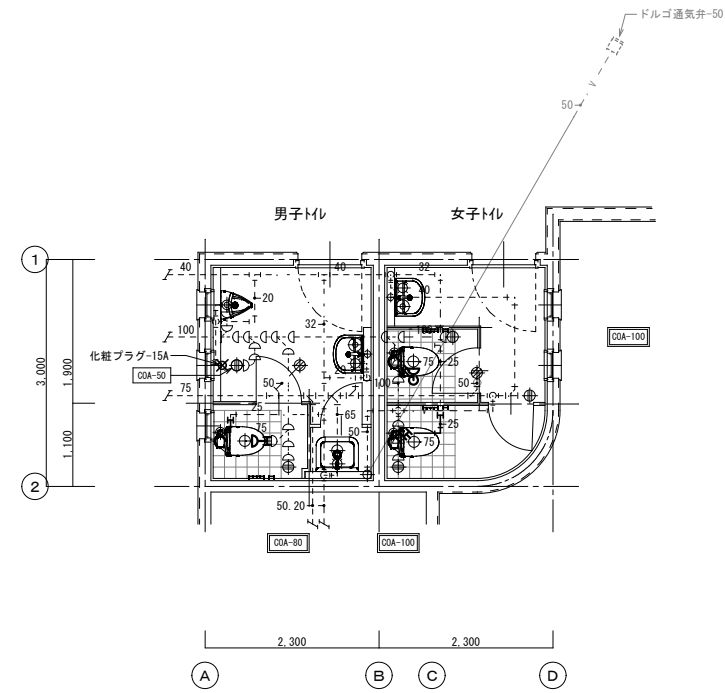
改修 換気設備 体育館ダクト平面図 1:100

【凡例】

	新設部分・配管、ダクトを示す
	既存部分・配管、ダクトを示す



撤去 給排水衛生設備 プール配管詳細図 1:50
 ※不要な配管撤去貫通部穴埋め補修：本工事



改修 給排水衛生設備 プール配管詳細図 1:50
 ※不要な配管撤去貫通部穴埋め補修：本工事

【凡例】

	撤去部分・配管を示す
	残置部分・配管を示す
	排水金物撤去を示す
	配管撤去貫通部穴埋め補修箇所

【凡例】

	新設部分・配管を示す
	既設部分・配管を示す
	既設排水金物取替を示す
	配管貫通部穴明け補修箇所